

中間市
障がい福祉に関するアンケート調査
＜報告書＞

目次

I 調査概要

1. 調査の目的.....	1
2. 調査対象及び調査の方法.....	1
3. 回収率.....	1
4. 調査時期.....	1
5. 調査主体.....	1
6. 調査結果の留意事項.....	1

II 調査結果について

1. 回答者の属性.....	3
(1) 回答者.....	3
(2) 年齢.....	3
(3) 性別.....	3
(4) 同居者の状況.....	3
(5) 身体障害者手帳所有状況.....	3
(6) 主たる障がい.....	3
(7) 療育手帳所有状況.....	4
(8) 療育手帳の診断（複数回答）.....	4
(9) 精神障害者保健福祉手帳所有状況.....	4
(10) 精神障害者保健福祉手帳の診断名.....	4
(11) 難病認定の有無.....	5
(12) 発達障がい診断の有無.....	5
(13) 高次脳機能障がい診断の有無.....	5
(14) 現在受けている医療ケア（複数回答）.....	5
(15) 精神障害者保健福祉手帳所有者について.....	6
2. 住まい、暮らしについて.....	8
(1) 現在の暮らし.....	8
(2) 将来の地域生活について.....	10
(3) 地域で生活するためにあればよいと思う支援.....	12
(4) 世帯の生計の中心者.....	14
(5) 生計の中心者の収入.....	16
3. 日常生活動作について.....	18
(1) 日常生活動作の状況.....	18
4. 介助者について.....	29
(1) 主な介助者.....	29
(2) 中心となって介助してくれる家族の年齢.....	31

5. 日中活動や就労について.....	37
(1) 外出の頻度.....	37
(2) 外出時の主な同伴者.....	39
(3) 外出の目的.....	41
(4) 外出時に利用する交通機関.....	43
(5) 外出時に困ること.....	45
(6) 外出先で不便や困難を感じる場所.....	47
(7) 日中の過ごし方.....	49
(8) 勤務形態.....	51
(9) 現在の仕事に就いたきっかけ.....	53
(10) 収入を得る仕事に就く意向.....	55
(11) 職業訓練の受講意向.....	57
(12) 障がい者の就労支援として必要だと思うこと.....	59
6. 療育・教育について（18歳未満）.....	61
(1) 発達の遅れに気づいた年齢.....	61
(2) 発達の遅れに気づいたきっかけ.....	61
(3) 発達の遅れについて相談、診察を求めた先.....	62
(4) 障がいのはっきりわかった年齢.....	63
(5) 療育や教育を受けた経験.....	63
(6) 療育や教育を受けた（受けている）場所.....	64
(7) 療育や教育に対する希望.....	64
(8) 学校（中学校または高等学校）を卒業した後の進路.....	65
7. 障がい福祉サービス等の利用について.....	66
(1) 障害支援区分認定の状況.....	66
(2) 障害福祉サービス等の利用状況.....	68
8. 相談などについて.....	72
(1) 生活上の不満、心配ごと、悩みなど.....	72
(2) 相談相手.....	74
(3) 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先.....	76
9. 権利擁護について.....	78
(1) 差別を受けた経験の有無.....	78
(2) 成年後見制度認知状況.....	80
10. 災害時の避難等について.....	82
(1) 災害時に一人で避難できるか.....	82
(2) 家族不在や一人暮らしの場合、近所で助けてくれる人の有無.....	84
(3) 災害時に困ること.....	86
(4) 災害発生時に（発生時に備えて）行政に力を入れてほしいこと.....	88

11. コロナ禍における暮らしについて.....	90
(1) コロナ禍での不安.....	90
(2) コロナ禍で困っていること.....	92
12. 生活全般について.....	94
(1) 地域の方とのつきあい程度.....	94
(2) スポーツ実施状況.....	96
(3) 実施しているスポーツ.....	98
(4) スポーツを行う上で希望すること.....	99
(5) 今後のスポーツ継続・実施意向.....	101
(6) 障がい者（児）福祉のために、行政に充実してほしいこと.....	103
Ⅲ 調査票.....	107

I 調査概要

1. 調査の目的

市内に居住する障がい者の現状を把握し、当該調査結果を「第4次中間市障害者基本計画」を策定するための基礎資料とする目的で本調査を実施した。

2. 調査対象及び調査の方法

調査対象者（配布数）	調査方法
本市に居住するとともに、「身体障害者手帳」、「療育手帳」、「精神障害者保健福祉手帳」をお持ちの方 1,500 名 * 「身体障害者手帳」所有者については、75 歳未満の方を対象に、障がい等級及び障がいの部位の割合が全体の割合と同様になるように抽出を行った。 * 「療育手帳」及び「精神障害者保健福祉手帳」所有者については、全員を対象とした。	郵送法

3. 回収率

配布数	有効回収数	有効回収率
1,500 名	657 票	43.8%

4. 調査時期

令和4年10月13日～令和4年10月25日

5. 調査主体

中間市

6. 調査結果の留意事項

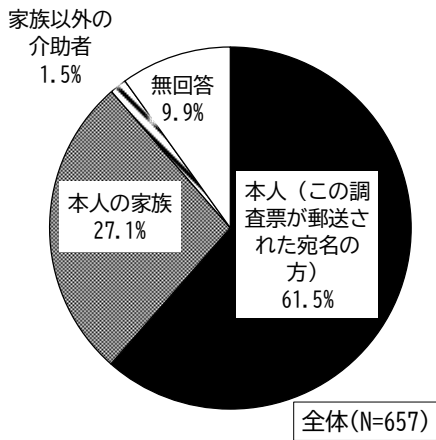
- ①数表、文中に示すN、nは回答率算出上の基数（標本数）のことです。
N＝標本全数
n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- ②所有手帳については、複数の手帳をお持ちの方がいらっしゃるため、それぞれの計と標本数全数は一致しません。
- ③複数回答式の設問の集計については、項目別に基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としています。従って、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合があります。
- ④図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票をご参照ください。
- ⑤文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』で表記しています。

Ⅱ 調査結果について

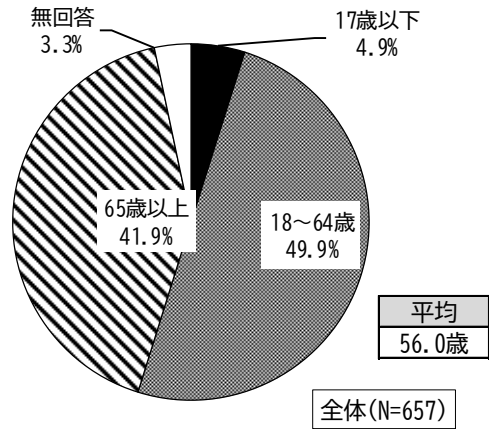
1. 回答者の属性

回答者の属性は以下の通りとなっています。

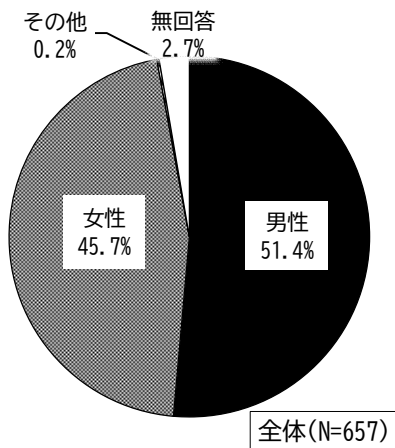
(1) 回答者



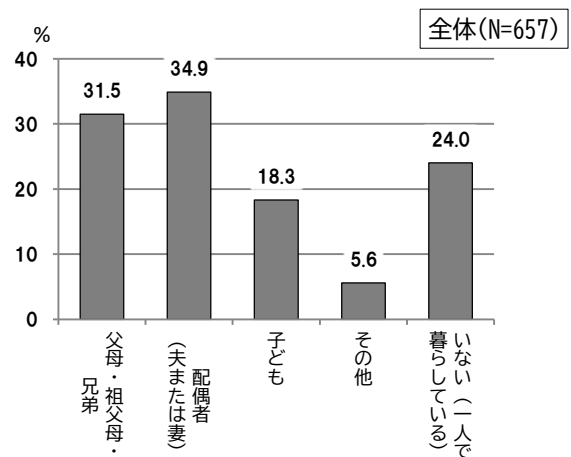
(2) 年齢



(3) 性別

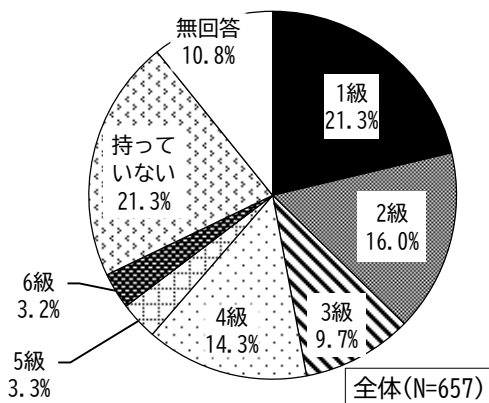


(4) 同居者の状況（複数回答）

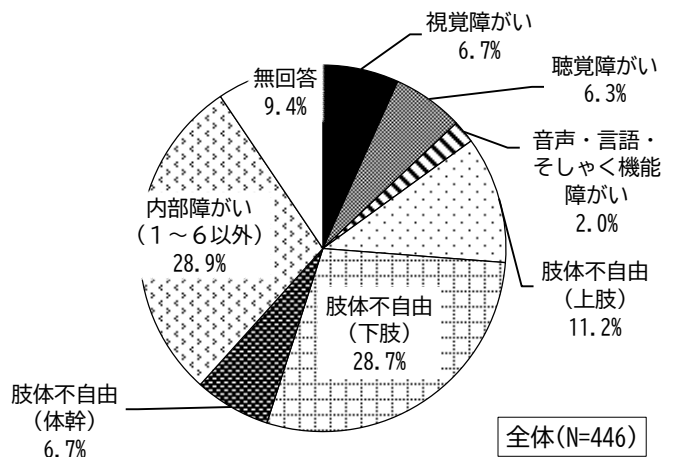


※グループホーム・福祉施設等を利用している場合、「いない（一人で暮らしている）」と回答している。

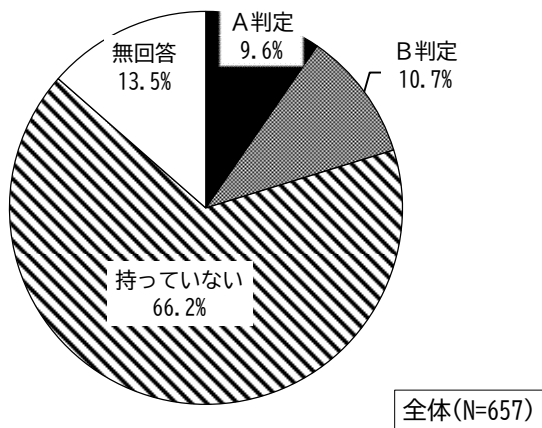
(5) 身体障害者手帳所有状況



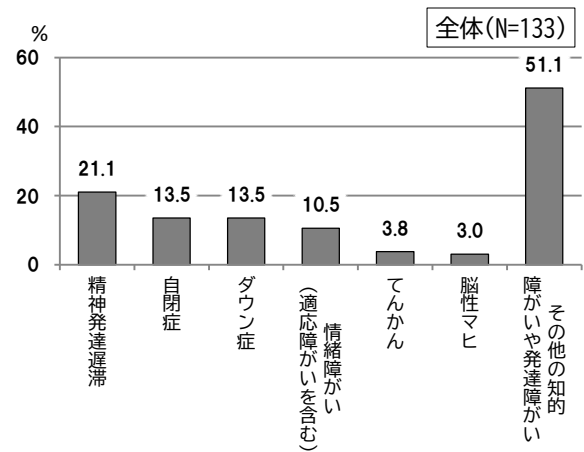
(6) 主たる障がい



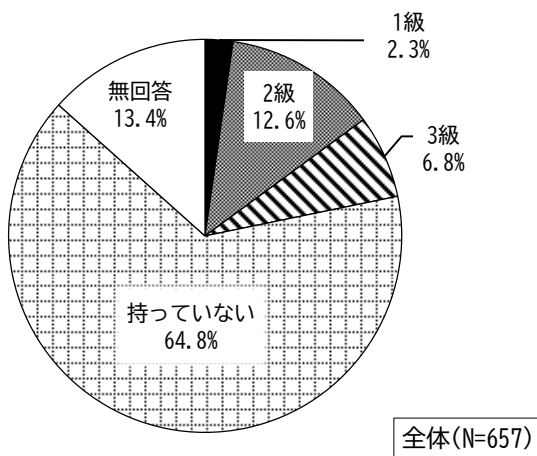
(7) 療育手帳所有状況



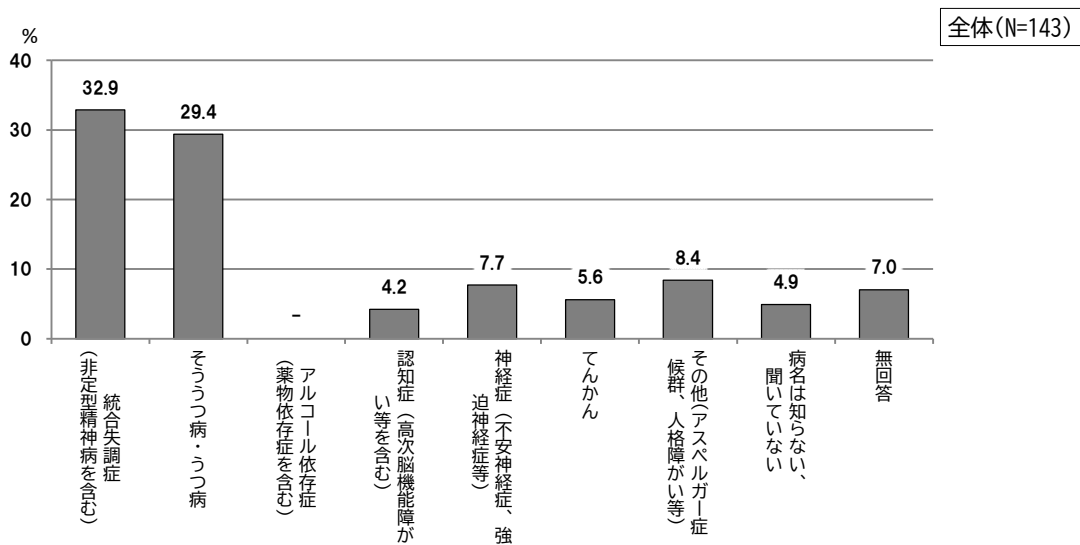
(8) 療育手帳の診断 (複数回答)



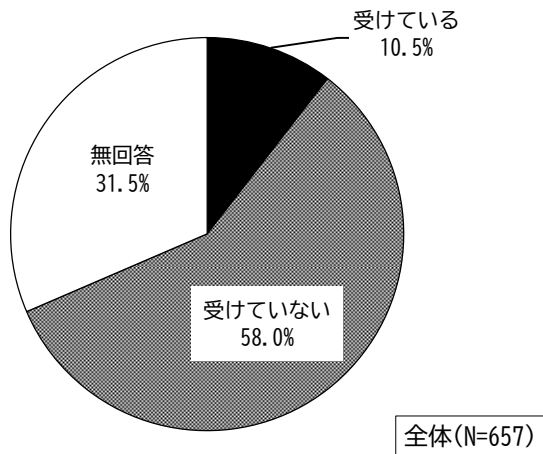
(9) 精神障害者保健福祉手帳所有状況



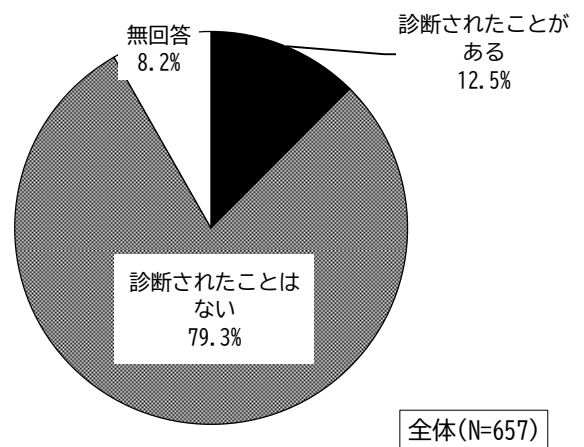
(10) 精神障害者保健福祉手帳の診断名



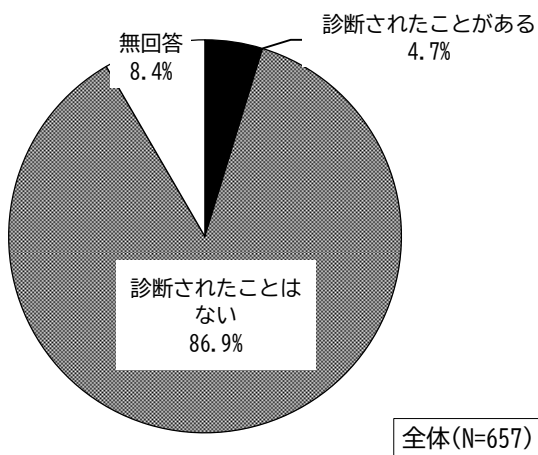
(11) 難病認定の有無



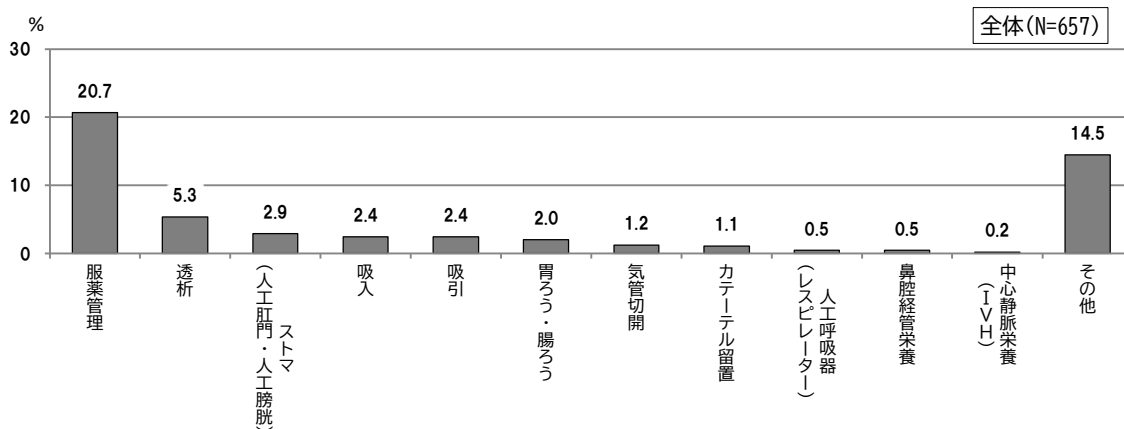
(12) 発達障がい診断の有無



(13) 高次脳機能障がい診断の有無

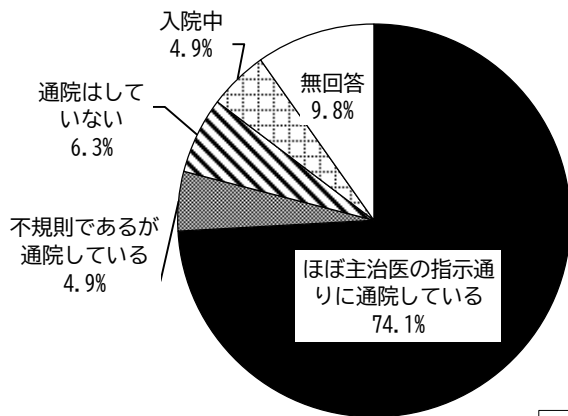


(14) 現在受けている医療ケア（複数回答）

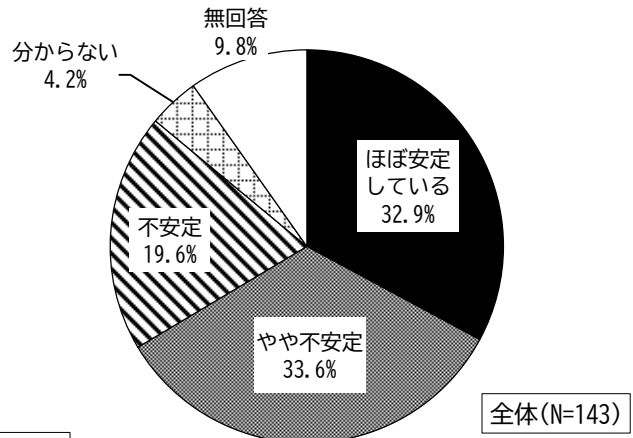


(15) 精神障害者保健福祉手帳所有者について

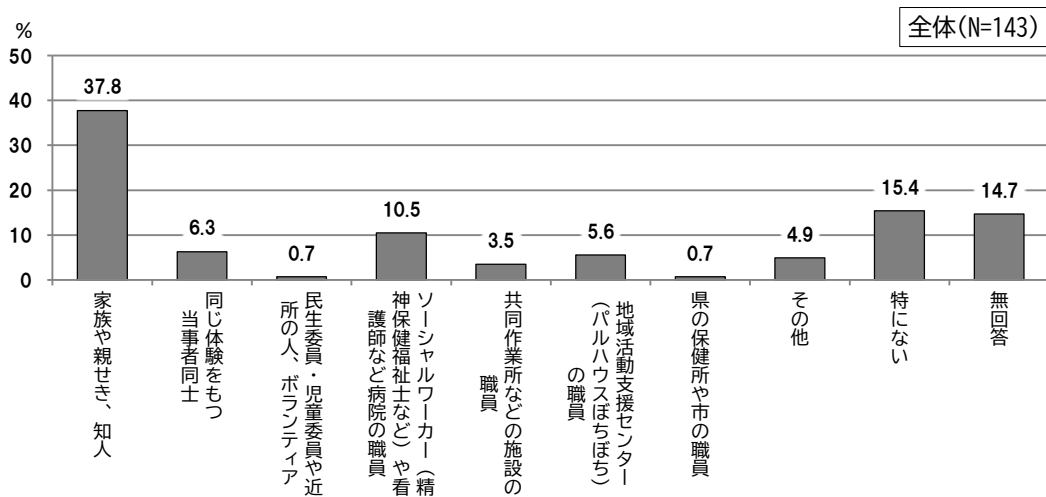
① 専門医療機関への通院状況



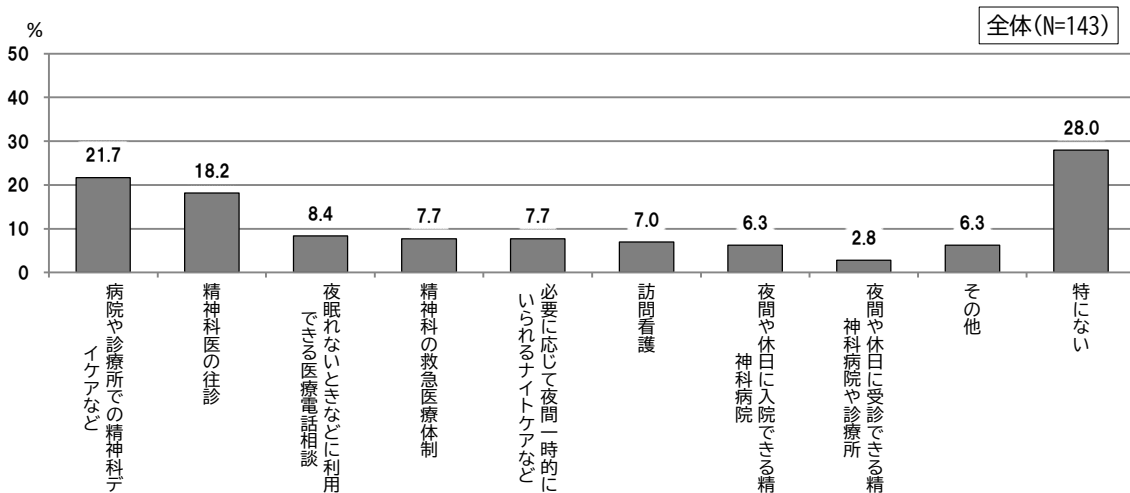
② 現在の体調



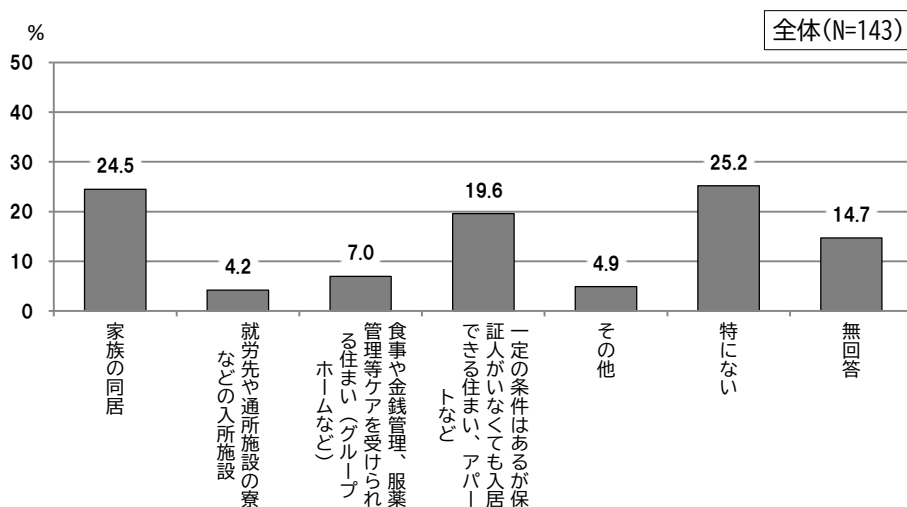
③ 今後、必要な「周囲」の支援



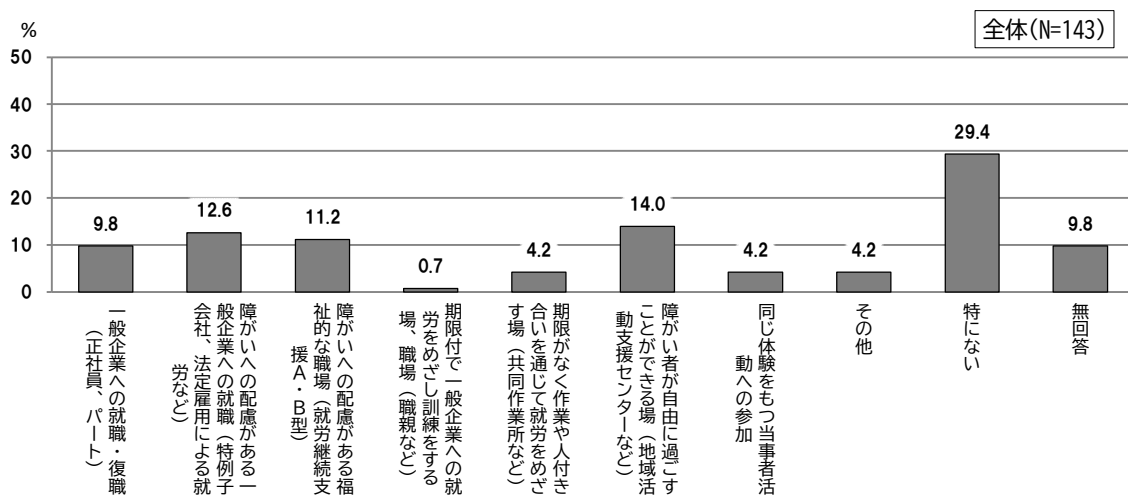
④ 今後、必要な「医療」面での支援 (複数回答)



⑤今後、必要な「生活の場（住まい）」面での支援



⑥今後、必要な「日中の活動の場・就労」面での支援



2. 住まい、暮らしについて

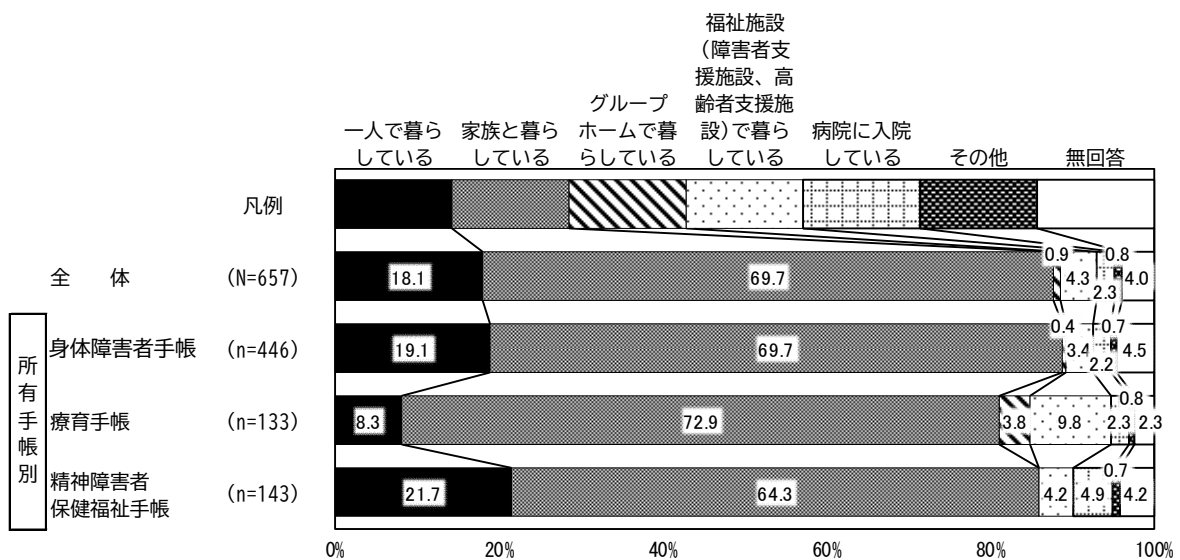
(1) 現在の暮らし

問 21 あなたは現在どのように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

現在の暮らしについて尋ねたところ、「家族と暮らしている」(69.7%)が7割を占めて最も多く、次いで「一人で暮らしている」(18.1%)となっています。

所有手帳別にみると、療育手帳所有者は「一人で暮らしている」が8.3%と他を大きく下回る一方、「福祉施設で暮らしている」が約1割と高くなっています。また、精神障害者保健福祉手帳所有者では「病院に入院している」が他を上回っています。

<現在の暮らし>



身体障害者手帳の等級別にみると、3級と6級で「一人で暮らしている」の割合が3割程度と、他を上回っています。

障がい部位別にみると、視覚障がいと聴覚障がいは「一人で暮らしている」の割合が3割を超え、他を上回っています。

<現在の暮らし>

単位：%

		サンプル数	一人で暮らしている	家族と暮らしている	グループホームで暮らしている	福祉施設（高齢者支援施設）で暮らしている	福祉施設（障害者支援施設）で暮らしている	病院に入院している	その他	無回答
全体		657	18.1	69.7	0.9	4.3	2.3	0.8	4.0	
身体障害者手帳等級別	1級	140	13.6	67.9	1.4	3.6	5.0	0.7	7.9	
	2級	105	21.9	63.8	-	5.7	2.9	1.0	4.8	
	3級	64	28.1	68.8	-	1.6	-	1.6	-	
	4級	94	16.0	79.8	-	2.1	-	-	2.1	
	5級	22	13.6	72.7	-	4.5	-	-	9.1	
	6級	21	33.3	66.7	-	-	-	-	-	
障がい部位別	視覚障がい	30	30.0	56.7	3.3	3.3	-	-	6.7	
	聴覚障がい	28	32.1	64.3	-	-	3.6	-	-	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	55.6	11.1	-	11.1	-	-	
	肢体不自由（上肢）	50	16.0	74.0	-	4.0	2.0	2.0	2.0	
	肢体不自由（下肢）	128	19.5	71.9	-	3.1	-	0.8	4.7	
	肢体不自由（体幹）	30	20.0	53.3	-	10.0	6.7	3.3	6.7	
	内部障がい（それ以外）	129	14.0	76.7	-	2.3	3.1	-	3.9	
	無回答	42	19.0	64.3	-	4.8	2.4	-	9.5	

(2) 将来の地域生活について

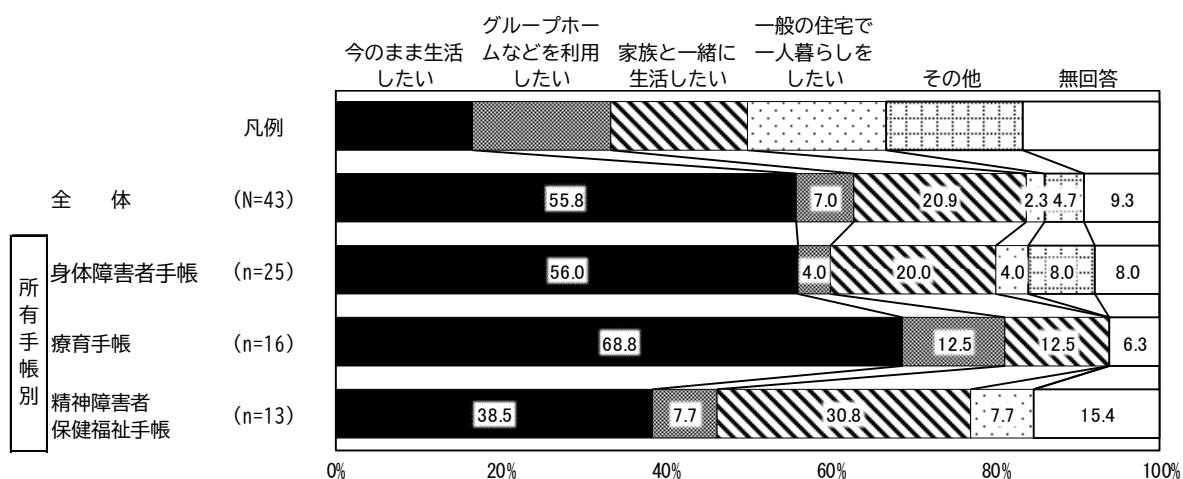
【問 21 で「4.」または「5.」と答えた方におたずねします。】

問 22 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(○は1つだけ)

現在、福祉施設で暮らしている人や病院に入院している人に、将来の地域生活について尋ねたところ、「そのまま生活したい」(55.8%)が最も多く、次いで「家族と一緒に生活したい」(20.9%)、「グループホームなどを利用したい」(7.0%)、「一般の住宅で一人暮らしをしたい」(2.3%)の順となっています。

所有手帳別にみると、『地域生活を希望する』(グループホームなどを利用したい+家族と一緒に生活したい+一般の住宅で一人暮らしをしたい)が最も多いのは、精神障害者保健福祉手帳所有者(46.2%)で、以下、身体障害者手帳所有者(28.0%)、療育手帳所有者(25.0%)の順となっています。

<将来の地域生活について>



身体障害者手帳の等級別および障がい部位別は、サンプル数が少ない項目が多いため、参考程度の掲載とします。

<将来の地域生活について>

単位:%

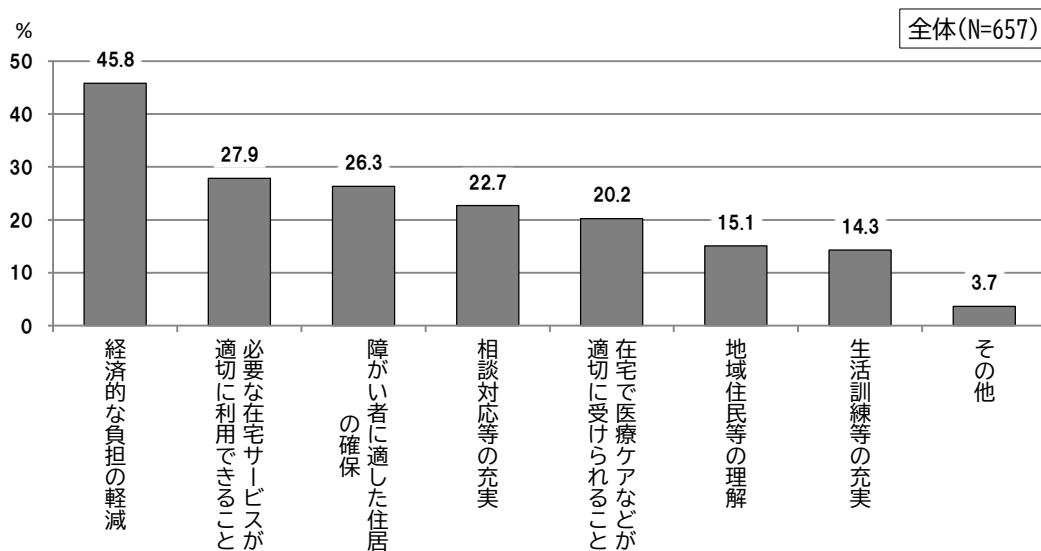
		サンプル数	今のまま生活したい	グループホームなどを利用したい	家族と一緒に生活したい	一般の住宅で一人暮らし	その他	無回答
全体		43	55.8	7.0	20.9	2.3	4.7	9.3
身体障害者手帳等級別	1 級	12	58.3	-	25.0	-	8.3	8.3
	2 級	9	55.6	11.1	11.1	-	11.1	11.1
	3 級	1	100.0	-	-	-	-	-
	4 級	2	-	-	50.0	50.0	-	-
	5 級	1	100.0	-	-	-	-	-
	6 級	-	-	-	-	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	1	100.0	-	-	-	-	-
	聴覚障がい	1	-	-	-	-	100.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	1	-	-	100.0	-	-	-
	肢体不自由（上肢）	3	66.7	-	33.3	-	-	-
	肢体不自由（下肢）	4	50.0	-	25.0	25.0	-	-
	肢体不自由（体幹）	5	60.0	-	20.0	-	20.0	-
	内部障がい（それ以外）	7	57.1	14.3	14.3	-	-	14.3
	無回答	3	66.7	-	-	-	-	33.3

(3) 地域で生活するためにあればよいと思う支援

問 23 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

地域で生活するためにあればよいと思う支援について尋ねたところ、「経済的な負担の軽減」(45.8%)が最も多く、以下、「必要な在宅サービスが適切に利用できること」(27.9%)、「障がい者に適した住居の確保」(26.3%)、「相談対応等の充実」(22.7%)、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」(20.2%)、「地域住民等の理解」(15.1%)、「生活訓練等の充実」(14.3%)などとなっています。

<地域で生活するためにあればよいと思う支援>



所有手帳別にみると、いずれも「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者では「地域住民等の理解」、精神障害者保健福祉手帳所有者では「経済的な負担の軽減」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～5級で「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。また、1～2級の重度では「生活訓練等の充実」が他を上回っています。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）では「必要な在宅サービスが適切に利用できること」、「在宅で医療ケアなどが適切に受けられること」が他を上回っています。

<地域で生活するためにあればよいと思う支援>

単位：%

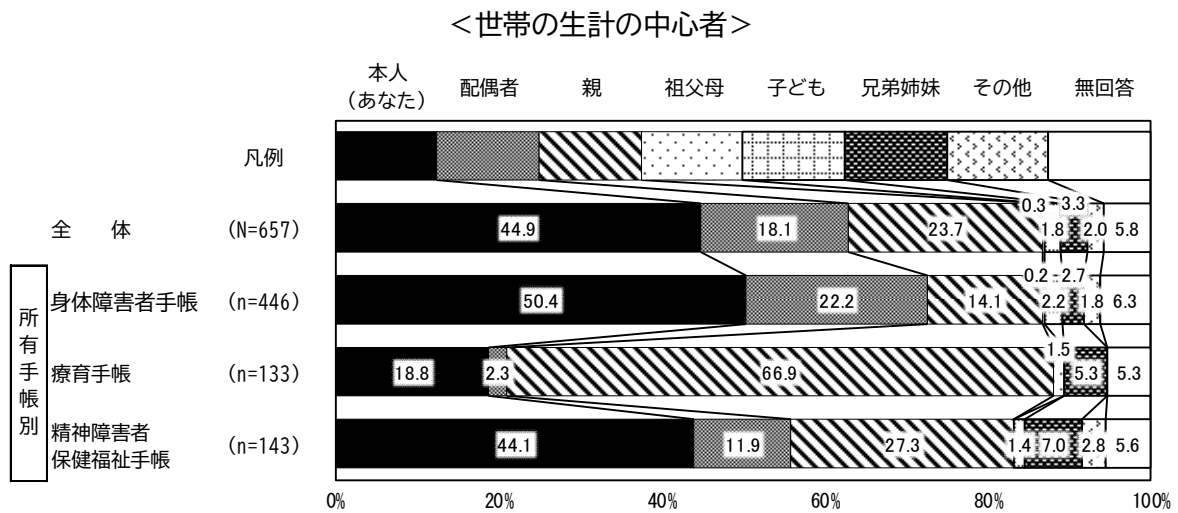
		サンプル数	在宅で医療ケアなどが	障がい者に適した確保	必要に在宅サービスが	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	その他
全体		657	20.2	26.3	27.9	14.3	45.8	22.7	15.1	3.7
所有手帳別	身体障害者手帳	446	22.0	24.2	29.1	11.7	41.5	17.3	11.7	3.4
	療育手帳	133	15.8	34.6	28.6	27.8	42.9	34.6	30.1	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	143	19.6	21.7	23.8	11.9	58.0	29.4	12.6	4.2
	無回答	27	22.2	33.3	25.9	3.7	44.4	18.5	7.4	3.7
身体障害者手帳等級別	1級	140	23.6	32.1	29.3	15.0	40.7	15.7	10.7	4.3
	2級	105	31.4	22.9	32.4	16.2	43.8	20.0	14.3	1.0
	3級	64	20.3	23.4	29.7	10.9	50.0	14.1	12.5	7.8
	4級	94	11.7	16.0	27.7	6.4	39.4	18.1	11.7	2.1
	5級	22	13.6	27.3	22.7	4.5	31.8	4.5	9.1	-
	6級	21	23.8	14.3	23.8	-	28.6	33.3	4.8	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	26.7	43.3	46.7	23.3	46.7	43.3	23.3	3.3
	聴覚障がい	28	10.7	21.4	25.0	7.1	25.0	25.0	14.3	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	-	-	-
	肢体不自由（上肢）	50	26.0	32.0	20.0	10.0	44.0	16.0	10.0	6.0
	肢体不自由（下肢）	128	20.3	24.2	34.4	11.7	43.0	18.0	11.7	3.1
	肢体不自由（体幹）	30	33.3	30.0	43.3	16.7	36.7	13.3	16.7	6.7
	内部障がい（それ以外）	129	21.7	19.4	24.8	9.3	46.5	11.6	7.8	1.6
無回答	42	19.0	11.9	19.0	9.5	35.7	16.7	14.3	2.4	

(4) 世帯の生計の中心者

問 24 あなたの世帯の生計の中心者となっている方はどなたですか。(○は1つだけ)

世帯の生計の中心者について尋ねたところ、「本人」(44.9%)が最も多く、次いで「親」(23.7%)、「配偶者」(18.1%)の順となっています。

所有手帳別にみると、療育手帳所有者では「親」が7割弱を占め突出しています。また、精神障害者保健福祉手帳所有者は「兄弟姉妹」が他より高くなっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、いずれの等級も「本人」と回答した人が最も多くなっており、等級が軽くなるほど割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、肢体不自由（上肢）で「親」が他を上回っています。

<世帯の生計の中心者>

単位：%

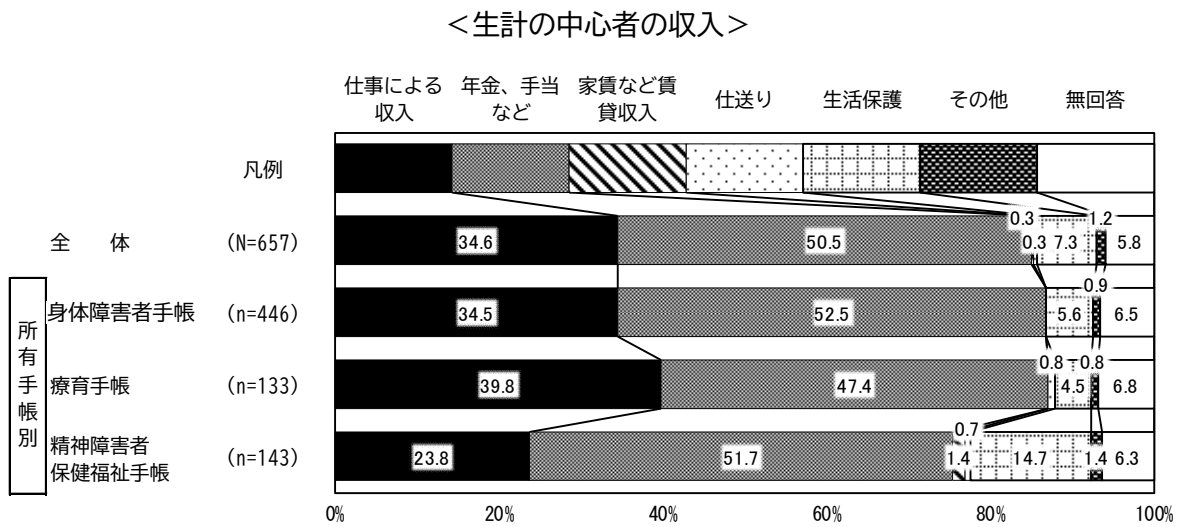
		サンプル数	本人（あなた）	配偶者	親	祖父母	子ども	兄弟姉妹	その他	無回答
全体		657	44.9	18.1	23.7	0.3	1.8	3.3	2.0	5.8
身体障害者手帳等級別	1 級	140	47.9	22.9	14.3	-	3.6	2.9	1.4	7.1
	2 級	105	41.9	19.0	23.8	1.0	1.0	4.8	1.0	7.6
	3 級	64	50.0	20.3	17.2	-	3.1	-	3.1	6.3
	4 級	94	52.1	31.9	5.3	-	2.1	3.2	2.1	3.2
	5 級	22	68.2	18.2	4.5	-	-	-	4.5	4.5
	6 級	21	85.7	-	4.8	-	-	-	-	9.5
障がい部位別	視覚障がい	30	43.3	23.3	10.0	-	10.0	13.3	-	-
	聴覚障がい	28	67.9	14.3	3.6	-	-	7.1	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	55.6	22.2	11.1	-	-	11.1	-	-
	肢体不自由（上肢）	50	42.0	26.0	22.0	-	2.0	4.0	-	4.0
	肢体不自由（下肢）	128	49.2	24.2	16.4	-	2.3	0.8	2.3	4.7
	肢体不自由（体幹）	30	40.0	26.7	13.3	3.3	6.7	-	-	10.0
	内部障がい（それ以外）	129	56.6	22.5	9.3	-	0.8	1.6	3.9	5.4
無回答	42	45.2	11.9	23.8	-	-	-	-	19.0	

(5) 生計の中心者の収入

問 25 生計の中心者の収入は何によるものでしょうか。(○は1つだけ)

世帯の中心者の収入について尋ねたところ、「年金、手当など」(50.5%)が最も多く、次いで「仕事による収入」(34.6%)、「生活保護」(7.3%)などの順となっています。

所有手帳別にみると、精神障害者保健福祉手帳所有者は「生活保護」(14.7%)が他を上回っています。



身体障害者手帳の等級別にみると、1～4級で「年金、手当など」と回答した人が最も多いものの、5級と6級では「仕事による収入」が最も多くなっています。

障がい部位別にみると、聴覚障害と肢体不自由（上肢）では「仕事による収入」と回答した人が最も多く、そのほかは「年金、手当など」と回答した人が最も高くなっています。

<生計の中心者の収入>

単位：%

		サンプル数	仕事による収入	年金、手当など	家賃など賃貸収入	仕送り	生活保護	その他	無回答
全体		657	34.6	50.5	0.3	0.3	7.3	1.2	5.8
身体障害者手帳等級別	1級	140	31.4	55.7	-	-	4.3	2.1	6.4
	2級	105	29.5	55.2	-	-	3.8	1.0	10.5
	3級	64	39.1	42.2	-	-	12.5	-	6.3
	4級	94	34.0	58.5	-	-	5.3	-	2.1
	5級	22	45.5	40.9	-	-	4.5	-	9.1
	6級	21	57.1	33.3	-	-	4.8	-	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	36.7	53.3	-	-	10.0	-	-
	聴覚障がい	28	60.7	35.7	-	-	-	-	3.6
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	77.8	-	-	-	-	-
	肢体不自由（上肢）	50	48.0	42.0	-	-	4.0	2.0	4.0
	肢体不自由（下肢）	128	39.1	50.0	-	-	3.9	1.6	5.5
	肢体不自由（体幹）	30	26.7	60.0	-	-	3.3	-	10.0
	内部障がい（それ以外）	129	26.4	59.7	-	-	6.2	0.8	7.0
無回答	42	19.0	50.0	-	-	14.3	-	16.7	

3. 日常生活動作について

(1) 日常生活動作の状況

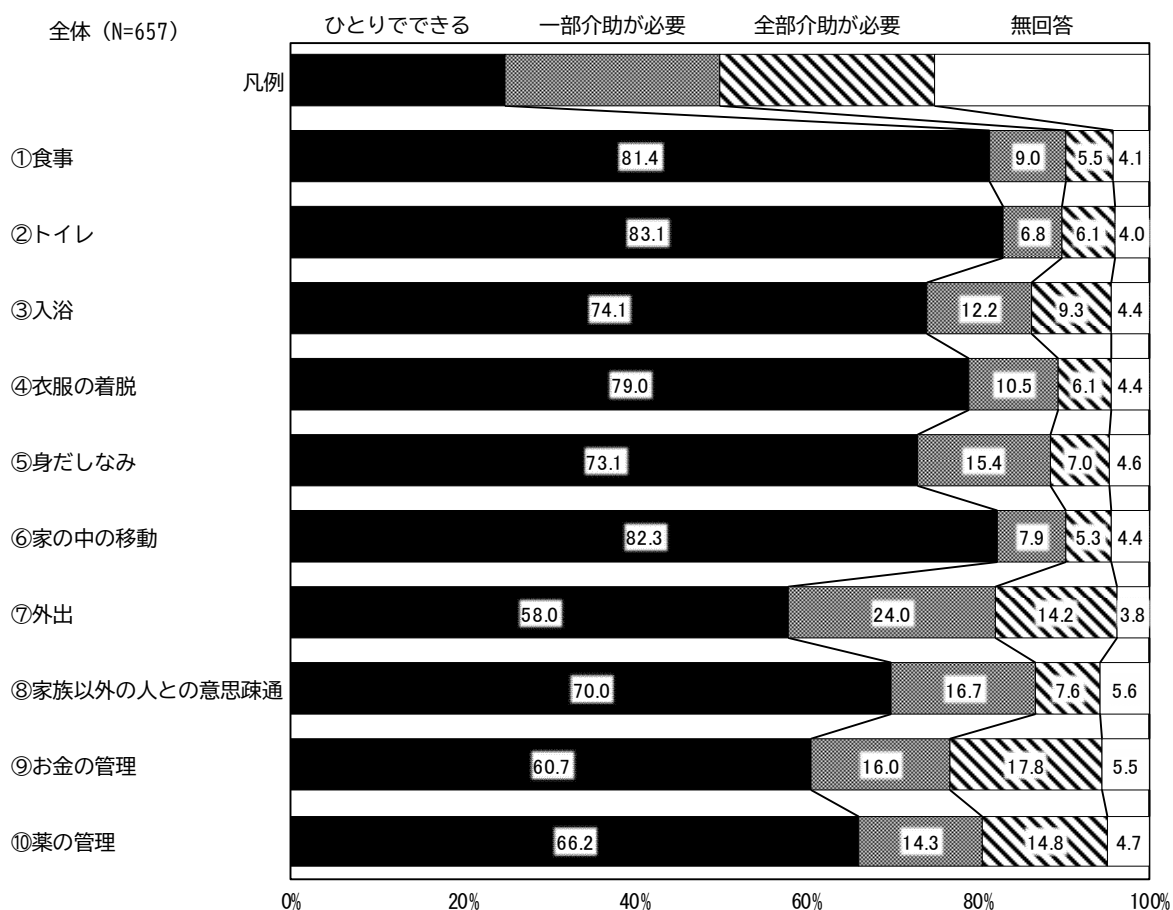
問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。
(①から⑩それぞれに○を1つ)

① 全体

日常生活動作の状況について尋ねたところ、「ひとりでできる」と回答した人が最も多い項目は「トイレ」(83.1%)で、以下、「家の中の移動」(82.3%)、「食事」(81.4%)の順となっています。

一方で、「ひとりでできる」と回答した人が最も少ない項目は「外出」(58.0%)で、次いで「お金の管理」(60.7%)となっています。

<日常生活動作の状況>



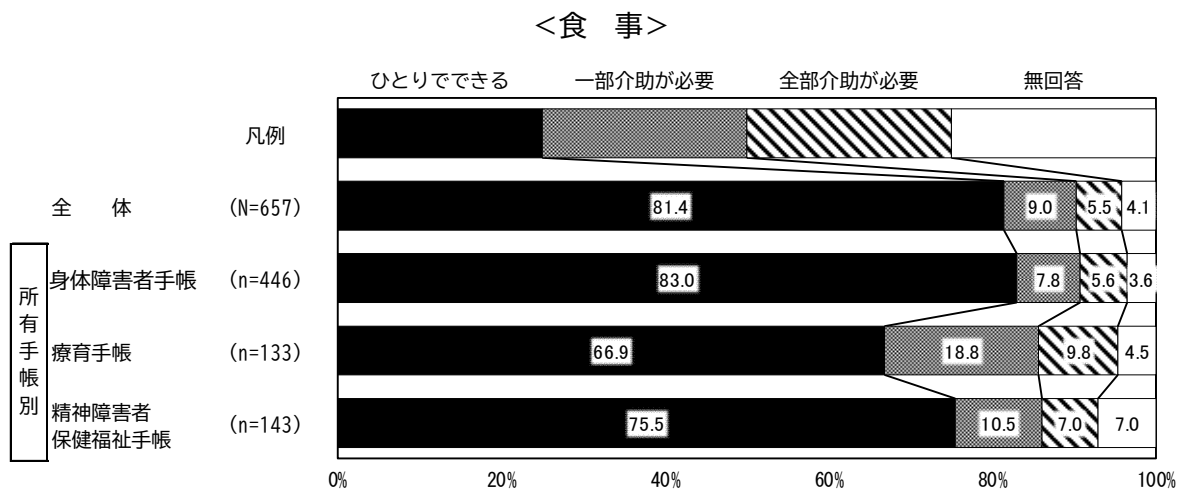
② 食事

食事についてみると、「ひとりでできる」は81.4%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者(83.0%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(75.5%)、療育手帳所有者(66.9%)の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低くなっています。

障がい部位別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、音声・言語・そしゃく機能障がい(55.6%)、肢体不自由(体幹)が56.7%と、他を大きく下回っています。



単位：%

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	81.4	9.0	5.5	4.1
身体障害者手帳等級別	1級	140	70.7	13.6	14.3	1.4
	2級	105	78.1	8.6	4.8	8.6
	3級	64	90.6	4.7	-	4.7
	4級	94	94.7	3.2	-	2.1
	5級	22	95.5	4.5	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	86.7	10.0	3.3	-
	聴覚障がい	28	92.9	-	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	55.6	11.1	33.3	-
	肢体不自由(上肢)	50	74.0	10.0	8.0	8.0
	肢体不自由(下肢)	128	85.2	9.4	3.1	2.3
	肢体不自由(体幹)	30	56.7	20.0	23.3	-
	内部障がい(1～6以外)	129	89.1	6.2	3.1	1.6
無回答	42	83.3	-	4.8	11.9	

③ トイレ

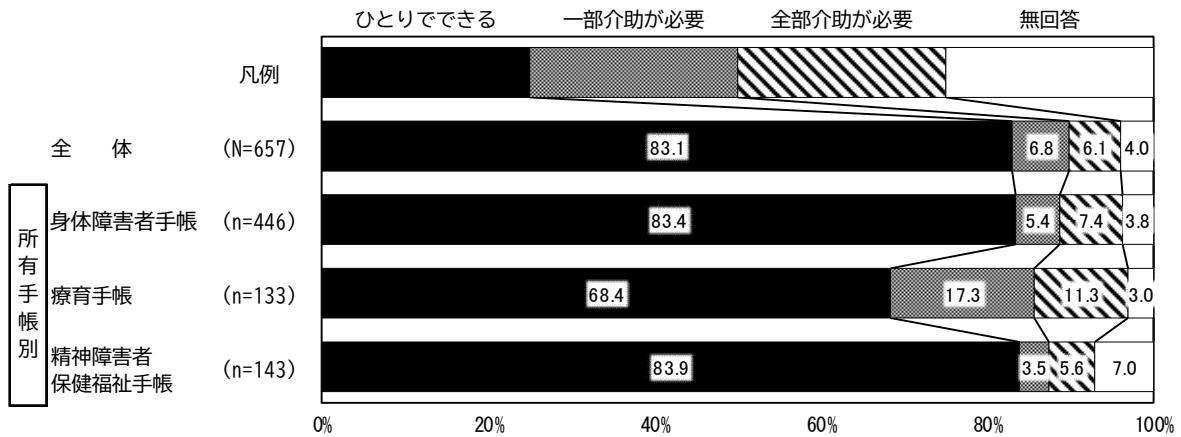
トイレについてみると、「ひとりでできる」は83.1%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、精神障害者保健福祉手帳所有者（83.9%）が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者（83.4%）、療育手帳所有者（68.4%）の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、5～6級では「ひとりでできる」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、音声・言語・そしゃく機能障がい55.6%、肢体不自由（体幹）が56.7%と、他を大きく下回っています。

<トイレ>



単位：%

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	83.1	6.8	6.1	4.0
身体障害者手帳等級別	1級	140	72.9	7.9	17.9	1.4
	2級	105	78.1	7.6	4.8	9.5
	3級	64	89.1	3.1	3.1	4.7
	4級	94	94.7	2.1	1.1	2.1
	5級	22	95.5	4.5	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	93.3	3.3	3.3	-
	聴覚障がい	28	92.9	-	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	55.6	11.1	33.3	-
	肢体不自由（上肢）	50	70.0	4.0	16.0	10.0
	肢体不自由（下肢）	128	82.8	8.6	6.3	2.3
	肢体不自由（体幹）	30	56.7	16.7	26.7	-
	内部障がい（1～6以外）	129	92.2	3.1	3.1	1.6
無回答	42	85.7	-	2.4	11.9	

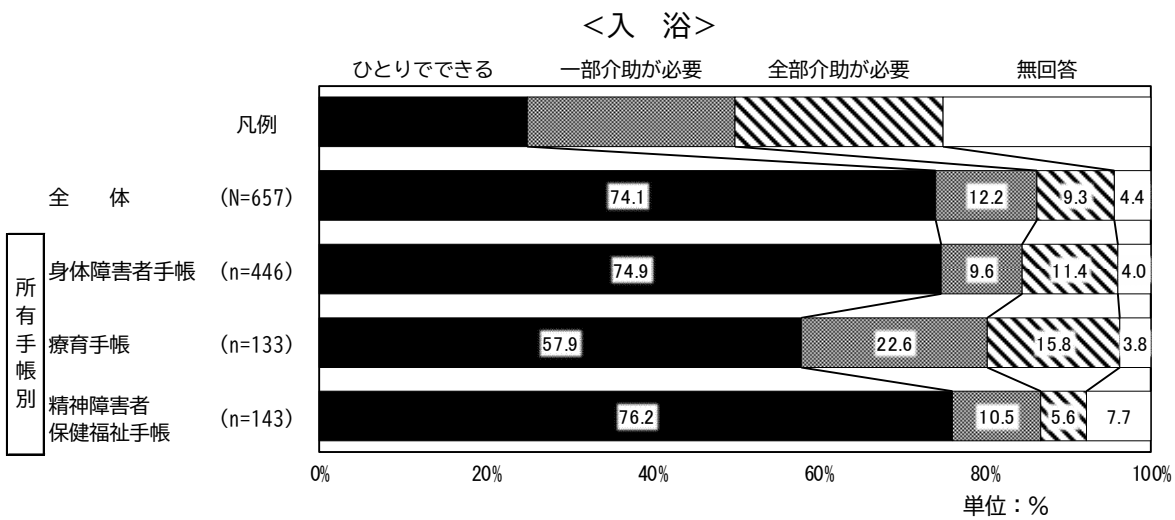
④ 入浴

入浴についてみると、「ひとりでできる」は74.1%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、精神障害者保健福祉手帳所有者（76.2%）が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者（74.9%）、療育手帳所有者（57.9%）の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、5～6級では「ひとりでできる」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）で「ひとりでできる」と回答した人の割合が40.0%と、他を大きく下回っています。



		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	74.1	12.2	9.3	4.4
身体障害者等級別	1級	140	62.9	10.0	25.0	2.1
	2級	105	64.8	16.2	10.5	8.6
	3級	64	79.7	9.4	4.7	6.3
	4級	94	90.4	5.3	2.1	2.1
	5級	22	95.5	4.5	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	83.3	13.3	3.3	-
	聴覚障がい	28	82.1	7.1	3.6	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	55.6	-	44.4	-
	肢体不自由（上肢）	50	56.0	16.0	20.0	8.0
	肢体不自由（下肢）	128	75.8	12.5	9.4	2.3
	肢体不自由（体幹）	30	40.0	10.0	46.7	3.3
	内部障がい（1～6以外）	129	84.5	7.0	6.2	2.3
無回答	42	83.3	2.4	2.4	11.9	

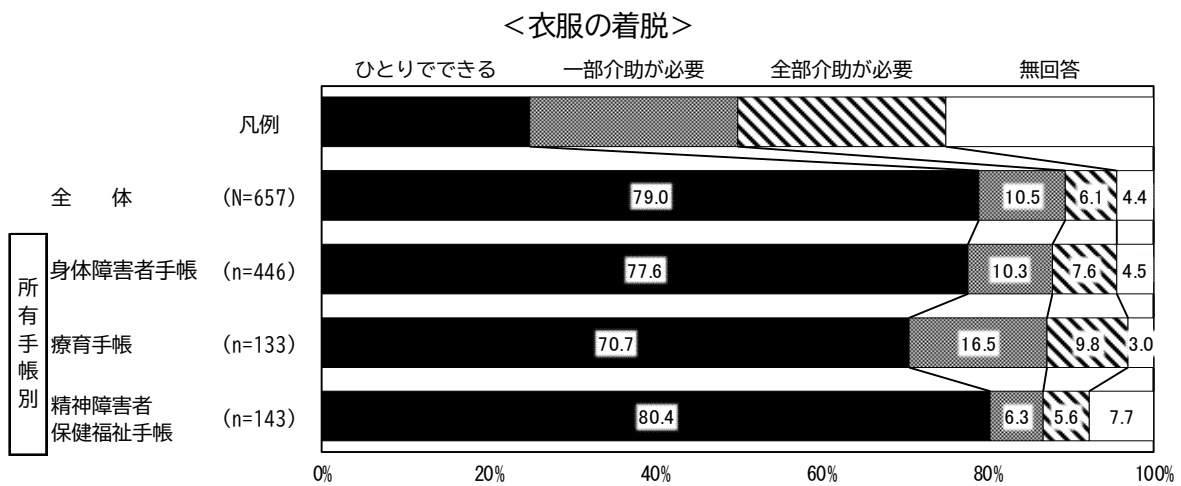
⑤ 衣服の着脱

衣服の着脱についてみると、「ひとりでできる」は79.0%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、精神障害者保健福祉手帳所有者（80.4%）が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者（77.6%）、療育手帳所有者（70.7%）の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、5～6級では「ひとりでできる」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）で「ひとりでできる」と回答した人の割合が36.7%と、他を大きく下回っています。



単位：%

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	79.0	10.5	6.1	4.4
身体障害者手帳等級別	1級	140	65.0	13.6	19.3	2.1
	2級	105	69.5	17.1	3.8	9.5
	3級	64	81.3	10.9	1.6	6.3
	4級	94	93.6	1.1	2.1	3.2
	5級	22	95.5	4.5	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	93.3	3.3	3.3	-
	聴覚障がい	28	85.7	7.1	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	55.6	22.2	22.2	-
	肢体不自由（上肢）	50	58.0	18.0	16.0	8.0
	肢体不自由（下肢）	128	80.5	10.9	5.5	3.1
	肢体不自由（体幹）	30	36.7	23.3	36.7	3.3
	内部障がい（1～6以外）	129	87.6	7.0	3.1	2.3
無回答	42	78.6	4.8	2.4	14.3	

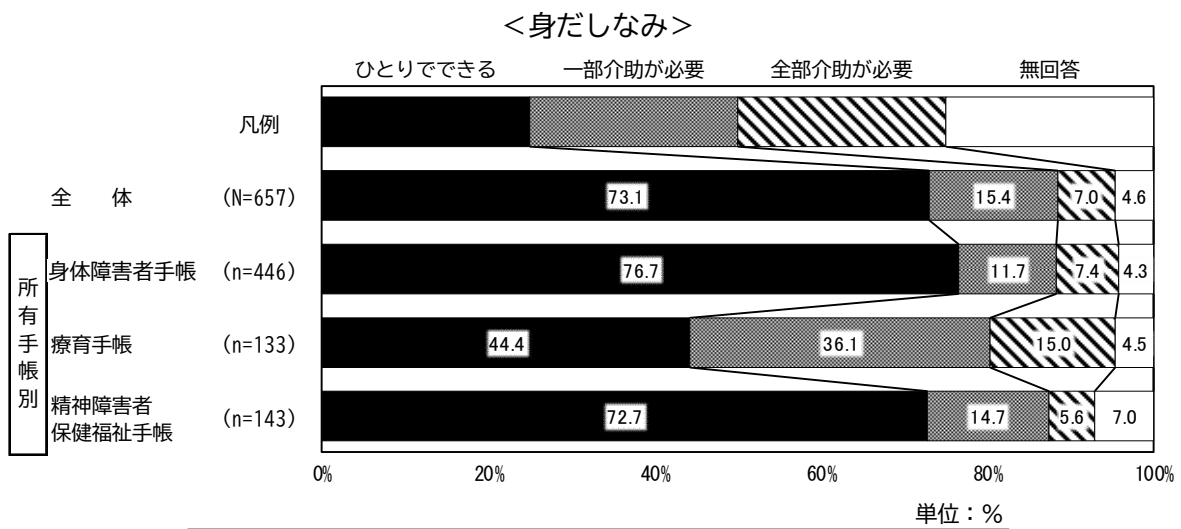
⑥ 身だしなみ

身だしなみについてみると、「ひとりでできる」は73.1%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者(76.7%)が最も多く、次いで精神障害者保健福祉手帳所有者(72.7%)、療育手帳所有者(44.4%)の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、5～6級では「ひとりでできる」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、肢体不自由(体幹)が40.0%、音声・言語・そしゃく機能障がい(44.4%)と、他を大きく下回っています。



		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	73.1	15.4	7.0	4.6
身体障害者手帳等級別	1級	140	62.9	15.7	18.6	2.9
	2級	105	66.7	21.9	2.9	8.6
	3級	64	85.9	4.7	3.1	6.3
	4級	94	91.5	4.3	2.1	2.1
	5級	22	100.0	-	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	76.7	20.0	3.3	-
	聴覚障がい	28	85.7	3.6	-	10.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	44.4	33.3	22.2	-
	肢体不自由(上肢)	50	62.0	16.0	14.0	8.0
	肢体不自由(下肢)	128	81.3	9.4	6.3	3.1
	肢体不自由(体幹)	30	40.0	26.7	30.0	3.3
	内部障がい(1～6以外)	129	86.8	7.8	3.9	1.6
無回答	42	76.2	9.5	2.4	11.9	

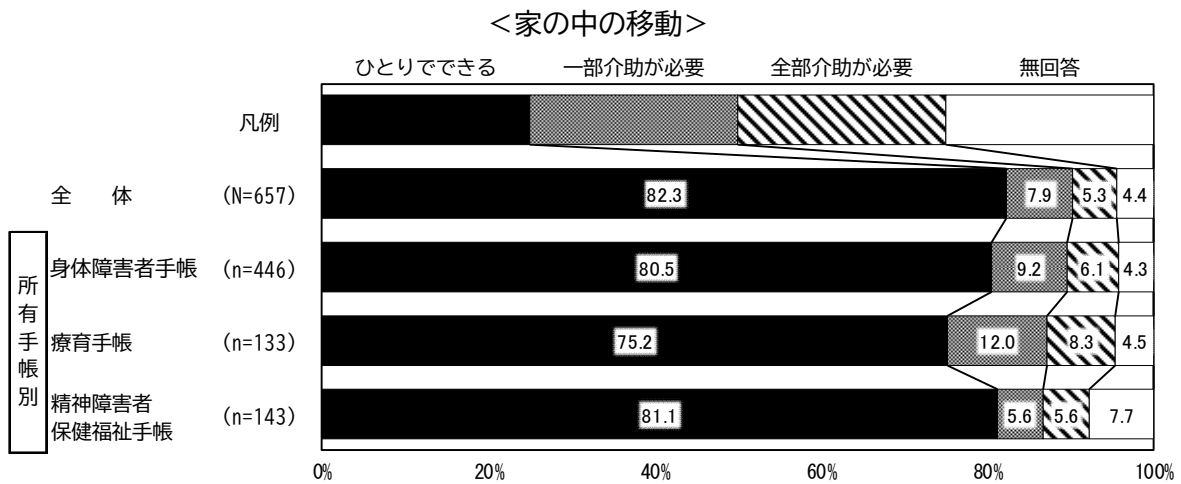
⑦ 家の中の移動

家の中の移動についてみると、「ひとりでできる」は82.3%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、精神障害者保健福祉手帳所有者（81.1%）が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者（80.5%）、療育手帳所有者（75.2%）の順となっており、この項目については所有手帳別による差がほとんどみられません。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、4～6級では「ひとりでできる」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、音声・言語・そしゃく機能障がい（44.4%）、肢体不自由（体幹）（46.7%）と、他を大きく下回っています。



単位：％

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	82.3	7.9	5.3	4.4
身体障害者手帳等級別	1級	140	68.6	13.6	15.0	2.9
	2級	105	75.2	11.4	4.8	8.6
	3級	64	84.4	9.4	-	6.3
	4級	94	94.7	2.1	1.1	2.1
	5級	22	90.9	9.1	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	93.3	-	3.3	3.3
	聴覚障がい	28	89.3	3.6	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	44.4	11.1	44.4	-
	肢体不自由（上肢）	50	70.0	14.0	8.0	8.0
	肢体不自由（下肢）	128	79.7	13.3	3.9	3.1
	肢体不自由（体幹）	30	46.7	23.3	26.7	3.3
	内部障がい（1～6以外）	129	89.9	5.4	3.1	1.6
無回答	42	83.3	2.4	2.4	11.9	

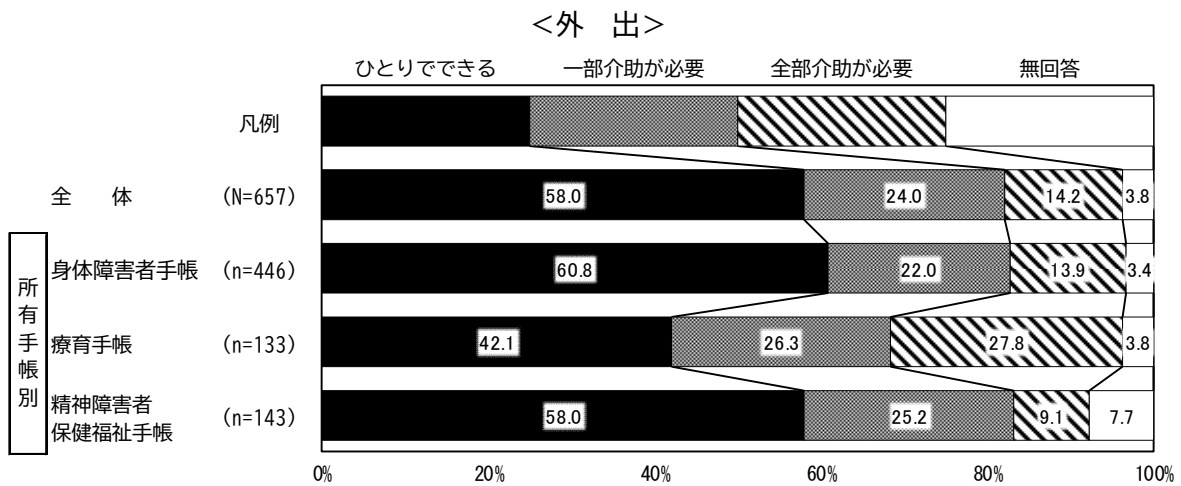
⑧ 外出

外出についてみると、「ひとりでできる」は58.0%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者(60.8%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(58.0%)、療育手帳所有者(42.1%)の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～3級では4～6級と比較して「ひとりでできる」と回答した割合が低く、『介助が必要』(「一部介助が必要」+「全部介助が必要」と回答した割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「ひとりでできる」と回答した人の割合が13.3%と、他を大きく下回っています。



単位：%

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	58.0	24.0	14.2	3.8
身体障害者手帳等級別	1級	140	47.9	22.1	28.6	1.4
	2級	105	49.5	29.5	12.4	8.6
	3級	64	65.6	23.4	6.3	4.7
	4級	94	78.7	16.0	4.3	1.1
	5級	22	77.3	22.7	-	-
	6級	21	90.5	4.8	4.8	-
障がい部位別	視覚障がい	30	13.3	66.7	20.0	-
	聴覚障がい	28	78.6	14.3	3.6	3.6
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	22.2	44.4	-
	肢体不自由(上肢)	50	56.0	16.0	20.0	8.0
	肢体不自由(下肢)	128	60.2	27.3	10.2	2.3
	肢体不自由(体幹)	30	33.3	6.7	60.0	-
	内部障がい(1～6以外)	129	75.2	16.3	7.0	1.6
無回答	42	71.4	14.3	2.4	11.9	

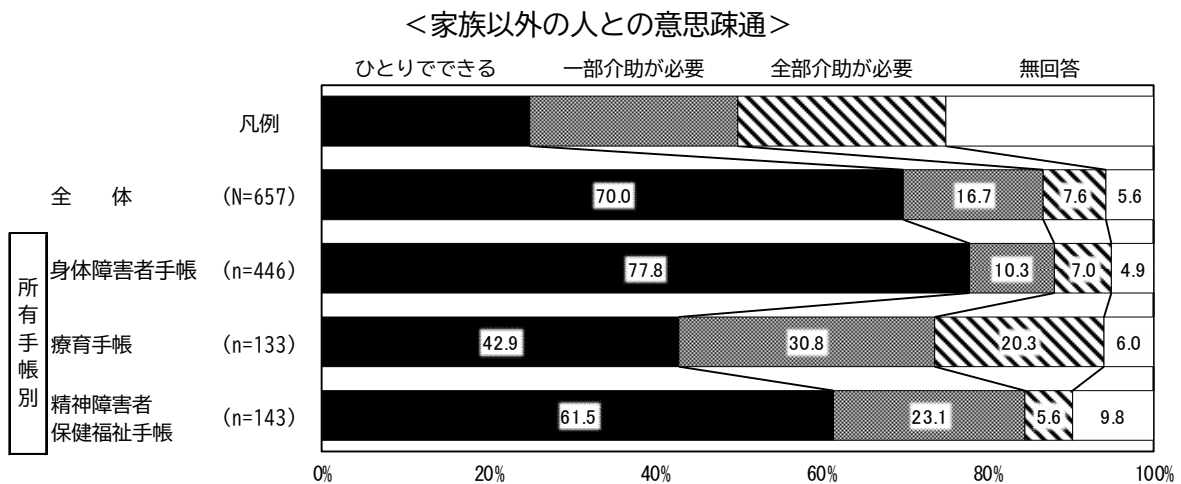
⑨ 家族以外の人との意思疎通

家族以外の人との意思疎通についてみると、「ひとりでできる」は70.0%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者(77.8%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(61.5%)、療育手帳所有者(42.0%)の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、『介助が必要』(「一部介助が必要」+「全部介助が必要」と回答した割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「ひとりでできる」と回答した人の割合が33.3%と、他を大きく下回っています。



単位：%

		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	70.0	16.7	7.6	5.6
身体障害者手帳等級別	1級	140	70.0	11.4	15.0	3.6
	2級	105	65.7	21.0	3.8	9.5
	3級	64	82.8	6.3	4.7	6.3
	4級	94	91.5	3.2	2.1	3.2
	5級	22	100.0	-	-	-
	6級	21	90.5	4.8	4.8	-
障がい部位別	視覚障がい	30	83.3	13.3	3.3	-
	聴覚障がい	28	64.3	17.9	3.6	14.3
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	55.6	11.1	-
	肢体不自由(上肢)	50	68.0	12.0	10.0	10.0
	肢体不自由(下肢)	128	82.8	8.6	4.7	3.9
	肢体不自由(体幹)	30	53.3	13.3	33.3	-
	内部障がい(1～6以外)	129	87.6	7.0	3.9	1.6
無回答	42	76.2	4.8	4.8	14.3	

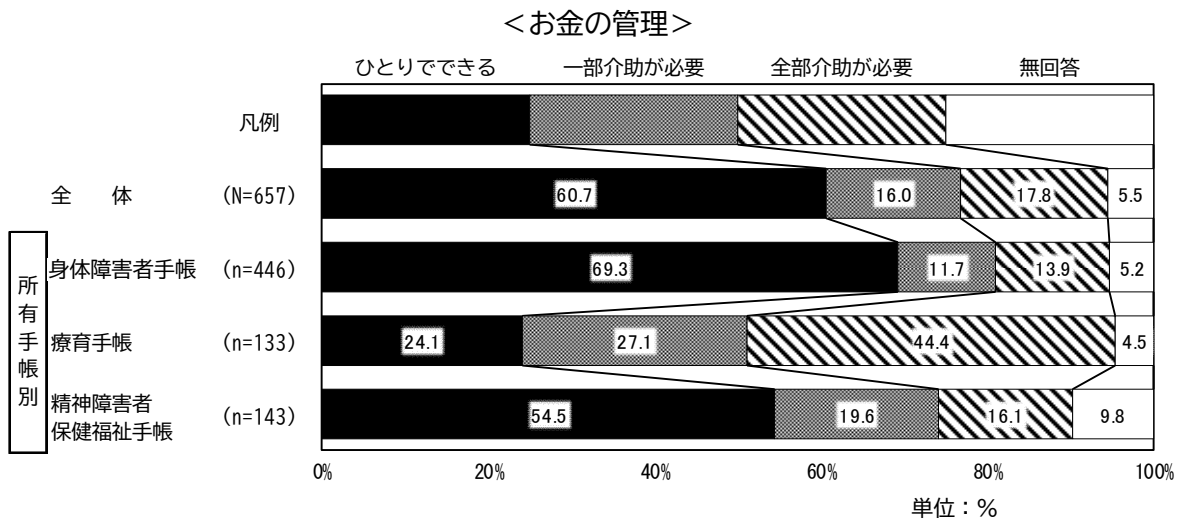
⑩ お金の管理

お金の管理についてみると、「ひとりでできる」は60.7%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者(69.3%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(54.5%)、療育手帳所有者(24.1%)の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級では3～6級と比較して「ひとりでできる」と回答した割合が低く、『介助が必要』(「一部介助が必要」+「全部介助が必要」と回答した割合)が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能障がい「ひとりでできる」と回答した人の割合が33.3%と、他を大きく下回っています。



		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	60.7	16.0	17.8	5.5
身体障害者手帳等級別	1級	140	53.6	17.9	25.7	2.9
	2級	105	57.1	19.0	15.2	8.6
	3級	64	79.7	6.3	6.3	7.8
	4級	94	87.2	3.2	5.3	4.3
	5級	22	95.5	-	-	4.5
	6級	21	95.2	-	4.8	-
障がい部位別	視覚障がい	30	43.3	40.0	16.7	-
	聴覚障がい	28	71.4	10.7	7.1	10.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	22.2	33.3	11.1
	肢体不自由(上肢)	50	64.0	8.0	18.0	10.0
	肢体不自由(下肢)	128	78.9	10.9	7.0	3.1
	肢体不自由(体幹)	30	40.0	3.3	56.7	-
	内部障がい(1～6以外)	129	75.2	10.9	10.9	3.1
無回答	42	73.8	4.8	7.1	14.3	

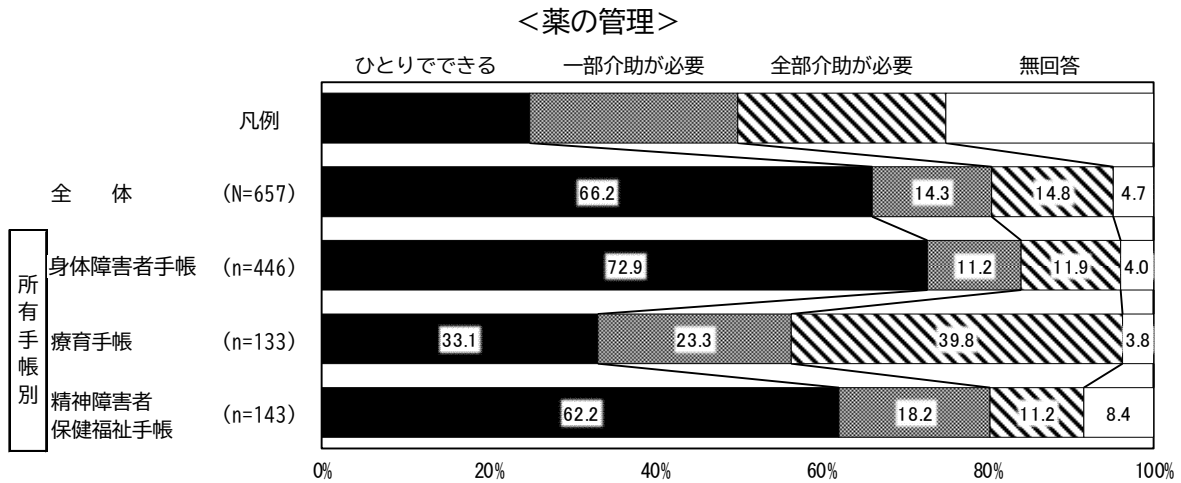
⑪ 薬の管理

薬の管理についてみると、「ひとりでできる」は66.2%となっています。

所有手帳別にみると、「ひとりでできる」と回答した人は、身体障害者手帳所有者（72.9%）が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者（62.2%）、療育手帳所有者（33.1%）の順となっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度では「ひとりでできる」と回答した割合が低く、『介助が必要』（「一部介助が必要」＋「全部介助が必要」）と回答した割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）で「ひとりでできる」と回答した人の割合が40.0%と、他を大きく下回っています。



単位：%

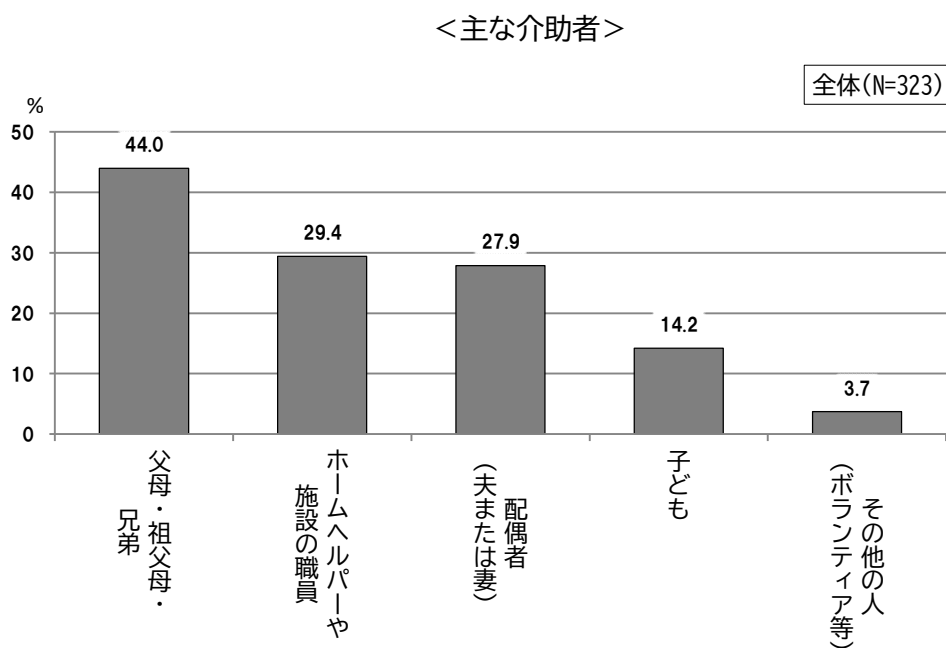
		サンプル数	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要	無回答
全体		657	66.2	14.3	14.8	4.7
身体障害者手帳等級別	1級	140	57.9	17.9	22.9	1.4
	2級	105	62.9	15.2	13.3	8.6
	3級	64	81.3	4.7	6.3	7.8
	4級	94	89.4	5.3	3.2	2.1
	5級	22	95.5	4.5	-	-
	6級	21	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	53.3	36.7	10.0	-
	聴覚障がい	28	82.1	10.7	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	44.4	22.2	33.3	-
	肢体不自由（上肢）	50	64.0	10.0	18.0	8.0
	肢体不自由（下肢）	128	79.7	8.6	7.8	3.9
	肢体不自由（体幹）	30	40.0	6.7	53.3	-
	内部障がい（1～6以外）	129	79.8	10.9	7.8	1.6
無回答	42	78.6	4.8	4.8	11.9	

4. 介助者について

(1) 主な介助者

【問5で1つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方におたずねします。】
問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

主な介助者について尋ねたところ、「父母・祖父母・兄弟」(44.0%)が最も多く、次いで「ホームヘルパーや施設の職員」(29.4%)、「配偶者(夫または妻)」(27.9%)、「子ども」(14.2%)、「その他の人(ボランティア等)」(3.7%)の順となっています。



所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者では「配偶者（夫または妻）」が最も多く、療育手帳所有者及び精神障害者保健福祉手帳所有者は「父母・祖父母・兄弟」が最も多くなっています。療育手帳所有者については「父母・祖父母・兄弟」が7割以上を占め、他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、3～4級と6級では「配偶者（夫または妻）」が最も多くなっています。

障がい部位別にみると、視覚障がい、肢体不自由（体幹）で「ホームヘルパーや施設の職員」が他を上回っています。

<主な介助者>

単位：%

		サンプル数	父母・祖父母・兄弟	ホームヘルパーの職員	配偶者（夫または妻）	子ども	その他の人（ボランティア等）
全体		323	44.0	29.4	27.9	14.2	3.7
所有手帳別	身体障害者手帳	193	30.6	30.6	37.8	19.7	3.1
	療育手帳	101	74.3	38.6	2.0	-	2.0
	精神障害者保健福祉手帳	75	38.7	26.7	26.7	17.3	6.7
	無回答	12	25.0	8.3	58.3	8.3	-
身体障害者等級別	1級	81	33.3	40.7	32.1	17.3	2.5
	2級	59	35.6	33.9	28.8	22.0	3.4
	3級	23	21.7	-	65.2	30.4	-
	4級	21	19.0	19.0	52.4	14.3	4.8
	5級	6	33.3	33.3	33.3	16.7	-
	6級	3	-	-	66.7	-	33.3
障がい部位別	視覚障がい	27	40.7	37.0	25.9	22.2	-
	聴覚障がい	10	30.0	30.0	40.0	20.0	20.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3
	肢体不自由（上肢）	22	40.9	36.4	36.4	13.6	-
	肢体不自由（下肢）	51	31.4	31.4	35.3	19.6	-
	肢体不自由（体幹）	23	21.7	47.8	47.8	21.7	4.3
	内部障がい（それ以外）	42	23.8	14.3	47.6	16.7	4.8
	無回答	11	18.2	27.3	27.3	36.4	-

(2) 中心となって介助してくれる家族の年齢

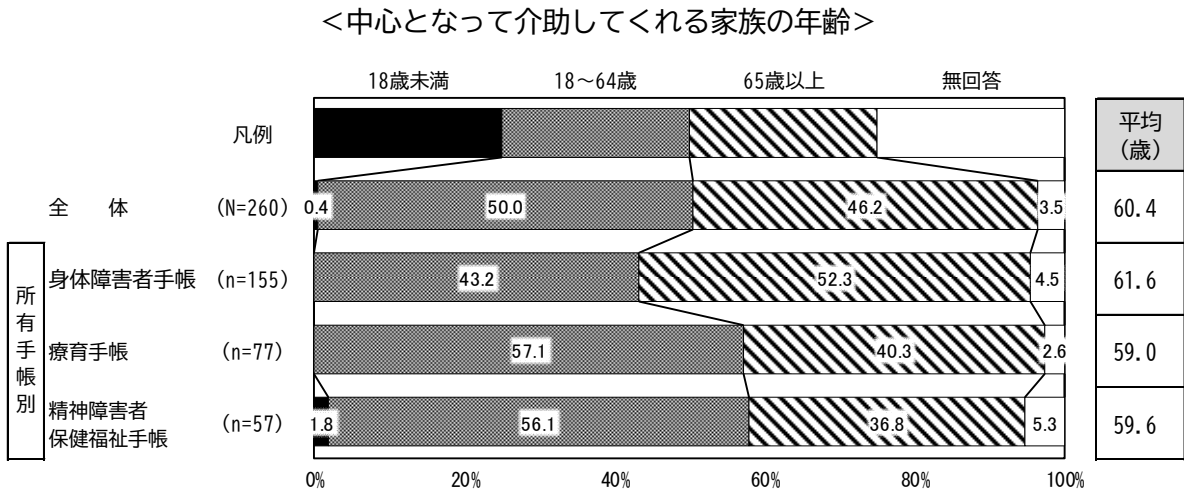
【問6で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】

問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 中心となって介助してくれる家族の年齢

中心となって介助してくれる家族の年齢について尋ねたところ、「18～64歳」（50.0％）が最も多く、次いで「65歳以上」（46.2％）と続き、平均は60.4歳となっています。

所有手帳別にみると、療育手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者は「18～64歳」（57.1％：56.1％）が最も多く、身体障害者手帳所有者は「65歳以上」（52.3％）が最も多くなっています。所有手帳別による家族介助者の平均年齢に大きな差はみられませんでした。



身体障害者手帳の等級別にみると、1級以外の等級で「65歳以上」が最も多くなっています。また、家族介護者の平均年齢は5級が『53.8』と最も低く、6級が『72.0』と最も高くなっています。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体感）、内部障がい（それ以外）では「65歳以上」が多くなっています。

<中心となって介助してくれる家族の年齢>

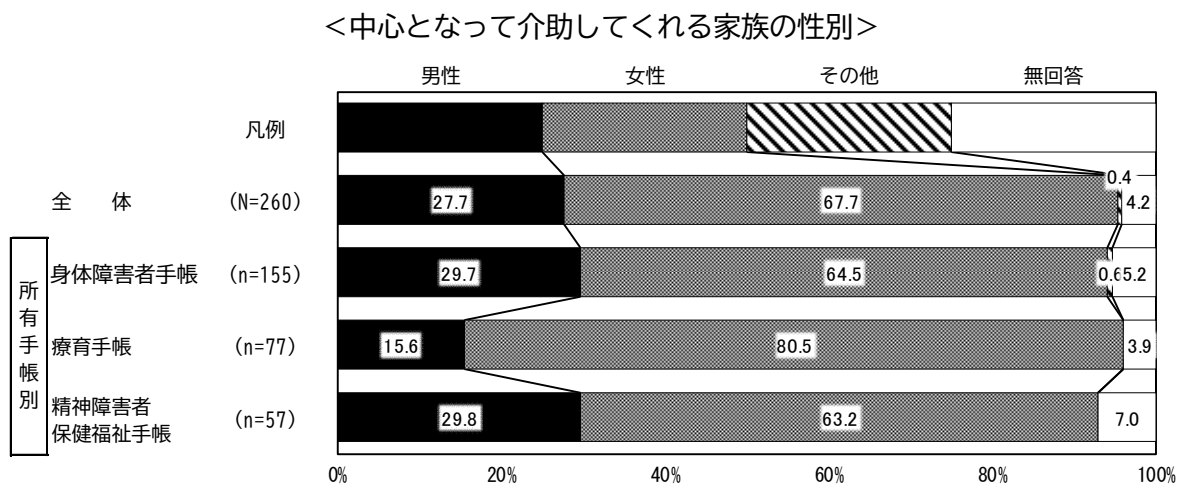
単位：%

		サンプル数	1 8 歳 未 満	1 8 歳 未 満 4 歳	6 5 歳 以 上	無 回 答	平均 (歳)
全 体		260	0.4	50.0	46.2	3.5	60.4
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	61	-	54.1	41.0	4.9	59.7
	2 級	45	-	37.8	60.0	2.2	63.2
	3 級	23	-	43.5	56.5	-	60.0
	4 級	19	-	26.3	63.2	10.5	66.1
	5 級	5	-	40.0	40.0	20.0	53.8
	6 級	2	-	-	100.0	-	72.0
障 が い 部 位 別	視覚障がい	21	-	52.4	42.9	4.8	59.9
	聴覚障がい	8	-	37.5	62.5	-	64.3
	音声・言語・そしゃく機能障がい	6	-	33.3	66.7	-	62.7
	肢体不自由（上肢）	18	-	66.7	33.3	-	55.5
	肢体不自由（下肢）	42	-	50.0	42.9	7.1	58.5
	肢体不自由（体幹）	18	-	27.8	66.7	5.6	66.5
	内部障がい（それ以外）	35	-	28.6	68.6	2.9	66.7
	無回答	7	-	42.9	42.9	14.3	54.5

②中心となって介助してくれる家族の性別

中心となって介助してくれる家族の性別について尋ねたところ、「女性」(67.7%)が「男性」(27.7%)を大きく上回っています。

所有手帳別にみると、療育手帳所有者では「女性」(80.5%)が8割を占め、高い割合となっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、3級では女性の割合が9割と最も高くなっています。
 障がい部位別にみると、視覚障がいでは、男性の割合が高くなっています。

<中心となって介助してくれる家族の性別>

単位:%

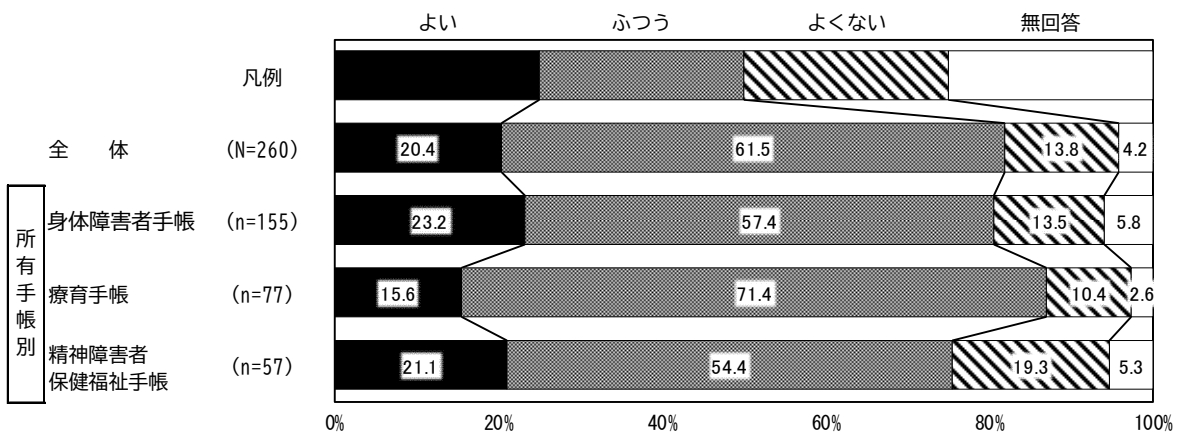
		サ ン プ ル 数	男 性	女 性	そ の 他	無 回 答
全 体		260	27.7	67.7	0.4	4.2
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	61	36.1	57.4	1.6	4.9
	2 級	45	28.9	66.7	-	4.4
	3 級	23	8.7	91.3	-	-
	4 級	19	31.6	57.9	-	10.5
	5 級	5	60.0	20.0	-	20.0
	6 級	2	-	100.0	-	-
障 が い 部 位 別	視覚障がい	21	52.4	38.1	4.8	4.8
	聴覚障がい	8	50.0	50.0	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	6	16.7	83.3	-	-
	肢体不自由（上肢）	18	22.2	77.8	-	-
	肢体不自由（下肢）	42	21.4	71.4	-	7.1
	肢体不自由（体幹）	18	38.9	55.6	-	5.6
	内部障がい（それ以外）	35	22.9	74.3	-	2.9
	無回答	7	28.6	42.9	-	28.6

③中心となって介助してくれる家族の健康状態

中心となって介助してくれる家族の健康状態について尋ねたところ、「ふつう」(61.5%)が半数以上を占めています。また、「よい」(20.4%)が「よくない」(13.8%)を上回っています。

所有手帳別にみると、いずれも「よい」が「よくない」を上回っているが、精神障害者保健福祉手帳所有者については「よい」と「よくない」に大きな差はありません。

<中心となって介助してくれる家族の健康状態>



身体障害者手帳の等級別にみると、5級以外は「ふつう」がいずれも高い割合となっています。また、2級は全体傾向と異なり「よくない」が「よい」の割合を上回っています。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）、内部障がい（それ以外）などでは「よくない」が「よい」を上回っています。

<中心となって介助してくれる家族の健康状態>

単位:%

		サンプル数	よい	ふつう	よくない	無回答
全体		260	20.4	61.5	13.8	4.2
身体障害者手帳等級別	1級	61	24.6	55.7	14.8	4.9
	2級	45	13.3	68.9	15.6	2.2
	3級	23	30.4	52.2	13.0	4.3
	4級	19	26.3	52.6	10.5	10.5
	5級	5	60.0	-	-	40.0
	6級	2	-	100.0	-	-
障がい部位別	視覚障がい	21	23.8	66.7	4.8	4.8
	聴覚障がい	8	37.5	62.5	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	6	16.7	66.7	16.7	-
	肢体不自由（上肢）	18	16.7	77.8	5.6	-
	肢体不自由（下肢）	42	23.8	54.8	9.5	11.9
	肢体不自由（体幹）	18	16.7	50.0	27.8	5.6
	内部障がい（それ以外）	35	22.9	48.6	25.7	2.9
	無回答	7	42.9	42.9	-	14.3

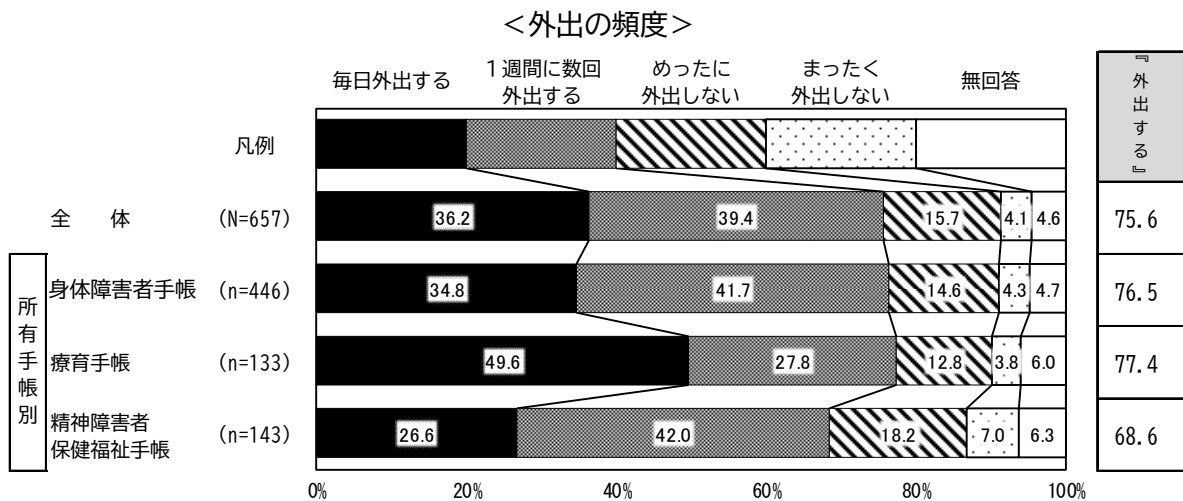
5. 日中活動や就労について

(1) 外出の頻度

問 26 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

外出の頻度について尋ねたところ、「1週間に数回外出する」(39.4%)が最も多く、次いで「毎日外出する」(36.2%)、「めったに外出しない」(15.7%)、「まったく外出しない」(4.1%)の順となっており、7割半ば(75.6%)が、定期的に『外出する(「毎日外出する」+「1週間に数回外出する」)』と回答しています。

所有手帳別にみると、『外出する』は身体障害者手帳所有者で76.5%、療育手帳所有者で77.4%、精神障害者保健福祉手帳所有者で68.6%と大きな差は見られないものの、「毎日外出する」は療育手帳所有者で49.6%と最も高い割合となっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、等級が軽度になるほど『外出する』の割合が高い傾向がみられ、1級（72.8%）と5級（90.9%）では18.1ポイントの差がみられます。

障がい部位別にみると『外出する』は聴覚障がい、肢体不自由（上肢）、肢体不自由（下肢）、内部障がい（それ以外）で8割を超え、音声・言語・そしゃく機能障がいが4割台で最も低くなっています。

<外出の頻度>

単位：%

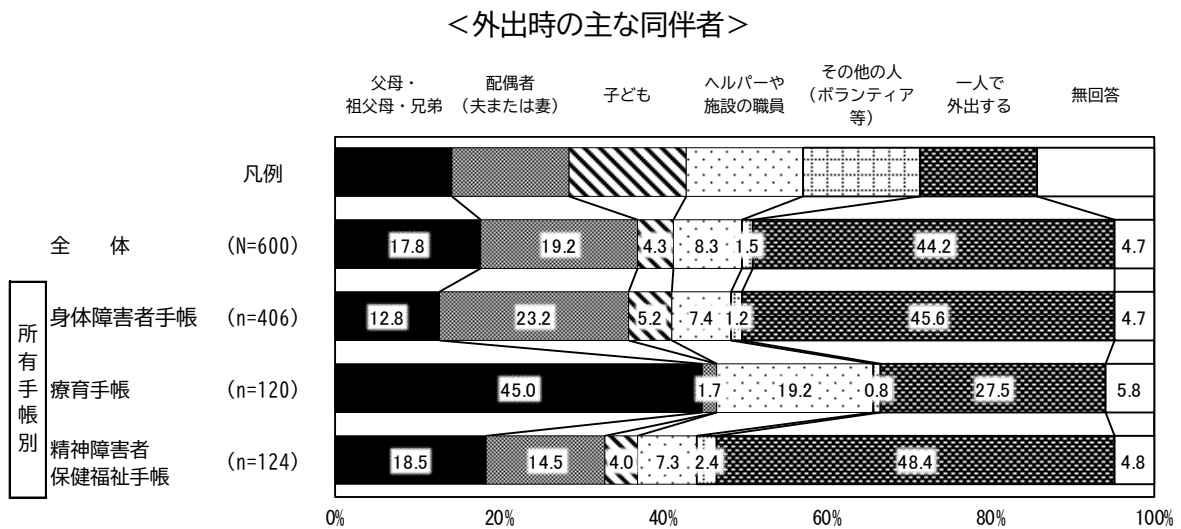
		サンプル数	毎日外出する	1週間に数回外出する	めったに外出しない	まったく外出しない	無回答	『外出する』
全体		657	36.2	39.4	15.7	4.1	4.6	75.6
身体障害者手帳等級別	1級	140	27.1	45.7	12.1	9.3	5.7	72.8
	2級	105	25.7	38.1	24.8	2.9	8.6	63.8
	3級	64	45.3	34.4	15.6	1.6	3.1	79.7
	4級	94	37.2	51.1	8.5	1.1	2.1	88.3
	5級	22	54.5	36.4	4.5	4.5	-	90.9
	6級	21	66.7	19.0	14.3	-	-	85.7
障がい部位別	視覚障がい	30	13.3	53.3	26.7	6.7	-	66.6
	聴覚障がい	28	50.0	35.7	7.1	-	7.1	85.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	11.1	33.3	22.2	-	44.4
	肢体不自由（上肢）	50	48.0	32.0	10.0	8.0	2.0	80.0
	肢体不自由（下肢）	128	35.9	44.5	14.1	2.3	3.1	80.4
	肢体不自由（体幹）	30	26.7	30.0	26.7	10.0	6.7	56.7
	内部障がい（それ以外）	129	31.8	49.6	12.4	3.1	3.1	81.4
無回答	42	35.7	31.0	11.9	2.4	19.0	66.7	

(2) 外出時の主な同伴者

【問 26 で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】
 問 27 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

外出時の主な同伴者について尋ねたところ、「一人で外出する」(44.2%)が半数弱を占め最も多く、次いで「配偶者(夫または妻)」(19.2%)、「父母・祖父母・兄弟」(17.8%)となっています。

所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者および精神障害者保健福祉手帳所有者は「一人で外出する」(45.6%：48.4%)が、療育手帳所有者は「父母・祖父母・兄弟」(45.0%)が最も多くなっています。



身体障害者手帳所有者の等級別にみると、等級が軽度になるほど「一人で外出する」の割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、聴覚障がい、では、「一人で外出する」が6割を超え、65.4%となっています。また、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由（体幹）は「ヘルパーや施設の職員」が他を大きく上回っています。

<外出時の主な同伴者>

単位：%

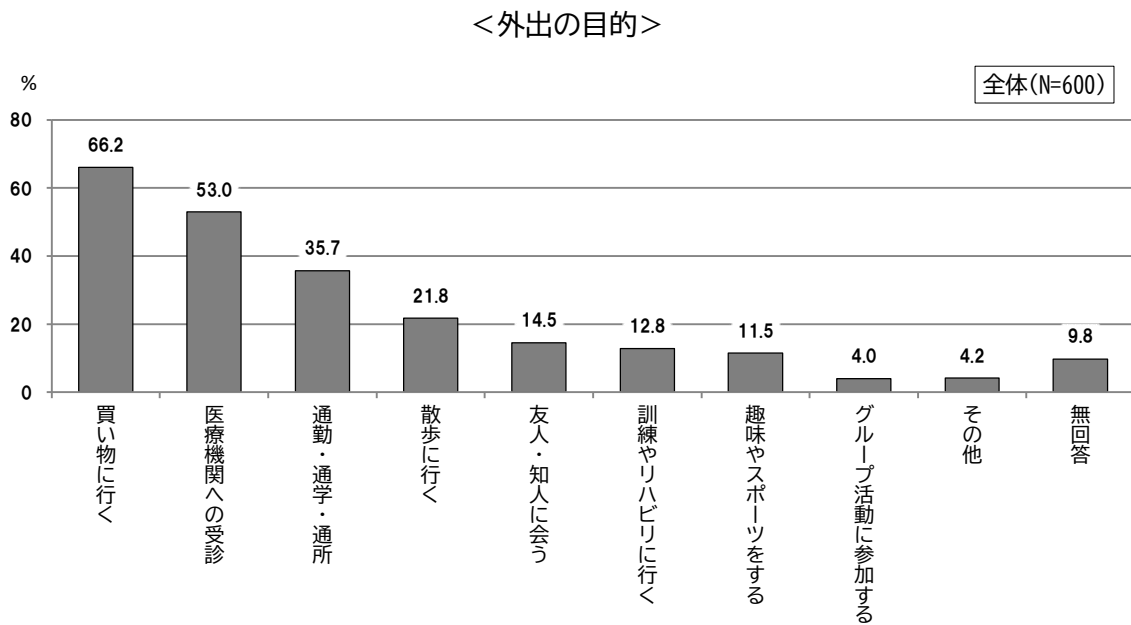
		サンプル数	父母・祖父母・兄弟	配偶者（夫または妻）	子ども	ヘルパーや施設の職員	（ボランティア等） その他の人	一人で外出する	無回答
全体		600	17.8	19.2	4.3	8.3	1.5	44.2	4.7
身体障害者手帳等級別	1級	119	13.4	21.8	5.9	14.3	1.7	33.6	9.2
	2級	93	22.6	17.2	8.6	9.7	1.1	37.6	3.2
	3級	61	9.8	24.6	3.3	3.3	1.6	50.8	6.6
	4級	91	7.7	28.6	4.4	2.2	1.1	54.9	1.1
	5級	21	9.5	33.3	-	-	-	57.1	-
	6級	21	-	19.0	-	-	-	81.0	-
障がい部位別	視覚障がい	28	21.4	17.9	17.9	28.6	3.6	10.7	-
	聴覚障がい	26	7.7	23.1	-	3.8	-	65.4	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	14.3	-	14.3	28.6	-	42.9	-
	肢体不自由（上肢）	45	15.6	17.8	8.9	6.7	-	46.7	4.4
	肢体不自由（下肢）	121	14.9	22.3	4.1	4.1	1.7	49.6	3.3
	肢体不自由（体幹）	25	20.0	20.0	4.0	20.0	4.0	28.0	4.0
	内部障がい（それ以外）	121	6.6	31.4	1.7	4.1	0.8	46.3	9.1
無回答	33	15.2	15.2	9.1	3.0	-	54.5	3.0	

(3) 外出の目的

【問26で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】

問28 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

外出の目的について尋ねたところ、「買い物に行く」(66.2%)と「医療機関への受診」(53.0%)の2項目が突出して多くなっています。



所有手帳別にみると、いずれも全体の上位2項目の割合が高くなっています。療育手帳所有者では「通勤・通学・通所」(59.2%)が他を大きく上回っています。

身体障害者手帳所有者の等級別にみると、1～5級で全体の上位2項目の割合が高くなっています。また、等級が重度になるほど「訓練やリハビリに行く」の割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、聴覚障害を除き上位2項目の割合が高くなっています。

<外出の目的>

単位:%

		サンプル数	通勤・通学・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他
全体		600	35.7	12.8	53.0	66.2	14.5	11.5	4.0	21.8	4.2
所有手帳別	身体障害者手帳	406	30.8	15.8	56.4	68.0	16.3	14.0	3.2	21.4	3.0
	療育手帳	120	59.2	12.5	40.0	60.0	6.7	6.7	5.0	28.3	5.8
	精神障害者保健福祉手帳	124	29.8	9.7	55.6	61.3	12.9	5.6	7.3	16.1	5.6
	無回答	23	30.4	8.7	39.1	56.5	21.7	-	-	30.4	8.7
身体障害者等級別	1級	119	26.1	21.0	62.2	61.3	12.6	15.1	6.7	21.8	4.2
	2級	93	29.0	14.0	60.2	63.4	17.2	7.5	1.1	18.3	3.2
	3級	61	32.8	19.7	52.5	63.9	18.0	9.8	1.6	24.6	1.6
	4級	91	26.4	11.0	58.2	78.0	18.7	20.9	2.2	20.9	2.2
	5級	21	47.6	4.8	33.3	85.7	9.5	23.8	4.8	19.0	4.8
	6級	21	61.9	14.3	33.3	76.2	23.8	9.5	-	28.6	-
障がい部位別	視覚障がい	28	21.4	7.1	78.6	78.6	17.9	14.3	14.3	25.0	3.6
	聴覚障がい	26	65.4	-	38.5	69.2	30.8	11.5	-	23.1	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	14.3	28.6	57.1	42.9	-	-	-	42.9	-
	肢体不自由(上肢)	45	44.4	15.6	44.4	66.7	11.1	13.3	-	17.8	-
	肢体不自由(下肢)	121	32.2	27.3	57.9	71.9	18.2	15.7	4.1	20.7	3.3
	肢体不自由(体幹)	25	20.0	40.0	68.0	44.0	4.0	12.0	4.0	28.0	4.0
	内部障がい(それ以外)	121	23.1	5.8	60.3	69.4	16.5	14.9	1.7	15.7	3.3
	無回答	33	27.3	9.1	39.4	63.6	15.2	12.1	3.0	36.4	6.1

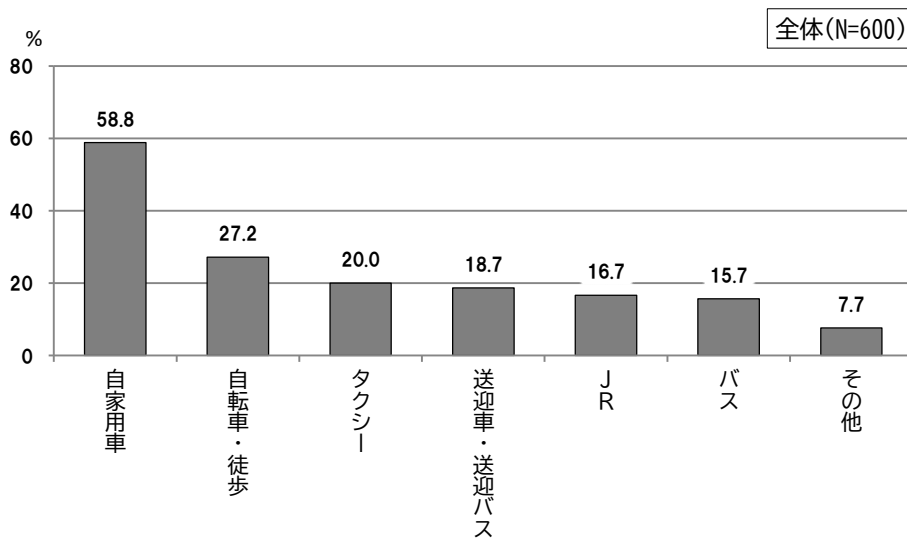
(4) 外出時に利用する交通機関

【問 26 で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】

問 29 あなたは、外出する際にどのような交通機関を利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

外出の際に利用する交通機関について尋ねたところ、「自家用車」(58.8%)が突出して多く、次いで「自転車・徒歩」(27.2%)となっています。その他の交通機関はいずれも2割前後となっています。

<外出時に利用する交通機関>



所有手帳別にみると、いずれも「自家用車」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「送迎車・送迎バス」、精神障害者保健福祉手帳所有者では「JR」、「バス」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、いずれも「自家用車」が最も多くなっています。また、1～3級では「タクシー」が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能障がい以外では「自家用車」が最も多く、特に、肢体不自由（上肢）肢体不自由（下肢）では7割を超え高い割合となっています。また、視覚障がいでは「タクシー」、「バス」が、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「タクシー」、「送迎車・送迎バス」が、他を大きく上回っています。

<外出時に利用する交通機関>

単位：%

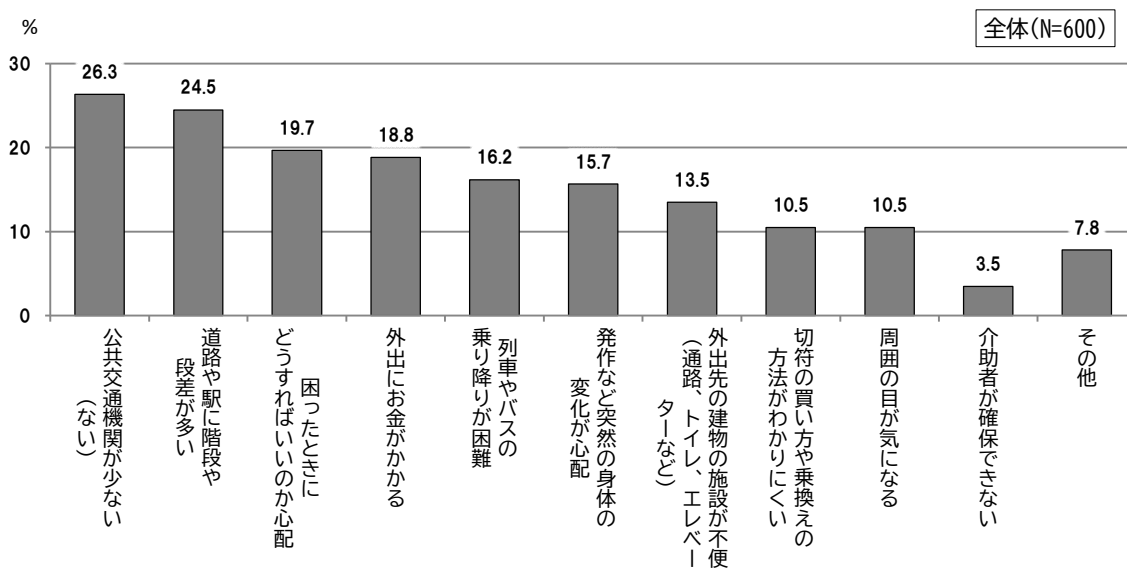
		サンプル数	送迎車・送迎バス	自家用車	タクシー	JR	バス	自転車・徒歩	その他
全体		600	18.7	58.8	20.0	16.7	15.7	27.2	7.7
所有手帳別	身体障害者手帳	406	16.5	64.5	21.7	14.3	14.3	21.2	6.4
	療育手帳	120	39.2	46.7	14.2	16.7	15.0	39.2	6.7
	精神障害者保健福祉手帳	124	14.5	42.7	19.4	24.2	22.6	39.5	12.1
	無回答	23	17.4	52.2	21.7	8.7	-	17.4	4.3
身体障害者等級別	1級	119	25.2	63.0	29.4	13.4	16.0	19.3	5.9
	2級	93	17.2	49.5	23.7	10.8	12.9	23.7	9.7
	3級	61	19.7	65.6	21.3	24.6	18.0	26.2	9.8
	4級	91	7.7	74.7	18.7	12.1	11.0	15.4	4.4
	5級	21	-	90.5	4.8	14.3	14.3	23.8	-
	6級	21	9.5	66.7	-	14.3	14.3	28.6	-
障がい部位別	視覚障がい	28	17.9	50.0	50.0	17.9	35.7	35.7	10.7
	聴覚障がい	26	11.5	61.5	11.5	11.5	7.7	23.1	7.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	57.1	-	57.1	14.3	14.3	14.3	14.3
	肢体不自由（上肢）	45	17.8	71.1	11.1	15.6	17.8	20.0	2.2
	肢体不自由（下肢）	121	17.4	71.1	24.8	14.9	12.4	14.9	5.8
	肢体不自由（体幹）	25	32.0	60.0	8.0	16.0	16.0	16.0	8.0
	内部障がい（それ以外）	121	11.6	67.8	18.2	13.2	11.6	20.7	5.8
	無回答	33	12.1	51.5	24.2	12.1	12.1	39.4	9.1

(5) 外出時に困ること

【問 26 で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】
問 30 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

外出時に困ることについて尋ねたところ、「公共交通機関が少ない(ない)」(26.3%)が最も多く、次いで「道路や駅に階段や段差が多い」(24.5%)、「困ったときにどうすればいいの心配」(19.7%)などの順となっています。

<外出時に困ること>



所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者は「道路や駅に階段や段差が多い」(30.8%)、療育手帳所有者は「困った時にどうすればいいのか心配」(34.2%)、精神障害者保健福祉手帳所有者は「外出にお金がかかる」(37.1%)がそれぞれ最も多くなっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～5級では「道路や駅に階段や段差が多い」が最も多くなっています。また、等級が重度になるほど「公共交通機関が少ない(ない)」の割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、視覚障がい、音声・言語・そしゃく機能障がい、肢体不自由(上肢)、肢体不自由(下肢)、では「道路や駅に階段や段差が多い」がそれぞれ最も多くなっています。また、肢体不自由(体幹)では「外出先の建物の施設が不便(道路、トイレ、エレベーターなど)」の割合が4割を超え、他を大きく上回っています。

<外出時に困ること>

単位:%

		サンプル数	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	切符の買い方や乗り換え	不外出先(通の建物、エレベーターなど)	介助者が確保できない	外出にお金がかかる	周囲の目になる	発作など突然の変化が心配	困ったときいかに心配	その他
全体		600	26.3	16.2	24.5	10.5	13.5	3.5	18.8	10.5	15.7	19.7	7.8
所有手帳別	身体障害者手帳	406	24.1	17.7	30.8	8.4	16.3	3.0	15.0	5.9	13.1	12.3	8.9
	療育手帳	120	26.7	15.8	10.8	17.5	12.5	6.7	17.5	15.0	13.3	34.2	6.7
	精神障害者保健福祉手帳	124	33.9	9.7	13.7	11.3	5.6	0.8	37.1	21.0	27.4	29.8	4.0
	無回答	23	13.0	26.1	34.8	13.0	8.7	8.7	26.1	4.3	21.7	26.1	4.3
身体障害者手帳等級別	1級	119	27.7	16.0	31.9	9.2	21.8	6.7	14.3	5.9	15.1	12.6	7.6
	2級	93	24.7	25.8	31.2	15.1	16.1	2.2	18.3	8.6	10.8	17.2	12.9
	3級	61	24.6	18.0	27.9	4.9	14.8	1.6	23.0	6.6	18.0	13.1	3.3
	4級	91	22.0	16.5	33.0	4.4	14.3	1.1	12.1	3.3	11.0	5.5	7.7
	5級	21	14.3	9.5	38.1	4.8	9.5	-	9.5	9.5	14.3	9.5	4.8
	6級	21	19.0	4.8	14.3	4.8	4.8	-	-	-	4.8	19.0	23.8
障がい部位別	視覚障がい	28	42.9	35.7	67.9	35.7	39.3	25.0	10.7	3.6	-	14.3	3.6
	聴覚障がい	26	11.5	11.5	19.2	15.4	3.8	-	3.8	-	15.4	23.1	19.2
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	14.3	28.6	28.6	-	14.3	-	-	28.6	-	-	14.3
	肢体不自由(上肢)	45	20.0	17.8	31.1	2.2	15.6	2.2	11.1	11.1	11.1	4.4	6.7
	肢体不自由(下肢)	121	24.8	26.4	47.1	4.1	23.1	0.8	11.6	5.0	11.6	9.1	8.3
	肢体不自由(体幹)	25	24.0	28.0	40.0	8.0	44.0	8.0	20.0	8.0	16.0	28.0	4.0
	内部障がい(それ以外)	121	24.8	6.6	11.6	7.4	5.0	0.8	20.7	5.0	17.4	10.7	9.9
無回答	33	21.2	6.1	12.1	9.1	3.0	-	24.2	6.1	15.2	21.2	9.1	

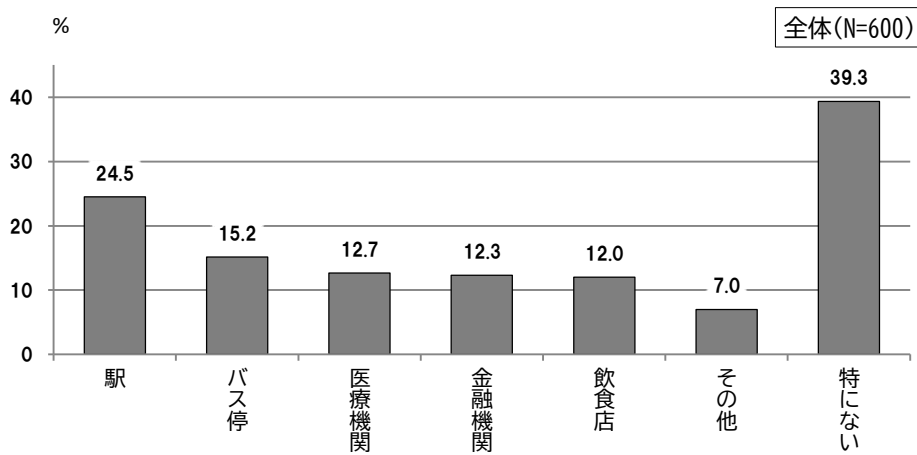
(6) 外出先で不便や困難を感じる場所

【問 26 で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】

問 31 外出先で不便や困難を感じる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

外出先で不便や困難を感じる場所について尋ねたところ、「駅」(24.5%)が最も多く、次いで、「バス停」(15.2%)、「医療機関」(12.7%)、「金融機関」(12.3%)、「飲食店」(12.0%)の順となっています。なお、約4割は「特にない」(39.3%)と回答しています。

<外出先で不便や困難を感じる場所>



所有手帳別にみると、いずれも「駅」が最も多く、療育手帳所有者は「金融機関」が20.0%と、他より高くなっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～5級では「駅」が最も多くなっています。なお、「特にない」は等級が重度になるほど割合が低い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「駅」、「バス停」などの交通に関する場所での割合が他を大きく上回っています。

<外出先で不便や困難を感じる場所>

単位:%

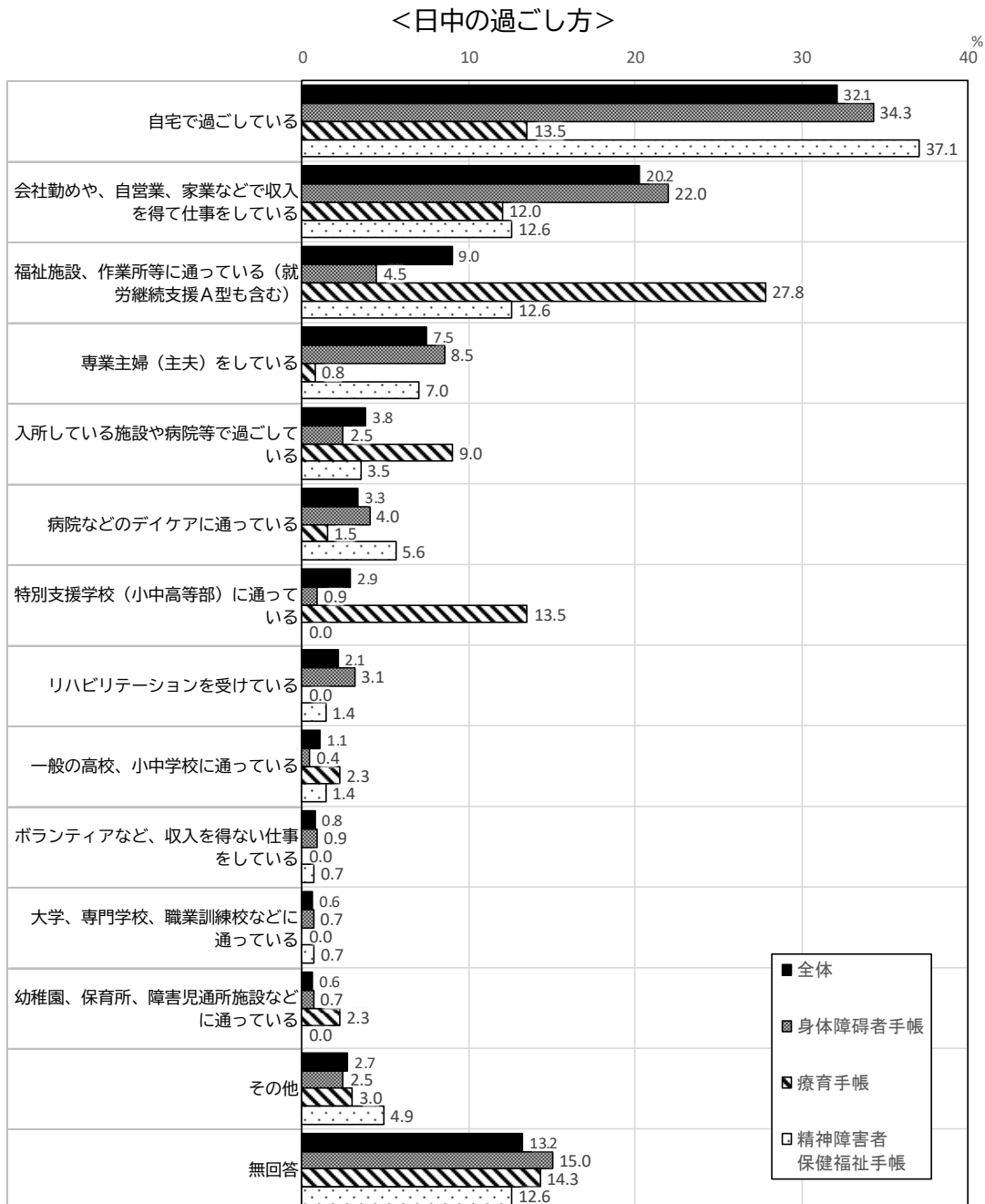
		サンプル数	駅	バス停	医療機関	金融機関	飲食店	その他	特にない
全体		600	24.5	15.2	12.7	12.3	12.0	7.0	39.3
所有手帳別	身体障害者手帳	406	23.6	14.5	12.1	10.3	12.8	6.9	40.1
	療育手帳	120	22.5	16.7	17.5	20.0	11.7	6.7	35.0
	精神障害者保健福祉手帳	124	27.4	13.7	9.7	11.3	11.3	5.6	41.1
	無回答	23	26.1	13.0	21.7	13.0	4.3	8.7	39.1
身体障害者等級別手帳	1級	119	19.3	14.3	16.0	13.4	18.5	7.6	36.1
	2級	93	25.8	18.3	12.9	9.7	12.9	3.2	38.7
	3級	61	24.6	14.8	8.2	13.1	13.1	8.2	39.3
	4級	91	27.5	13.2	9.9	5.5	4.4	9.9	45.1
	5級	21	33.3	14.3	4.8	9.5	9.5	4.8	47.6
	6級	21	9.5	4.8	14.3	9.5	19.0	4.8	42.9
障がい部位別	視覚障がい	28	46.4	39.3	32.1	39.3	28.6	10.7	14.3
	聴覚障がい	26	26.9	11.5	23.1	19.2	11.5	3.8	26.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	7	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3
	肢体不自由（上肢）	45	20.0	2.2	11.1	-	15.6	6.7	44.4
	肢体不自由（下肢）	121	33.1	20.7	9.1	9.9	13.2	6.6	30.6
	肢体不自由（体幹）	25	24.0	20.0	12.0	12.0	36.0	4.0	44.0
	内部障がい（それ以外）	121	11.6	7.4	9.1	6.6	4.1	7.4	53.7
	無回答	33	18.2	12.1	6.1	6.1	6.1	6.1	54.5

(7) 日中の過ごし方

【問 26 で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】
 問 32 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

日中の過ごし方についてみると、「自宅で過ごしている」(32.1%)が約3割を占めて最も多くなっています。

所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者と精神障害者保健福祉手帳所有者は「自宅で過ごしている」が、療育手帳所有者では「福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)」がそれぞれ最も多くなっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度は「病院などのデイケアに通っている」がやや多くなっています。また、等級が軽度になるほど「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」の割合が高くなっています。

障がい部位別にみると、聴覚障がいや「会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」(42.9%)が他を上回っています。

<日中の過ごし方>

単位: %

		サンプル数	自宅で過ごしている	会社勤めや、自営業、家業などで収入を得ている	福祉施設、作業所等に通っている(就業継続含む)	専業主婦(主夫)をしている	入院して過ごしている	病院などの通院施設や病室にいる	特別支援学校(小中高)	リハビリテーションを受ける	一般の高校、小中学校に通っている	入学金なしの仕事などを行っている	訓練校、専門学校に通っている	大学、専門学校に通っている	幼稚園、保育園、児童施設などに通っている	その他	無回答
全体		657	32.1	20.2	9.0	7.5	3.8	3.3	2.9	2.1	1.1	0.8	0.6	0.6	0.6	2.7	13.2
身体障害者手帳等級別	1級	140	35.7	13.6	2.9	6.4	3.6	7.9	1.4	2.9	-	1.4	-	1.4	6.4	16.4	
	2級	105	34.3	16.2	8.6	8.6	3.8	4.8	-	3.8	1.0	-	1.0	-	-	18.1	
	3級	64	39.1	26.6	4.7	3.1	-	1.6	1.6	3.1	1.6	-	1.6	1.6	1.6	14.1	
	4級	94	29.8	24.5	2.1	18.1	2.1	1.1	1.1	3.2	-	2.1	1.1	-	1.1	13.8	
	5級	22	31.8	45.5	9.1	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	
	6級	21	33.3	57.1	-	-	-	-	-	4.8	-	-	-	-	-	4.8	
障がい部位別	視覚障がい	30	50.0	20.0	3.3	6.7	-	3.3	-	3.3	-	3.3	-	-	3.3	6.7	
	聴覚障がい	28	25.0	42.9	3.6	7.1	-	-	-	3.6	3.6	-	-	-	-	14.3	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	22.2	-	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2	
	肢体不自由(上肢)	50	28.0	26.0	4.0	12.0	2.0	4.0	-	2.0	-	-	2.0	4.0	2.0	14.0	
	肢体不自由(下肢)	128	24.2	25.0	4.7	14.1	1.6	3.9	2.3	7.0	0.8	0.8	0.8	0.8	1.6	12.5	
	肢体不自由(体幹)	30	30.0	13.3	6.7	-	16.7	10.0	3.3	3.3	-	-	-	-	3.3	13.3	
	内部障がい(それ以外)	129	45.7	16.3	3.9	7.0	0.8	5.4	-	0.8	-	1.6	0.8	-	4.7	13.2	
無回答	42	35.7	19.0	7.1	-	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	35.7		

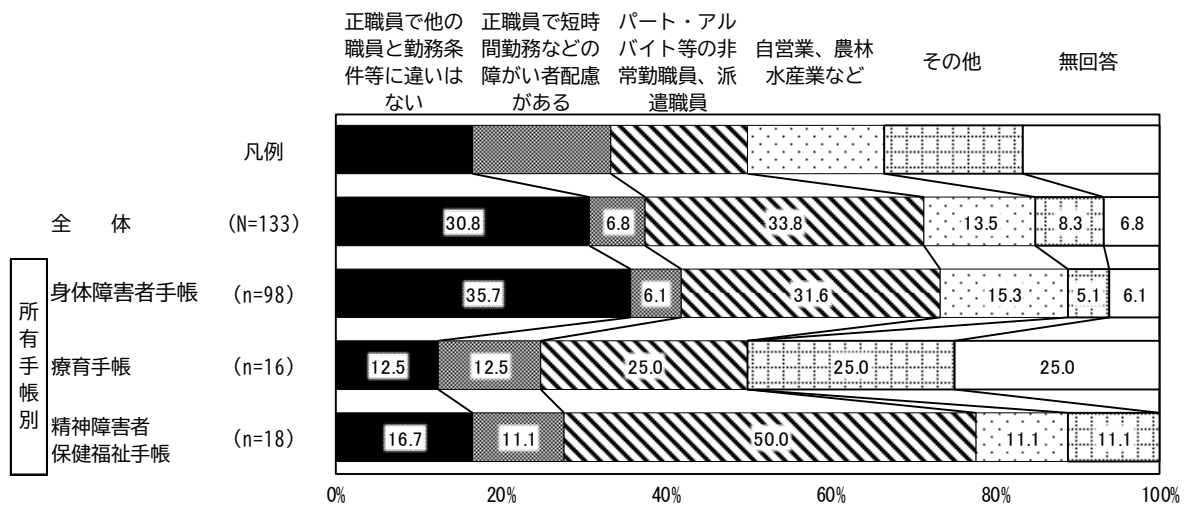
(8) 勤務形態

【問 32 で「1.」と答えた方におたずねします。】
 問 33 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

勤務形態について尋ねたところ、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」(33.8%)が最も多く、以下、「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」(30.8%)、「自営業、農林水産業など」(13.5%)、「正社員で短時間勤務などの障がい者配慮がある」(6.8%)の順となっています。

所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者では「正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない」(35.7%)が最も多く、次いで、「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」(31.6%)、「自営業、農林水産業など」(15.3%)となっています。他の手帳所有者については、サンプル数が少ないため、参考程度の掲載とします。

<勤務形態>



身体障害者手帳の等級別にみると、2級は「パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員」が47.1%と、他を上回っています。

障がい部位別については、サンプル数が少ない項目が多いため、参考程度の掲載とします。

<勤務形態>

単位:%

		サンプル数	正 務 条 件 等 に 違 い は な い 勤 務	ど の 障 が い 者 配 慮 が あ る	正 職 員 で 短 時 間 勤 務 あ る	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 職 員 、 バ イ ト 職 員 等	自 営 業 、 農 林 水 産 業 ど な ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体		133	30.8	6.8	33.8	13.5	8.3	6.8	
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	19	31.6	15.8	26.3	10.5	-	15.8	
	2 級	17	29.4	5.9	47.1	5.9	11.8	-	
	3 級	17	41.2	-	35.3	23.5	-	-	
	4 級	23	21.7	-	26.1	30.4	8.7	13.0	
	5 級	10	60.0	10.0	20.0	-	10.0	-	
	6 級	12	50.0	8.3	33.3	8.3	-	-	
障 が い 部 位 別	視覚障がい	6	-	33.3	33.3	33.3	-	-	
	聴覚障がい	12	33.3	-	50.0	8.3	8.3	-	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	-	-	50.0	-	50.0	-	
	肢体不自由（上肢）	13	30.8	7.7	38.5	15.4	7.7	-	
	肢体不自由（下肢）	32	43.8	6.3	18.8	21.9	3.1	6.3	
	肢体不自由（体幹）	4	25.0	-	50.0	-	-	25.0	
	内部障がい（それ以外）	21	38.1	-	33.3	14.3	4.8	9.5	
無回答	8	50.0	12.5	25.0	-	-	12.5		

(9) 現在の仕事に就いたきっかけ

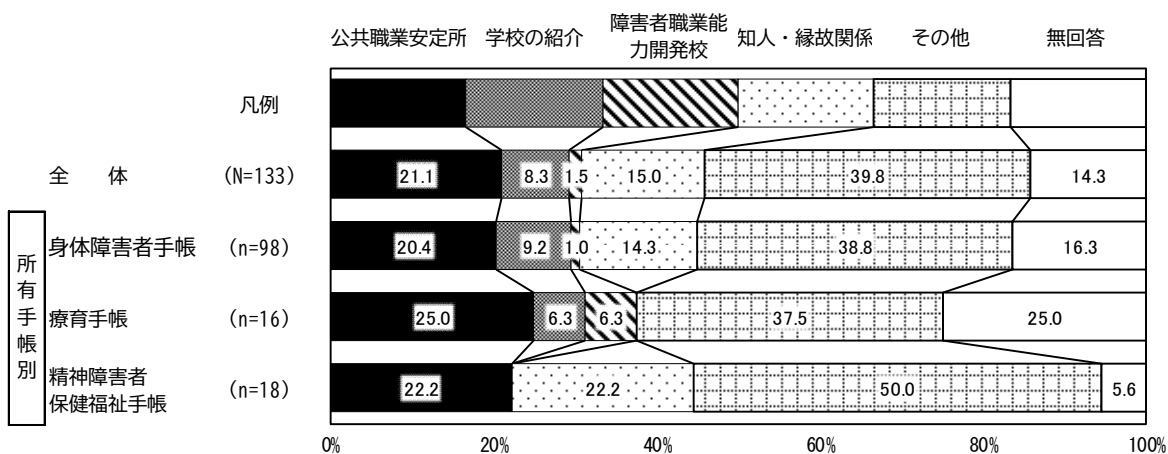
【問 32 で「1.」と答えた方におたずねします。】

問 34 現在の仕事をどのような方法でみつけましたか。(○は1つだけ)

現在の仕事に就いたきっかけを尋ねたところ、「公共職業安定所」(21.1%)が最も多く、以下、「知人・縁故関係」(15.0%)、「学校の紹介」(8.3%)、「障害者職業能力開発校」(1.5%)の順となっています。

所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者は「公共職業安定所」(20.4%)が最も多く、次いで「知人・縁故関係」(14.3%)となっています。他の手帳所有者については、サンプル数が少ないため、参考程度の掲載とします。

<現在の仕事に就いたきっかけ>



身体障害者手帳の等級別にみると、いずれも「公共職業安定所」と「知人・縁故関係」の2項目の割合が高くなっています。

および障がい部位別については、サンプル数が少ない項目が多いため、参考程度の掲載とします。

<現在の仕事に就いたきっかけ>

単位：%

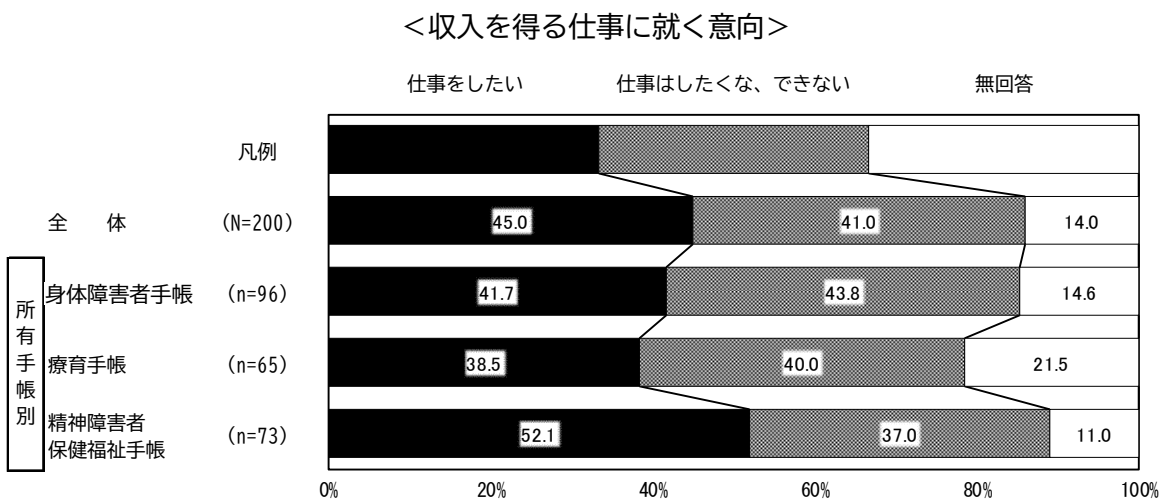
		サンプル数	公共職業安定所	学校の紹介	障害者職業能力開発校	知人・縁故関係	その他	無回答
全体		133	21.1	8.3	1.5	15.0	39.8	14.3
身体障害者手帳等級別	1級	19	10.5	15.8	-	10.5	52.6	10.5
	2級	17	17.6	5.9	5.9	5.9	47.1	17.6
	3級	17	29.4	11.8	-	23.5	35.3	-
	4級	23	21.7	-	-	8.7	26.1	43.5
	5級	10	20.0	10.0	-	30.0	40.0	-
	6級	12	25.0	16.7	-	16.7	33.3	8.3
障がい部位別	視覚障がい	6	16.7	16.7	-	-	50.0	16.7
	聴覚障がい	12	33.3	8.3	-	16.7	33.3	8.3
	音声・言語・そしゃく機能障がい	2	50.0	-	-	-	50.0	-
	肢体不自由（上肢）	13	23.1	-	7.7	7.7	46.2	15.4
	肢体不自由（下肢）	32	21.9	12.5	-	18.8	31.3	15.6
	肢体不自由（体幹）	4	50.0	-	-	25.0	-	25.0
	内部障がい（それ以外）	21	4.8	9.5	-	19.0	52.4	14.3
	無回答	8	12.5	12.5	-	-	37.5	37.5

(10) 収入を得る仕事に就く意向

【問 32 で「2.」から「13.」と答えた 18 歳から 64 歳の方におたずねします。】
 問 35 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。(○は1つだけ)

今後、収入を得る仕事に就きたいかどうかを尋ねたところ、「仕事をしたい」(45.0%)が「仕事はしたくない、できない」(41.0%)をやや上回っています。

所有手帳別にみると、「仕事をしたい」と回答した人は、精神障害者保健福祉手帳所有者(52.1%)が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者(41.7%)、療育手帳所有者(38.5%)となっており、精神障害者保健福祉手帳所有者では半数以上が収入を得る仕事に就きたいという意向を持っています。



身体障害者手帳の等級別にみると、2～4級では「仕事をしたい」が「仕事はしたくない、できない」の割合を上回っています。

障がい部位別にみると、視覚障がいは「仕事をしたい」と「仕事はしたくない、できない」が同率となっており、肢体不自由（下肢）、内部障がい（それ以外）では、「仕事をしたい」が「仕事はしたくない、できない」の割合を上回っています。

<収入を得る仕事に就く意向>

単位:%

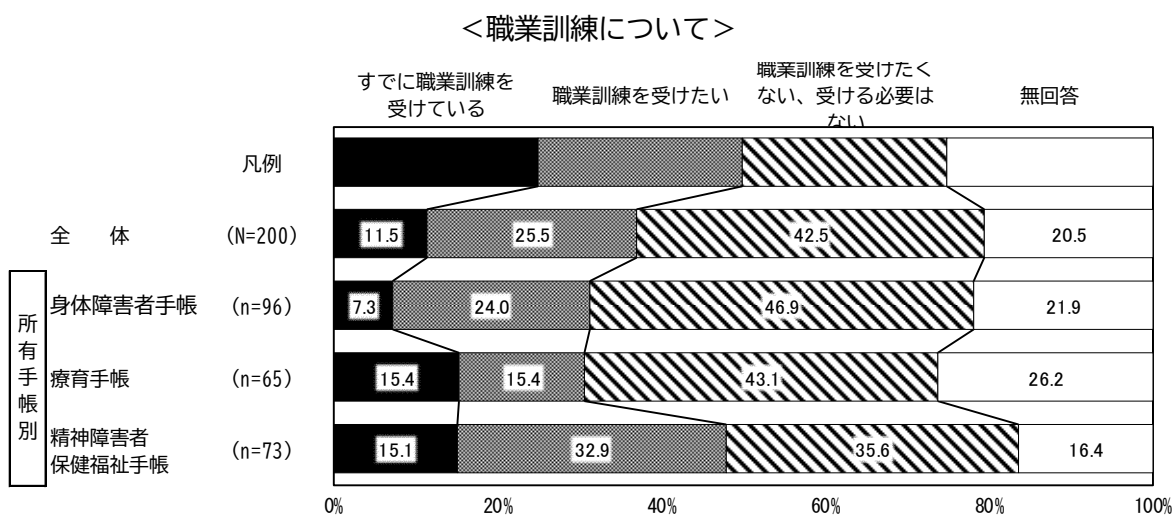
		サンプル数	仕事をしたい	仕事はしたくない、できない、 無回答	無回答
全体		200	45.0	41.0	14.0
身体障害者手帳等級別	1級	36	30.6	52.8	16.7
	2級	33	45.5	39.4	15.2
	3級	12	50.0	33.3	16.7
	4級	10	60.0	30.0	10.0
	5級	4	50.0	50.0	-
	6級	1	-	100.0	-
障がい部位別	視覚障がい	9	44.4	44.4	11.1
	聴覚障がい	3	-	100.0	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	3	-	100.0	-
	肢体不自由（上肢）	11	36.4	45.5	18.2
	肢体不自由（下肢）	25	48.0	36.0	16.0
	肢体不自由（体幹）	11	27.3	54.5	18.2
	内部障がい（それ以外）	23	52.2	39.1	8.7
	無回答	11	45.5	27.3	27.3

(11) 職業訓練の受講意向

【問 32 で「2.」から「13.」と答えた 18 歳から 64 歳の方におたずねします。】
 問 36 収入を得る仕事を得るために、職業訓練を受けたいと思いますか。(○は1つだけ)

職業訓練の受講意向を尋ねたところ、「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」(42.5%) が最も多く、次いで「職業訓練を受けたい」(25.5%)、「すでに職業訓練を受けている」(11.5%) となっています。

所有手帳別にみると、「すでに職業訓練を受けている」は療育手帳所有者(15.4%) が最も多く、「職業訓練を受けたい」は精神障害者保健福祉手帳所有者(32.9%) が最も多くなっています。



身体障害者手帳の等級別および障がい部位別にみると、6級以外でいずれも「職業訓練を受けたくない、受ける必要はない」が最も多くなっています。

<職業訓練について>

単位:%

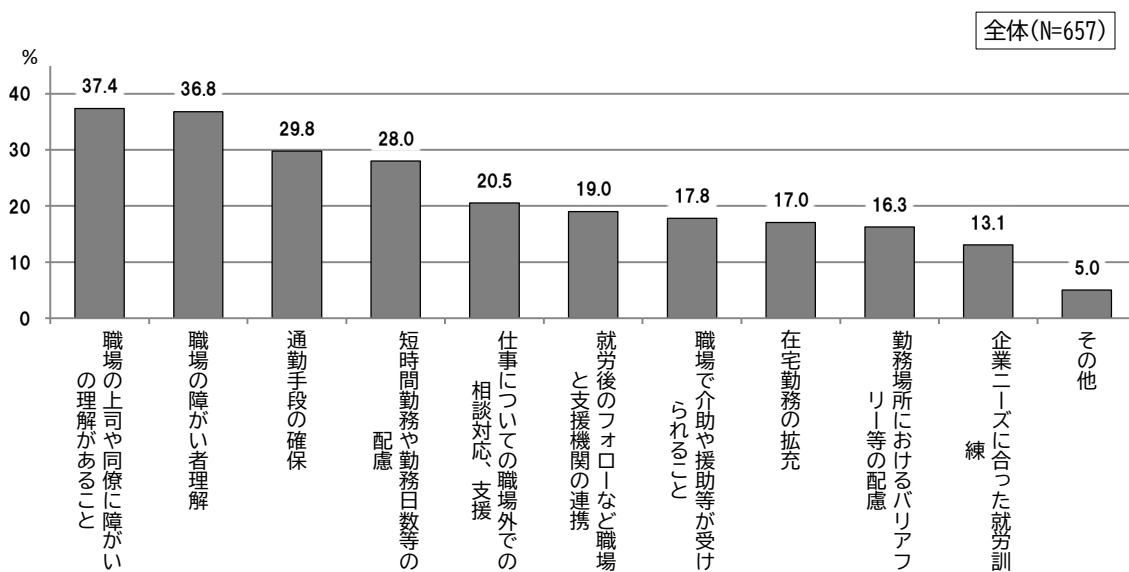
		サンプル数	すでに職業訓練を受けている	職業訓練を受けたい	職業訓練を受けたくない	無回答
全体		200	11.5	25.5	42.5	20.5
身体障害者手帳等級別	1級	36	2.8	16.7	50.0	30.6
	2級	33	9.1	30.3	42.4	18.2
	3級	12	8.3	25.0	41.7	25.0
	4級	10	-	30.0	60.0	10.0
	5級	4	25.0	25.0	50.0	-
	6級	1	100.0	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	9	22.2	11.1	44.4	22.2
	聴覚障がい	3	-	33.3	66.7	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	3	-	-	66.7	33.3
	肢体不自由（上肢）	11	9.1	9.1	45.5	36.4
	肢体不自由（下肢）	25	8.0	20.0	44.0	28.0
	肢体不自由（体幹）	11	-	36.4	45.5	18.2
	内部障がい（それ以外）	23	4.3	34.8	52.2	8.7
	無回答	11	9.1	27.3	36.4	27.3

(12) 障がい者の就労支援として必要だと思うこと

問 37 あなたは、障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

障がい者の就労支援として必要だと思うことについて尋ねたところ、「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」(37.4%)、「職場の障がい者理解」(36.8%)の2項目が多くなっています。

<障がい者の就労支援として必要だと思うこと>



所有手帳別にみると、いずれも「職場の障がい者理解」が多くなっています。また、療育手帳所有者は「職場で介助や援助等が受けられること」が他をやや上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、5級は「職場の上司や同僚に障がいの理解があること」が50.0%と、他を大きく上回っています。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「在宅勤務の拡充」が他をやや上回っています。

<障がい者の就労支援として必要だと思うこと>

単位:%

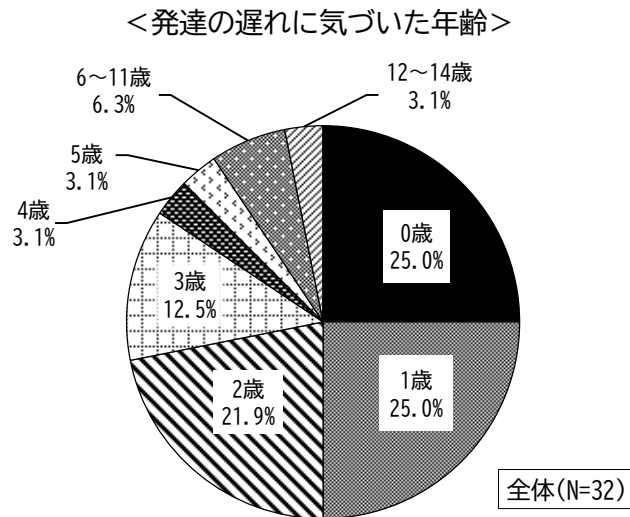
	サンプル数	通勤手段の確保	勤務場所における配慮	短時間勤務や勤務の配慮	在宅勤務の拡充	職場の障がい者理解	障がいの理解があること	職場で介助や援助等が受けられること	職場と支援機関の連携	就業後のフォローなど	企業ニーズに合った訓練	仕事に関する対応、職場外	その他
全体	657	29.8	16.3	28.0	17.0	36.8	37.4	17.8	19.0	13.1	20.5	5.0	
所有手帳別	身体障害者手帳	446	26.7	18.4	26.2	17.3	32.5	31.6	14.8	15.0	12.3	15.9	5.6
	療育手帳	133	37.6	12.0	29.3	12.8	45.1	48.9	30.1	27.8	19.5	28.6	6.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	25.9	7.7	27.3	15.4	35.7	37.1	10.5	22.4	11.2	27.3	4.2
	無回答	27	37.0	29.6	18.5	11.1	33.3	44.4	22.2	11.1	3.7	18.5	-
身体障害者等級別	1級	140	30.0	19.3	27.1	15.7	32.9	31.4	17.9	15.0	14.3	15.0	6.4
	2級	105	25.7	20.0	30.5	24.8	30.5	31.4	17.1	15.2	12.4	17.1	6.7
	3級	64	34.4	18.8	26.6	15.6	31.3	29.7	14.1	18.8	10.9	21.9	3.1
	4級	94	22.3	18.1	22.3	13.8	31.9	28.7	11.7	12.8	8.5	13.8	4.3
	5級	22	18.2	18.2	18.2	22.7	31.8	50.0	9.1	18.2	22.7	13.6	9.1
	6級	21	14.3	4.8	23.8	4.8	47.6	33.3	4.8	9.5	9.5	9.5	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	40.0	30.0	30.0	33.3	36.7	40.0	26.7	23.3	20.0	26.7	3.3
	聴覚障がい	28	25.0	14.3	21.4	10.7	50.0	28.6	17.9	14.3	3.6	10.7	3.6
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	-	11.1
	肢体不自由(上肢)	50	26.0	16.0	22.0	20.0	40.0	40.0	16.0	14.0	12.0	16.0	6.0
	肢体不自由(下肢)	128	32.8	29.7	28.9	19.5	35.2	35.2	14.1	18.0	14.8	14.8	7.8
	肢体不自由(体幹)	30	26.7	23.3	20.0	23.3	30.0	26.7	23.3	20.0	16.7	20.0	3.3
	内部障がい(それ以外)	129	21.7	7.8	30.2	11.6	27.1	29.5	11.6	10.1	9.3	14.7	5.4
無回答	42	19.0	11.9	21.4	14.3	26.2	23.8	11.9	16.7	14.3	19.0	2.4	

6. 療育・教育について（18歳未満）

（1）発達の遅れに気づいた年齢

問 38 発達の遅れに気づいたのは、何歳の時でしたか。（○は1つだけ）

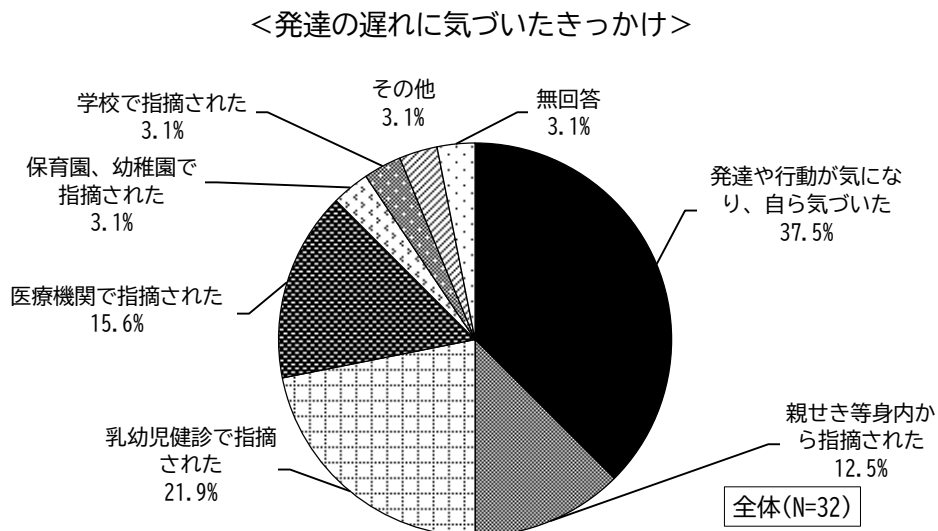
発達の遅れに気づいた年齢を尋ねたところ、「0歳」、「1歳」（25.0%）が最も多く、次いで、「2歳」（21.9%）、「3歳」（12.5%）、「6～11歳」（6.3%）、「5歳」、「6歳」（3.1%）の順となっています。



（2）発達の遅れに気づいたきっかけ

問 39 発達の遅れに気づかれたのはどういうきっかけでしたか。（○は1つだけ）

発達の遅れに気づいたきっかけを尋ねたところ、「発達や行動が気になり、自ら気づいた」（37.5%）、「乳幼児健診で指摘された」（21.9%）、「医療機関で指摘された」（15.6%）の3項目が主な回答となっています。



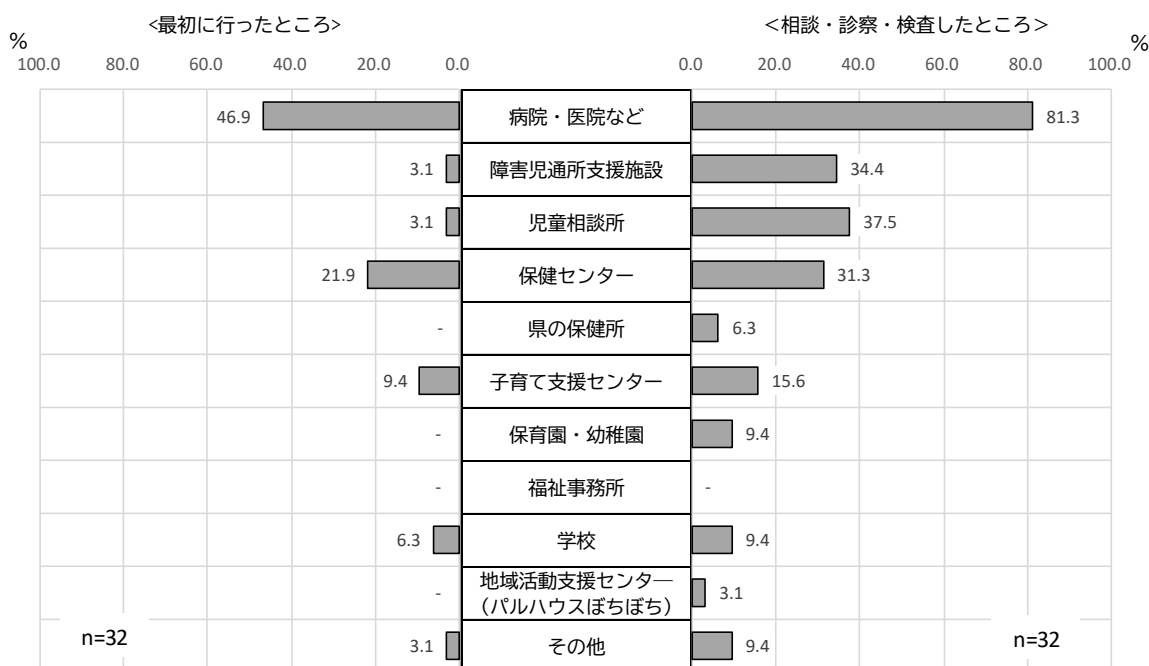
(3) 発達の遅れについて相談、診察を求めた先

問 40 発達の遅れに気づいてから、どこに相談し、診察結果を求めに行きましたか。①最初に行ったところと（○は1つだけ）、②相談・診察・検査したところ（あてはまるものすべてに○）をそれぞれお答えください。

発達の遅れについて相談、診察結果を求めた先を尋ねたところ、最初に行ったところは「病院・医院など」（46.9%）が大多数で、次いで「保健センター」（21.9%）となっています。

その後、相談・診察・検査したところは「病院・医院など」（81.3%）が同様に最も多く、次いで「児童相談所」（37.5%）、「障害児通所支援施設」（34.4%）、「保健センター」（31.3%）、「子育て支援センター」（15.6%）、などとなっています。

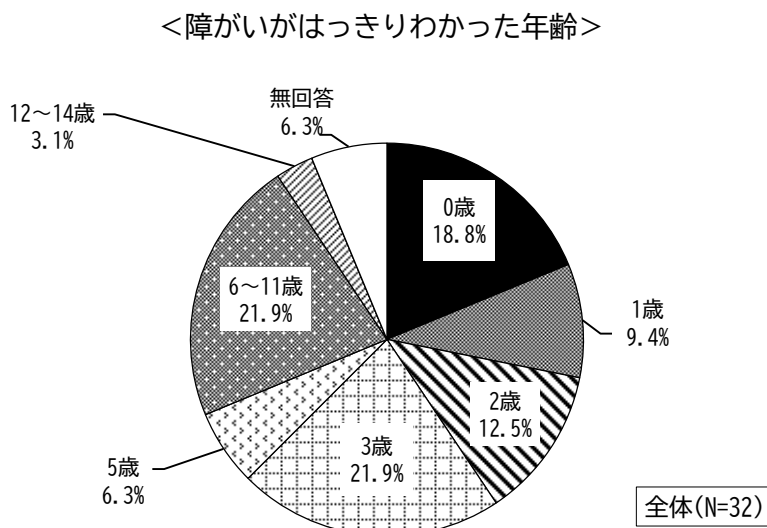
<発達の遅れについて相談、診察を求めた先>



(4) 障がいがはっきりわかった年齢

問 41 医学的診断の結果、障がいがはっきりとわかったのは、何歳の時でしたか。(〇は1つだけ)

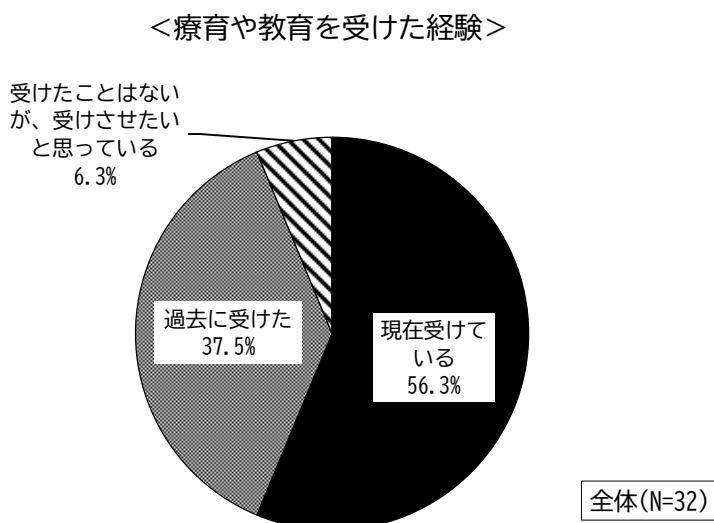
検査の結果、障がいがはっきりわかった年齢を尋ねたところ、「3歳」、「6～11歳」(21.9%)が最も多く、次いで「0歳」(18.8%)、「2歳」(12.5%)、「5歳」(6.3%)、「12～14歳」(3.1%)などの順となっています。



(5) 療育や教育を受けた経験

問 42 療育や教育を受けた経験がありますか。

療育や教育を受けた経験を尋ねたところ、「現在受けている」(56.3%)が過半数を占め、次いで「過去に受けた」(37.5%)、「受けたことはない、受けさせたいと思っている」(6.3%)となっています。



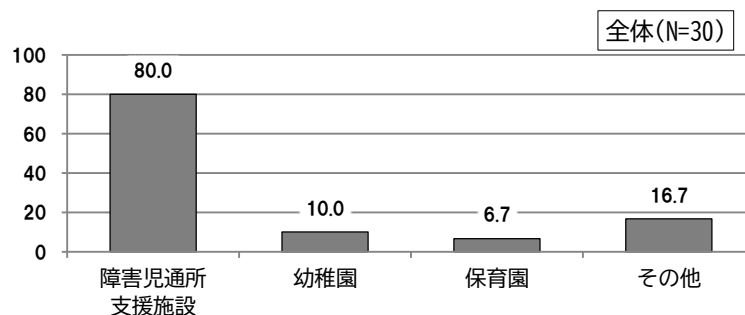
(6) 療育や教育を受けた（受けている）場所

【問 42 で「1.」または「2.」と答えた方におたずねします。】

問 43 療育や教育を受けた（受けている）場所はどこですか。

療育や教育を受けた（受けている）場所を尋ねたところ、「障害児通所支援施設」（80.0%）が8割を占めて最も多く、次いで、「幼稚園」（10.0%）、「保育園」（6.7%）となっています。

<療育や教育を受けた（受けている）場所>

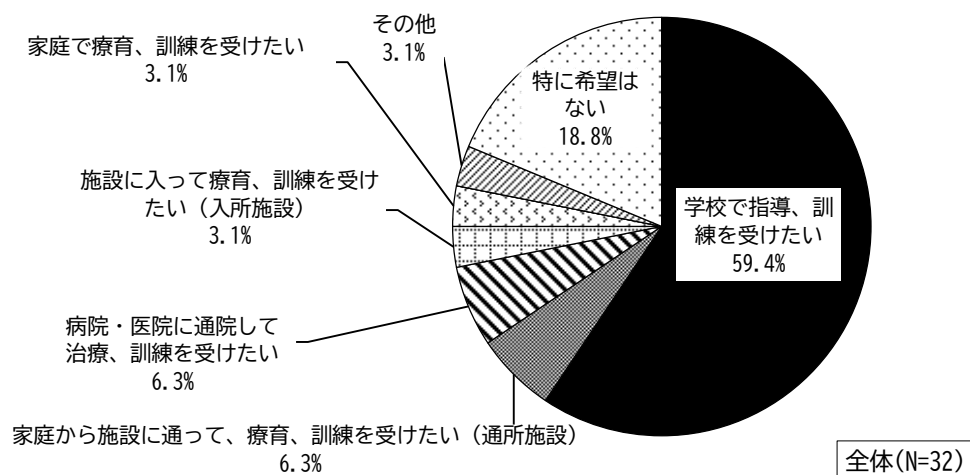


(7) 療育や教育に対する希望

問 44 療育・教育について、今後どのような希望がありますか。（○は1つだけ）

療育や教育に対する希望を尋ねたところ、「学校で指導、訓練を受けたい」（59.4%）が約6割を占めて最も多く、次いで「家庭から施設に通って、療育、訓練を受けたい（通所施設）」、「病院・医院に通院して治療、訓練を受けたい」（6.3%）となっています。なお、「特に希望はない」も2割弱みられます。

<療育や教育に対する希望>



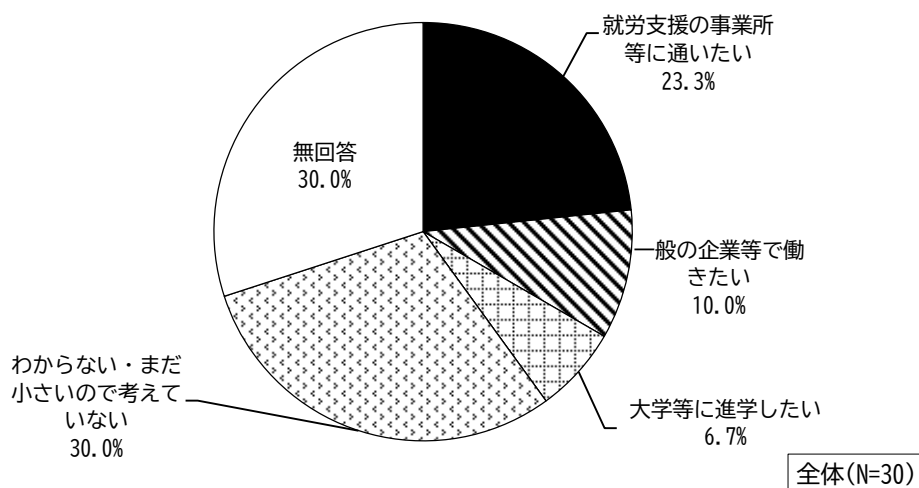
(8) 学校（中学校または高等学校）を卒業した後の進路

【宛名の方が保育園・幼稚園等や学校に通っている場合のみお答えください。】

問 45 お子さんが学校（中学校または高等学校）を卒業した後の進路について、どのようにお考えですか。お子さん自身の希望に最も近いと思われるものを選んでください。（○は1つだけ）

学校（中学校または高等学校）を卒業した後の進路について尋ねたところ、「就労支援の事業所等に通いたい」（23.3%）が最も多く、次いで「一般の企業等で働きたい」（10.0%）、「大学等に進学したい」（6.7%）などとなっています。なお、「わからない・まだ小さいので考えていない」（30.0%）も3割みられます。

<学校（中学校または高等学校）を卒業した後の進路>



7. 障がい福祉サービス等の利用について

(1) 障害支援区分認定の状況

問 46 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

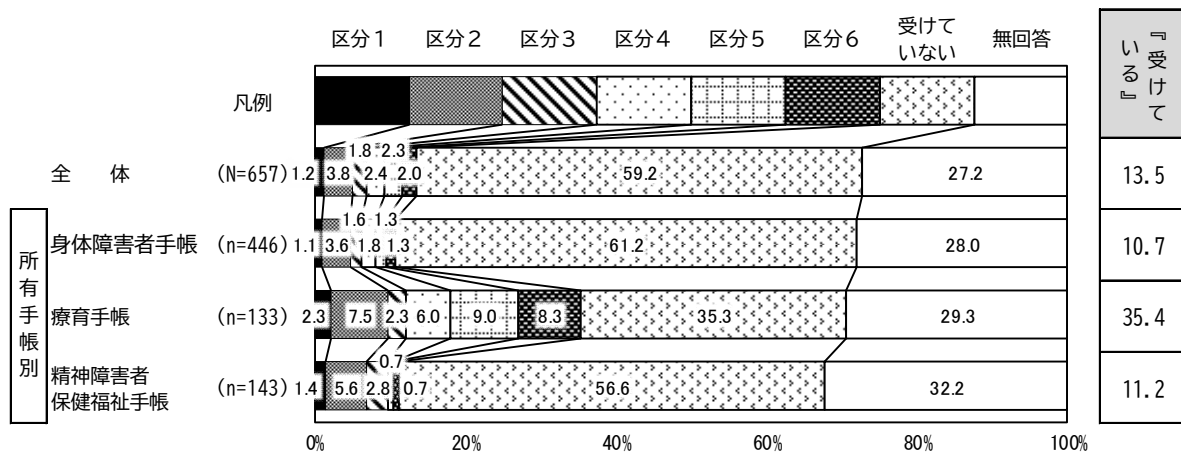
※障害支援区分とは、障害福祉サービス（ヘルパーやデイサービスなど）を利用する際に、必要となるもので、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものをいい、認定調査等を行ない認定をするものです。

障害支援区分認定の状況について尋ねたところ、「受けていない」(59.2%)が6割弱を占め、『受けている』は13.5%と1割強にとどまっています。障害支援区分の割合に大きな差はみられませんでした。

所有手帳別にみると、障害支援区分認定を受けているのは療育手帳所有者(35.4%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(11.2%)、身体障害者手帳所有者(10.7%)となっています。

内訳としては、身体障害者手帳所有者、精神障害者保健福祉手帳所有者では「区分2」、療育手帳所有者では「区分5」が最も多くなっています。

<障害支援区分認定の状況>



身体障害者手帳の等級別にみると、等級が重度になるほど『受けている』と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、視覚障がいで『受けている』の割合が2割弱と、他をやや上回っています。

<障害支援区分認定の状況>

単位：%

	サンプル数	区分	区分	区分	区分	区分	区分	受けていない	無回答	『受けている』	
		1	2	3	4	5	6				
全体	657	1.2	3.8	1.8	2.4	2.3	2.0	59.2	27.2	13.5	
身体障害者手帳等級別	1級	140	2.9	0.7	2.9	1.4	2.9	3.6	57.9	27.9	14.4
	2級	105	-	7.6	1.0	2.9	1.9	1.0	49.5	36.2	14.4
	3級	64	-	7.8	1.6	1.6	-	-	67.2	21.9	11.0
	4級	94	1.1	1.1	1.1	2.1	-	-	67.0	27.7	5.4
	5級	22	-	-	-	-	-	-	77.3	22.7	0.0
	6級	21	-	4.8	-	-	-	-	81.0	14.3	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	3.3	-	10.0	3.3	3.3	-	56.7	23.3	19.9
	聴覚障がい	28	-	3.6	3.6	-	3.6	-	75.0	14.3	10.8
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	0.0
	肢体不自由（上肢）	50	2.0	2.0	-	2.0	4.0	4.0	56.0	30.0	14.0
	肢体不自由（下肢）	128	0.8	4.7	0.8	2.3	0.8	0.8	63.3	26.6	10.2
	肢体不自由（体幹）	30	-	3.3	-	3.3	3.3	6.7	46.7	36.7	16.6
	内部障がい（それ以外）	129	1.6	3.9	0.8	0.8	-	0.8	65.9	26.4	7.9
	無回答	42	-	4.8	2.4	2.4	-	-	50.0	40.5	9.6

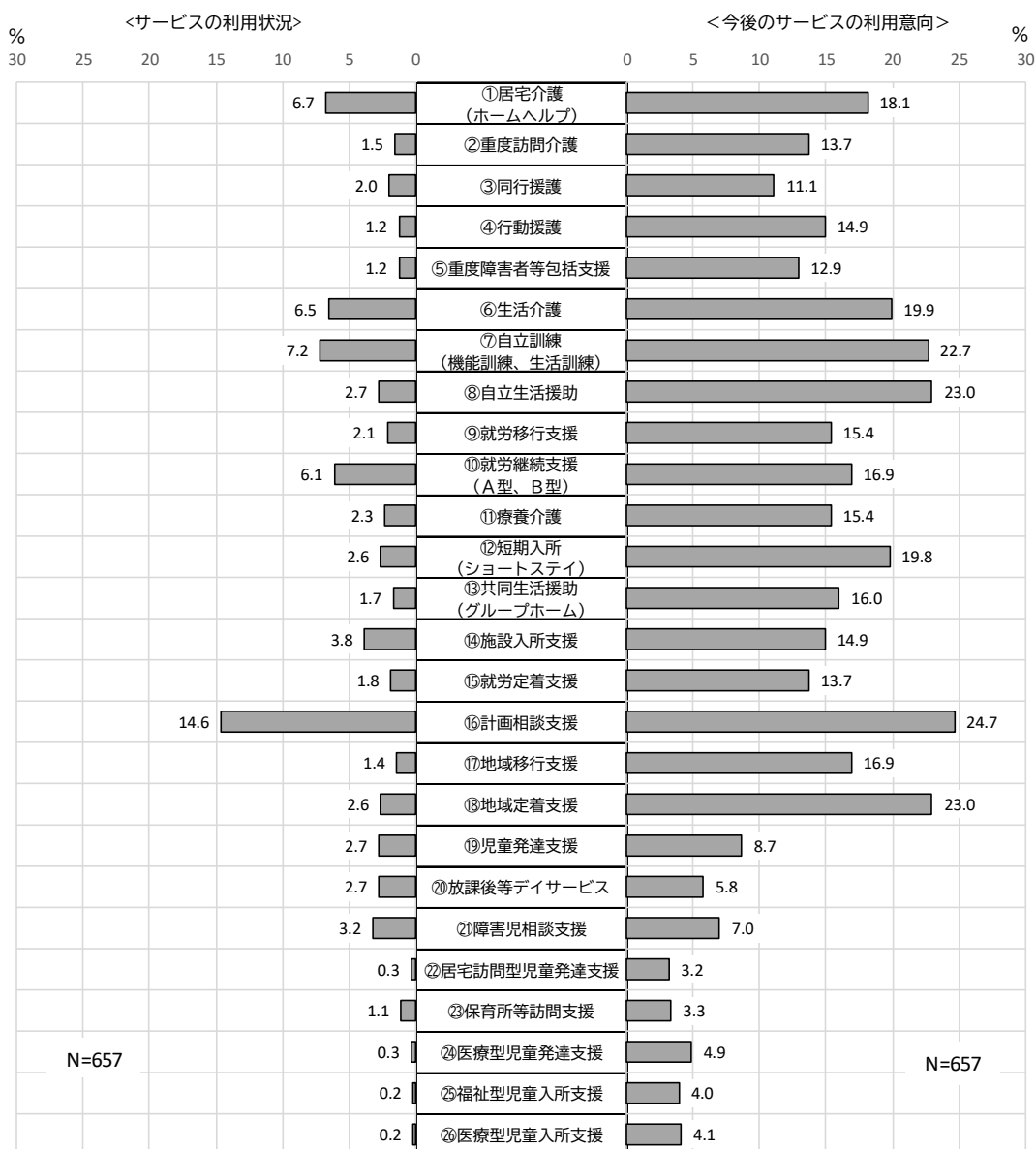
(2) 障害福祉サービス等の利用状況

問 47 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(①から⑳のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(○を記入)してください)

現在のサービス利用状況を尋ねたところ、「利用している」と回答した人が最も多いサービスは「⑩計画相談支援」(14.6%)で、次いで、「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(7.2%)、「①居宅介護(ホームヘルプ)」(6.7%)、「⑥生活介護」(6.5%)、「⑩就労継続支援(A型、B型)」(6.1%)などの順となっています。

一方、今後のサービス利用意向については、「⑩計画相談支援」(24.7%)が現在の利用状況と同じく最も多く、次いで「⑧自立生活援助」、「⑱地域定着支援」(23.0%)、「⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)」(22.7%)、「⑥生活介護」(19.9%)などの順となっています。

<サービスの利用状況と今後の利用意向>



<現在の利用状況>

所有手帳別にみると、いずれの手帳所有者も「⑩計画相談支援」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「⑥生活介護」、「⑦自立訓練（機能訓練、生活訓練）」、「⑩相談支援」、「⑳放課後等デイサービス」、「㉑障害児相談支援」の利用割合が、他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、1～2級の重度においてはいずれのサービスの利用割合も高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「③同行援護」、「⑩相談支援」が、肢体不自由（体幹）では「⑭施設入所支援」、「⑩計画相談支援」が、他を上回っています。

<今後の利用意向>

所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者は「①居宅介護（ホームヘルプ）」、療育手帳所有者は「⑩計画相談支援」、精神障害者保健福祉手帳所有者は「⑧自立生活援助」、「⑱地域定着支援」の利用意向割合が最も高くなっています。また、療育手帳所有者においては「⑬共同生活援助（グループホーム）」、「⑭施設入所支援」、「⑩計画相談支援」、「⑲児童発達支援」「⑳放課後等デイサービス」、「㉑障害児相談支援」の利用意向が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、「②重度訪問介護」、「⑤重度障害者等包括支援」、「⑭施設入所支援」については、等級が重度になるほど利用意向割合が高い傾向がみられます。

身体障害者手帳所有者の部位別にみると、視覚障がいについては「同行援護」、肢体不自由（上肢）は、「⑥生活介護」、肢体不自由（下肢）は「居宅介護（ホームヘルプ）」、肢体不自由（体幹）は、「⑩計画相談支援」の利用意向割合が他を大きく上回っています。

<現在の利用状況>

単位:%

		サンプル数	① 居宅介護 (ホームヘルプ)	② 重度訪問介護	③ 同行支援	④ 行動支援	⑤ 重度障害者等 包括支援	⑥ 生活介護	⑦ 自立訓練 (機能訓練、 生活訓練)	⑧ 自立生活援助	⑨ 就労移行支援	⑩ 就労継続支援 (A型、B型)	⑪ 療養介護	⑫ 短期入所 (ショートステイ)	⑬ 共同生活援助 (グループホーム)
全体		657	6.7	1.5	2.0	1.2	1.2	6.5	7.2	2.7	2.1	6.1	2.3	2.6	1.7
所有手帳別	身体障害者手帳	446	7.0	1.8	2.7	0.7	1.6	5.6	6.1	2.2	0.9	2.7	2.9	2.5	0.9
	療育手帳	133	8.3	1.5	-	3.8	1.5	16.5	12.8	4.5	4.5	17.3	2.3	8.3	4.5
	精神障害者保健福祉手帳	143	8.4	1.4	2.1	1.4	0.7	1.4	7.0	4.9	5.6	10.5	2.1	-	2.1
	無回答	27	7.4	-	3.7	-	-	3.7	7.4	-	-	-	-	-	-
等級別	1級	140	10.7	4.3	5.7	-	2.9	9.3	7.9	2.1	0.7	1.4	5.0	4.3	2.1
	2級	105	10.5	1.9	2.9	1.9	1.0	8.6	9.5	4.8	1.9	6.7	4.8	2.9	1.0
	3級	64	1.6	-	-	-	-	-	1.6	1.6	1.6	4.7	-	1.6	-
	4級	94	2.1	-	1.1	1.1	2.1	3.2	5.3	1.1	-	-	1.1	1.1	-
	5級	22	9.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6級	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	23.3	3.3	30.0	-	-	10.0	6.7	3.3	-	3.3	-	-	3.3
	聴覚障がい	28	7.1	-	-	-	-	3.6	3.6	3.6	-	3.6	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	11.1	-	-	-	-	11.1	22.2	-	-	-	22.2	-	-
	肢体不自由(上肢)	50	10.0	4.0	-	-	4.0	14.0	8.0	-	-	4.0	4.0	2.0	-
	肢体不自由(下肢)	128	7.0	3.1	0.8	0.8	1.6	4.7	5.5	2.3	1.6	-	3.1	3.9	0.8
	肢体不自由(体幹)	30	10.0	3.3	-	3.3	3.3	13.3	6.7	3.3	-	-	10.0	6.7	-
	内部障がい(それ以外)	129	2.3	-	0.8	0.8	1.6	2.3	5.4	2.3	0.8	3.1	1.6	2.3	1.6
	無回答	42	2.4	-	2.4	-	-	-	4.8	2.4	2.4	9.5	-	-	-

単位:%

		サンプル数	⑭ 施設入所支援	⑮ 就労定着支援	⑯ 計画相談支援	⑰ 地域移行支援	⑱ 地域定着支援	⑲ 児童発達支援	⑳ 放課後等 デイサービス	㉑ 障害児相談支援	㉒ 居宅訪問型 児童発達 支援	㉓ 保育所等 訪問支援	㉔ 医療型 児童発達 支援	㉕ 福祉型 児童入所 支援	㉖ 医療型 児童入所 支援
全体		657	3.8	1.8	14.6	1.4	2.6	2.7	2.7	3.2	0.3	1.1	0.3	0.2	0.2
所有手帳別	身体障害者手帳	446	2.5	1.6	10.8	1.1	2.2	2.0	0.9	1.8	0.4	0.4	0.4	0.2	0.2
	療育手帳	133	9.8	3.0	34.6	4.5	3.8	8.3	10.5	10.5	-	4.5	0.8	-	-
	精神障害者保健福祉手帳	143	1.4	2.8	14.0	0.7	4.2	1.4	0.7	0.7	-	-	-	-	-
	無回答	27	3.7	3.7	3.7	-	-	-	3.7	3.7	-	-	-	-	-
等級別	1級	140	5.7	1.4	16.4	1.4	3.6	4.3	2.1	3.6	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7
	2級	105	1.9	1.9	14.3	1.0	1.9	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-
	3級	64	-	3.1	7.8	1.6	1.6	3.1	1.6	3.1	-	1.6	1.6	-	-
	4級	94	1.1	1.1	5.3	1.1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	5級	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	6級	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	-	3.3	26.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	聴覚障がい	28	-	3.6	10.7	3.6	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	-	22.2	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	50	6.0	2.0	12.0	2.0	4.0	6.0	-	4.0	2.0	2.0	2.0	-	-
	肢体不自由(下肢)	128	0.8	0.8	8.6	0.8	-	3.1	2.3	3.9	-	-	-	-	-
	肢体不自由(体幹)	30	16.7	-	26.7	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	内部障がい(それ以外)	129	1.6	1.6	5.4	1.6	2.3	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
	無回答	42	-	2.4	7.1	-	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-

<今後の利用意向>

単位:%

		サンプル数	① 居宅介護 (ホームヘルプ)	② 重度訪問介護	③ 同行援護	④ 行動援護	⑤ 重度障害者等 包括支援	⑥ 生活介護	⑦ 自立訓練 (機能訓練、 生活訓練)	⑧ 自立生活援助	⑨ 就労移行支援	⑩ 就労継続 支援(A型、 B型)	⑪ 療養介護	⑫ 短期入所 (ショート ステイ)	⑬ 共同生活 援助(ゲ ループホーム)
全体		657	18.1	13.7	11.1	14.9	12.9	19.9	22.7	23.0	15.4	16.9	15.4	19.8	16.0
所有 手帳 別	身体障害者手帳	446	19.5	16.1	13.5	10.1	13.0	19.5	18.4	18.4	11.4	11.7	14.1	17.9	11.9
	療育手帳	133	12.8	13.5	6.8	26.3	12.0	24.8	30.1	28.6	23.3	30.1	14.3	28.6	30.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	18.2	10.5	7.7	23.1	11.2	18.2	27.3	30.8	21.7	23.1	19.6	14.7	14.0
	無回答	27	11.1	7.4	14.8	7.4	14.8	22.2	33.3	33.3	14.8	7.4	22.2	29.6	18.5
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1級	140	23.6	25.7	19.3	12.1	19.3	25.7	20.7	20.0	10.0	10.0	20.0	25.0	15.7
	2級	105	17.1	14.3	15.2	11.4	14.3	21.0	21.0	24.8	15.2	17.1	15.2	17.1	14.3
	3級	64	15.6	10.9	7.8	7.8	7.8	12.5	15.6	14.1	12.5	14.1	6.3	12.5	7.8
	4級	94	21.3	11.7	7.4	7.4	9.6	16.0	16.0	12.8	8.5	6.4	10.6	16.0	7.4
	5級	22	18.2	9.1	18.2	13.6	4.5	18.2	18.2	22.7	18.2	18.2	18.2	13.6	13.6
	6級	21	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	9.5	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
障 が い 部 位 別	視覚障がい	30	26.7	10.0	53.3	10.0	13.3	20.0	13.3	20.0	13.3	13.3	16.7	20.0	16.7
	聴覚障がい	28	3.6	3.6	3.6	7.1	3.6	10.7	3.6	7.1	7.1	10.7	3.6	7.1	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	11.1	11.1	11.1	11.1	22.2	22.2	33.3	-	-	22.2	33.3	22.2
	肢体不自由(上肢)	50	16.0	20.0	12.0	10.0	14.0	28.0	18.0	16.0	6.0	10.0	16.0	22.0	14.0
	肢体不自由(下肢)	128	25.0	17.2	8.6	8.6	12.5	18.8	20.3	18.8	12.5	10.2	11.7	18.0	9.4
	肢体不自由(体幹)	30	20.0	23.3	13.3	13.3	16.7	23.3	13.3	20.0	13.3	13.3	23.3	23.3	10.0
	内部障がい(それ以外)	129	17.8	18.6	14.7	11.6	17.1	20.2	21.7	17.8	11.6	10.9	17.1	20.2	14.7
	無回答	42	16.7	9.5	4.8	9.5	4.8	11.9	19.0	23.8	16.7	21.4	7.1	4.8	7.1

単位:%

		サンプル数	⑭ 施設入所 支援	⑮ 就労定着 支援	⑯ 計画相談 支援	⑰ 地域移行 支援	⑱ 地域定着 支援	⑲ 児童発達 支援	⑳ 放課後等 デイサー ビス	㉑ 障害児 相談支援	㉒ 居宅訪問 型児童発 達支援	㉓ 保育所等 訪問支援	㉔ 医療型 児童発達 支援	㉕ 福祉型 児童入所 支援	㉖ 医療型 児童入所 支援
全体		657	14.9	13.7	24.7	16.9	23.0	8.7	5.8	7.0	3.2	3.3	4.9	4.0	4.1
所有 手帳 別	身体障害者手帳	446	12.6	9.2	18.4	14.1	18.2	6.1	3.4	4.3	2.9	2.5	3.8	2.9	2.9
	療育手帳	133	28.6	22.6	43.6	25.6	33.1	18.8	18.0	19.5	5.3	7.5	10.5	8.3	9.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	10.5	21.7	28.7	19.6	30.8	8.4	2.1	6.3	2.1	1.4	4.9	3.5	4.2
	無回答	27	14.8	11.1	22.2	22.2	18.5	7.4	11.1	7.4	3.7	3.7	3.7	3.7	3.7
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1級	140	20.0	5.7	24.3	17.1	21.4	7.1	4.3	5.0	2.9	2.1	4.3	2.1	2.1
	2級	105	13.3	15.2	22.9	15.2	22.9	6.7	3.8	5.7	3.8	2.9	4.8	4.8	4.8
	3級	64	9.4	12.5	14.1	15.6	14.1	7.8	6.3	7.8	6.3	6.3	7.8	6.3	6.3
	4級	94	6.4	5.3	9.6	7.4	12.8	3.2	-	-	-	-	-	-	-
	5級	22	4.5	13.6	18.2	18.2	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
	6級	21	4.8	4.8	9.5	9.5	9.5	-	-	-	-	-	-	-	-
障 が い 部 位 別	視覚障がい	30	16.7	13.3	26.7	20.0	26.7	3.3	-	-	-	-	-	-	-
	聴覚障がい	28	7.1	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6	3.6
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	11.1	-	33.3	22.2	44.4	-	-	11.1	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	50	22.0	6.0	22.0	14.0	18.0	8.0	6.0	8.0	4.0	4.0	6.0	4.0	4.0
	肢体不自由(下肢)	128	10.2	7.0	17.2	11.7	16.4	6.3	4.7	5.5	3.1	2.3	4.7	2.3	2.3
	肢体不自由(体幹)	30	13.3	13.3	30.0	10.0	16.7	3.3	3.3	3.3	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7
	内部障がい(それ以外)	129	14.0	9.3	16.3	17.1	17.8	7.8	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	3.1
	無回答	42	4.8	19.0	14.3	16.7	23.8	4.8	2.4	4.8	2.4	-	4.8	4.8	2.4

8. 相談などについて

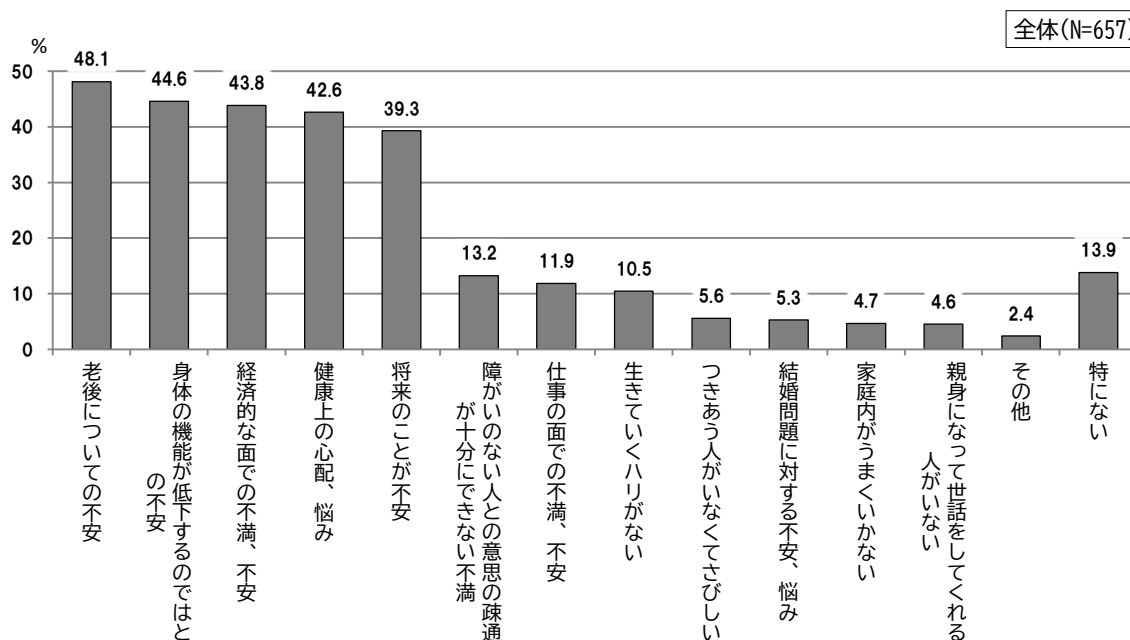
(1) 生活上の不満、心配ごと、悩みなど

問 48 あなたは、現在の生活の中で、不満なことや心配なこと、悩んでいることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

生活上の不満、心配ごと、悩みなどについて尋ねたところ、「老後についての不安」(48.1%)、「身体の機能が低下するのではとの不安」(44.6%)、「経済的な面での不満、不安」(43.8%)、「健康上の心配、悩み」(42.6%)、「将来のことが不安」(39.3%)の5項目が他を大きく上回っています。

なお、「特にない」(13.9%)と回答した人は1割強にとどまっています。

<生活上の不満、心配ごと、悩みなど>



手帳種類別にみると、身体障害者手帳所有者は「身体の機能が低下するのではとの不安」(51.8%)、療育手帳所有者は「将来のことが心配」(53.4%)、精神障害者保健福祉手帳所有者は「経済的な面での不満、不安」(60.8%)がそれぞれ最も多くなっています。

身体障害者手帳の等級別にみると、すべての等級で「身体の機能が低下するのではとの不安」が、最も多くなっています。

障がい部位別にみると、いずれも全体の上位3項目が多い傾向がみられます。

<生活上の不満、心配ごと、悩みなど>

単位:%

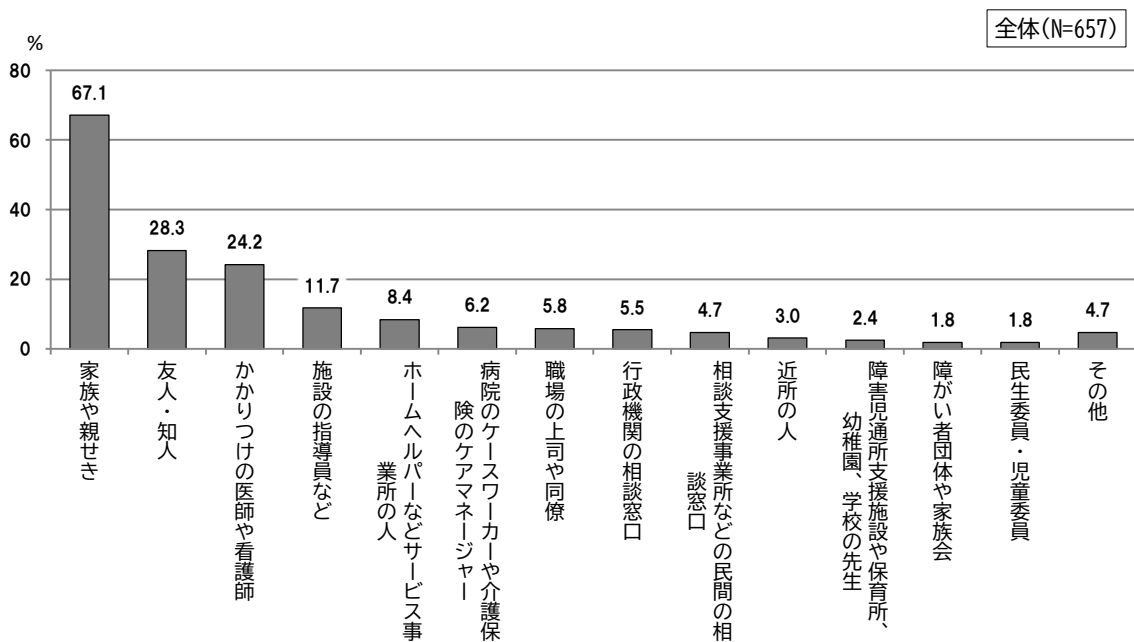
		サンプル数	身体の機能が低下する	健康上の心配、悩み	経済的な面での不満、不安	老後についての不安	将来のことが不安	生きていくハリがない	障害の疎通が難しい	仕事の面での不満、不安	家庭内がうまくいかない	親身になれる人が少ない	つきあう人がいない	結婚問題に対する悩み	その他	特にない
全体		657	44.6	42.6	43.8	48.1	39.3	10.5	13.2	11.9	4.7	4.6	5.6	5.3	2.4	13.9
所有手帳別	身体障害者手帳	446	51.8	43.3	40.4	46.4	33.9	7.8	9.2	8.1	3.4	4.3	3.6	2.5	1.8	14.8
	療育手帳	133	25.6	30.8	36.8	45.9	53.4	4.5	27.1	16.5	6.8	3.8	6.8	7.5	3.0	12.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	36.4	47.6	60.8	54.5	50.3	23.8	16.1	17.5	6.3	7.0	14.0	11.9	3.5	7.0
	無回答	27	37.0	48.1	51.9	55.6	37.0	11.1	7.4	18.5	7.4	3.7	3.7	3.7	-	22.2
身体障害者手帳等級別	1級	140	56.4	45.0	42.1	45.7	36.4	3.6	10.7	4.3	0.7	3.6	2.1	2.9	2.1	11.4
	2級	105	49.5	44.8	39.0	48.6	40.0	10.5	11.4	9.5	4.8	6.7	6.7	3.8	-	7.6
	3級	64	48.4	43.8	48.4	46.9	32.8	14.1	12.5	9.4	6.3	1.6	3.1	1.6	1.6	15.6
	4級	94	46.8	38.3	35.1	44.7	25.5	6.4	4.3	6.4	2.1	6.4	3.2	2.1	2.1	22.3
	5級	22	54.5	45.5	36.4	54.5	27.3	18.2	9.1	18.2	9.1	-	-	-	4.5	18.2
	6級	21	61.9	42.9	38.1	38.1	33.3	-	-	19.0	4.8	-	4.8	-	4.8	33.3
障がい部位別	視覚障がい	30	63.3	53.3	36.7	73.3	40.0	3.3	10.0	10.0	-	3.3	-	-	3.3	6.7
	聴覚障がい	28	32.1	32.1	39.3	28.6	28.6	7.1	10.7	7.1	3.6	3.6	-	-	-	25.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	44.4	11.1	33.3	22.2	22.2	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	33.3
	肢体不自由(上肢)	50	54.0	52.0	46.0	48.0	46.0	4.0	8.0	10.0	2.0	-	-	4.0	6.0	16.0
	肢体不自由(下肢)	128	62.5	46.9	43.0	42.2	35.9	8.6	9.4	9.4	4.7	3.9	3.1	2.3	3.1	14.8
	肢体不自由(体幹)	30	60.0	36.7	40.0	56.7	40.0	10.0	16.7	6.7	6.7	10.0	10.0	-	-	6.7
	内部障がい(それ以外)	129	47.3	40.3	40.3	48.1	29.5	7.0	6.2	5.4	0.8	3.9	3.9	3.1	-	14.7
	無回答	42	35.7	35.7	35.7	40.5	23.8	11.9	11.9	9.5	9.5	7.1	9.5	4.8	-	14.3

(2) 相談相手

問 49 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談相手について尋ねたところ、「家族や親せき」(67.1%)が6割半ばを占め圧倒的に多く、次いで「友人・知人」(28.3%)、「かかりつけの医師や看護師」(24.2%)となっています。なお、「行政機関の相談窓口」(5.5%)は1割以下にとどまっています。

<相談相手>



所有手帳別にみると、いずれも「家族や親せき」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「施設の指導員など」が、精神障害者保健福祉手帳所有者は「かかりつけの医師や看護師」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別および障がい部位別にみても、いずれも「家族や親せき」が最も多くなっています。また、肢体不自由（下肢）で「職場の上司や同僚」が他を上回っています。

<相談相手>

単位:%

		サンプル数	家族や親せき	友人・知人	近所の人	職場の上司や同僚	施設の指導員など	ホームヘルス事業所の人	障がい者団体や家族会	かかりつけの医師や看護師	病院のケアマネジャー	民生委員・児童委員	保育所、幼稚園、学校の先生	障害児通所支援施設や民間の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他
全体		657	67.1	28.3	3.0	5.8	11.7	8.4	1.8	24.2	6.2	1.8	2.4	4.7	5.5	4.7
所有手帳別	身体障害者手帳	446	68.8	32.3	3.8	4.7	7.2	7.8	2.0	22.2	7.2	1.8	1.1	2.9	5.2	3.8
	療育手帳	133	66.2	9.0	2.3	5.3	30.1	12.0	3.0	18.8	3.0	3.0	9.0	11.3	9.0	7.5
	精神障害者保健福祉手帳	143	62.9	24.5	1.4	7.0	11.9	8.4	2.1	40.6	7.0	1.4	1.4	5.6	6.3	7.0
	無回答	27	55.6	40.7	3.7	11.1	11.1	-	-	11.1	3.7	-	-	-	7.4	-
身体障害者手帳等級別	1級	140	72.9	28.6	2.9	4.3	12.1	11.4	3.6	29.3	11.4	1.4	1.4	4.3	7.9	2.9
	2級	105	60.0	28.6	3.8	1.9	8.6	9.5	1.9	21.0	6.7	1.9	-	1.9	5.7	3.8
	3級	64	67.2	40.6	1.6	4.7	4.7	4.7	-	10.9	7.8	4.7	3.1	4.7	3.1	9.4
	4級	94	72.3	33.0	6.4	6.4	2.1	5.3	2.1	20.2	3.2	1.1	1.1	2.1	4.3	2.1
	5級	22	81.8	27.3	9.1	4.5	4.5	-	-	22.7	4.5	-	-	-	-	-
	6級	21	61.9	52.4	-	14.3	-	4.8	-	23.8	-	-	-	-	-	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	80.0	36.7	-	3.3	10.0	16.7	3.3	16.7	10.0	-	-	10.0	13.3	-
	聴覚障がい	28	53.6	35.7	-	3.6	3.6	-	-	7.1	-	3.6	-	-	-	7.1
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	66.7	22.2	-	-	22.2	11.1	-	33.3	22.2	-	-	-	11.1	33.3
	肢体不自由（上肢）	50	70.0	40.0	2.0	2.0	10.0	12.0	2.0	22.0	8.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0
	肢体不自由（下肢）	128	72.7	38.3	5.5	10.2	7.0	8.6	2.3	22.7	9.4	0.8	1.6	2.3	2.3	3.1
	肢体不自由（体幹）	30	60.0	26.7	6.7	-	10.0	16.7	6.7	33.3	6.7	3.3	3.3	3.3	3.3	-
	内部障がい（それ以外）	129	72.9	27.1	3.1	2.3	4.7	3.9	0.8	20.9	5.4	0.8	-	2.3	5.4	3.9
	無回答	42	52.4	21.4	7.1	4.8	7.1	4.8	2.4	28.6	4.8	4.8	-	2.4	11.9	4.8

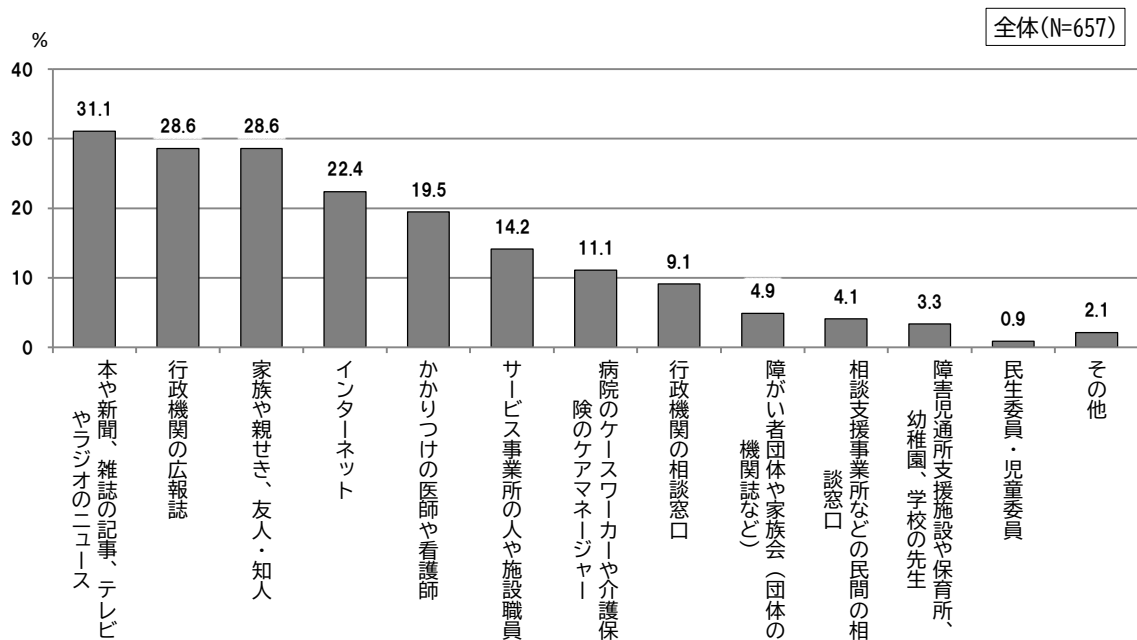
(3) 障がいや福祉サービスに関する情報の入手先

問 50 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

障がいや福祉サービスに関する情報の入手先について尋ねたところ、「本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース」(31.1%)が最も多く、次いで「行政機関の広報誌」、「家族や親せき、友人・知人」(28.6%)となっています。

なお、相談先の割合と同様に、「行政機関の相談窓口」は1割以下にとどまっています。

<障がいや福祉サービスに関する情報の入手先>



所有手帳別にみると、いずれも上位3項目は全体と同様に高い割合となっていますが、精神障害者保健福祉手帳所有者は「かかりつけの医師や看護師」が最も多くなっています。

身体障害者手帳の等級別および障がい部位別にみても、全体傾向とほぼ同様となっています。また、肢体不自由（体幹）においては「サービス事業所の人や施設職員」が他を上回っています。

<障がいや福祉サービスに関する情報の入手先>

単位：%

	サンプル数	事、本や新聞、雑誌の記者、テレビやラジオの司会者	行政機関の広報誌	インターネット	家族や親せき、友人・知人	サービス事業所の施設職員	障がいの団体や家族会（団体の機関誌など）	かかりつけの医師や看護師	病院のケアマネジャー	民生委員・児童委員	障害児通所支援施設や幼稚園、学校の先生	相談支援事業所の相談窓口	行政機関の相談窓口	その他	
全体	657	31.1	28.6	22.4	28.6	14.2	4.9	19.5	11.1	0.9	3.3	4.1	9.1	2.1	
所有手帳別	身体障害者手帳	446	32.3	32.5	22.0	26.0	9.9	4.5	19.1	12.8	0.9	1.8	3.4	8.5	1.3
	療育手帳	133	23.3	20.3	16.5	37.6	35.3	9.0	12.0	6.8	1.5	12.0	9.8	9.8	5.3
	精神障害者保健福祉手帳	143	23.1	14.7	26.6	24.5	14.7	2.1	29.4	11.2	0.7	1.4	6.3	13.3	3.5
	無回答	27	44.4	40.7	11.1	29.6	7.4	7.4	11.1	3.7	-	3.7	-	-	-
身体障害者手帳等級別	1級	140	34.3	31.4	17.1	27.1	15.0	8.6	25.7	17.9	-	2.1	3.6	7.1	2.1
	2級	105	30.5	28.6	21.9	27.6	12.4	5.7	17.1	12.4	1.0	1.0	4.8	8.6	1.0
	3級	64	35.9	29.7	31.3	26.6	7.8	1.6	10.9	7.8	1.6	6.3	3.1	7.8	1.6
	4級	94	29.8	38.3	17.0	24.5	5.3	1.1	18.1	9.6	2.1	-	3.2	12.8	1.1
	5級	22	22.7	27.3	36.4	13.6	-	-	18.2	18.2	-	-	-	9.1	-
	6級	21	38.1	47.6	33.3	28.6	-	-	14.3	4.8	-	-	-	-	-
障がい部位別	視覚障がい	30	36.7	33.3	16.7	40.0	10.0	30.0	16.7	16.7	-	-	3.3	16.7	-
	聴覚障がい	28	32.1	32.1	14.3	28.6	3.6	-	7.1	-	3.6	-	-	3.6	3.6
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	11.1	11.1	33.3	11.1	-	44.4	33.3	-	-	-	11.1	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	30.0	30.0	42.0	30.0	16.0	-	22.0	12.0	2.0	4.0	8.0	8.0	2.0
	肢体不自由（下肢）	128	36.7	38.3	26.6	28.1	7.8	3.9	15.6	19.5	0.8	3.9	1.6	7.8	0.8
	肢体不自由（体幹）	30	20.0	23.3	20.0	33.3	33.3	3.3	20.0	23.3	-	-	-	-	-
	内部障がい（それ以外）	129	34.9	34.9	17.8	22.5	5.4	3.9	20.2	8.5	-	-	3.9	8.5	0.8
	無回答	42	21.4	21.4	9.5	7.1	9.5	-	26.2	-	2.4	2.4	7.1	14.3	-

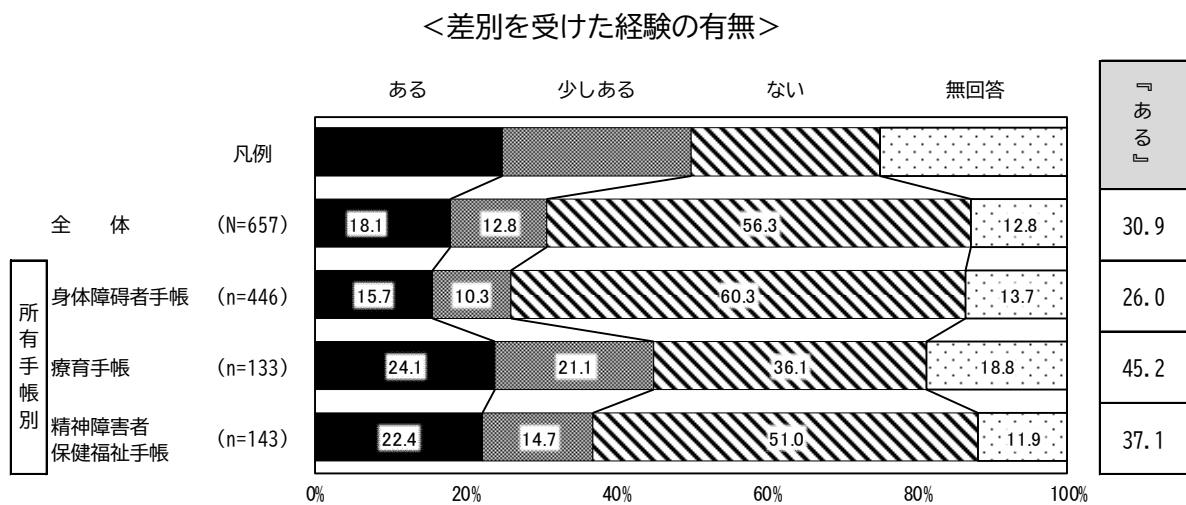
9. 権利擁護について

(1) 差別を受けた経験の有無

問 51 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。
 (○は1つだけ)

差別を受けた経験があるかどうか尋ねたところ、「ある」(18.1%)と「少しある」(12.8%)を合わせた30.9%が『ある』と回答しています。

所有手帳別にみると、『ある』は療育手帳所有者(45.2%)が最も多く、次いで、精神障害者保健福祉手帳所有者(37.1%)、身体障害者手帳所有者(26.0%)となっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、2級で『ある』と回答した人が3割を超え高くなっています。

障がい部位別にみると、内部障がいは『ある』と回答した人が、他を下回っています。

<差別を受けた経験の有無>

単位:%

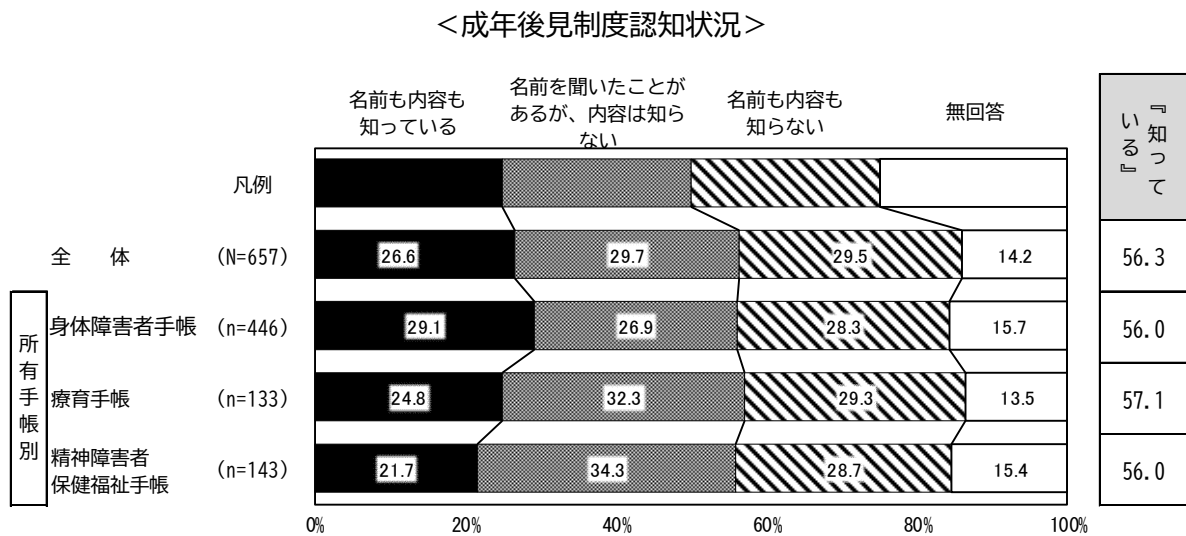
		サンプル数	ある	少しある	ない	無回答	『ある』
全 体		657	18.1	12.8	56.3	12.8	30.9
身体 等 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	140	15.0	6.4	61.4	17.1	21.4
	2 級	105	20.0	16.2	49.5	14.3	36.2
	3 級	64	15.6	12.5	62.5	9.4	28.1
	4 級	94	10.6	9.6	68.1	11.7	20.2
	5 級	22	18.2	4.5	63.6	13.6	22.7
	6 級	21	19.0	9.5	61.9	9.5	28.5
障 が い 部 位 別	視覚障がい	30	26.7	16.7	46.7	10.0	43.4
	聴覚障がい	28	35.7	14.3	35.7	14.3	50.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	-	66.7	11.1	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	22.0	8.0	60.0	10.0	30.0
	肢体不自由（下肢）	128	17.2	10.9	58.6	13.3	28.1
	肢体不自由（体幹）	30	16.7	20.0	53.3	10.0	36.7
	内部障がい（それ以外）	129	6.2	8.5	73.6	11.6	14.7
	無回答	42	9.5	4.8	54.8	31.0	14.3

(2) 成年後見制度認知状況

問 53 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

成年後見制度の認知について尋ねたところ、「名前を聞いたことがあるが、内容を知らない」(29.7%)が最も多く、「名前も内容も知っている」(26.6%)も含めた『知っている』(56.3%)は半数以上を占めています。

所有手帳別にみると、『知っている』の割合はいずれも5割半ばとなっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、『知っている』の割合が最も高いのは5級（68.2%）、最も低いのは3級（48.4%）となっています。

障がい部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能障がいは『知っている』と回答した人が22.2%と、他を大きく下回っています。

<成年後見制度認知状況>

単位：%

		サンプル数	名前も内容も知っている	名前を聞いたことがない	名前も内容も知らない	無回答	『知っている』
全体		657	26.6	29.7	29.5	14.2	56.3
身体障害者手帳等級別	1級	140	31.4	30.0	23.6	15.0	61.4
	2級	105	27.6	25.7	26.7	20.0	53.3
	3級	64	25.0	23.4	39.1	12.5	48.4
	4級	94	27.7	25.5	28.7	18.1	53.2
	5級	22	27.3	40.9	27.3	4.5	68.2
	6級	21	42.9	14.3	33.3	9.5	57.2
障がい部位別	視覚障がい	30	40.0	46.7	13.3	-	86.7
	聴覚障がい	28	25.0	17.9	42.9	14.3	42.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	11.1	11.1	55.6	22.2	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	28.0	30.0	32.0	10.0	58.0
	肢体不自由（下肢）	128	34.4	25.8	25.0	14.8	60.2
	肢体不自由（体幹）	30	26.7	36.7	26.7	10.0	63.4
	内部障がい（それ以外）	129	28.7	26.4	26.4	18.6	55.1
	無回答	42	16.7	16.7	35.7	31.0	33.4

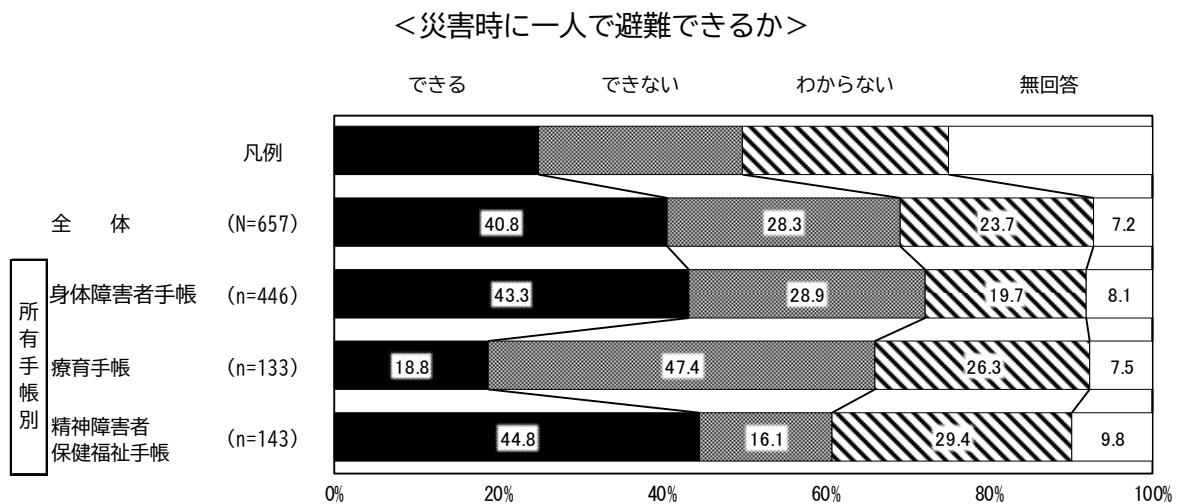
10. 災害時の避難等について

(1) 災害時に一人で避難できるか

問 54 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

災害時に一人で避難できるか尋ねたところ、「できる」(40.8%)が「できない」(28.3%)を上回っています。

所有手帳別にみると、「できない」と回答した人は、療育手帳所有者(47.4%)が最も多く、次いで、身体障害者手帳所有者(28.9%)、精神保健福祉手帳所有者(16.1%)となっています。なお、療育手帳所有者のみ「できない」(47.4%)が「できる」(18.8%)を上回っています。



身体障害者手帳の等級別にみると、等級が重度になるほど「できない」と回答した人の割合が高い傾向がみられます。また、1～2級の重度では「できない」が「できる」を上回り、3～6級の中度・軽度では「できる」が「できない」を上回っています。

障がい部位別にみると、聴覚障がい、肢体不自由（上肢）・（下肢）、内部障がいは「できる」が「できない」を上回り、視覚障がい、音声・言語・そしゃく障がい、肢体不自由（体幹）は「できない」が「できる」を上回っています。

<災害時に一人で避難できるか>

単位:%

		サンプル数	できる	できない	わからない	無回答
全体		657	40.8	28.3	23.7	7.2
身体障害者手帳等級別	1級	140	37.1	41.4	12.9	8.6
	2級	105	32.4	35.2	19.0	13.3
	3級	64	39.1	21.9	34.4	4.7
	4級	94	56.4	16.0	22.3	5.3
	5級	22	68.2	13.6	13.6	4.5
	6級	21	66.7	9.5	19.0	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	13.3	56.7	26.7	3.3
	聴覚障がい	28	50.0	14.3	25.0	10.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	22.2	55.6	11.1	11.1
	肢体不自由（上肢）	50	46.0	32.0	20.0	2.0
	肢体不自由（下肢）	128	36.7	34.4	23.4	5.5
	肢体不自由（体幹）	30	13.3	60.0	23.3	3.3
	内部障がい（それ以外）	129	62.8	17.8	11.6	7.8
無回答	42	42.9	4.8	23.8	28.6	

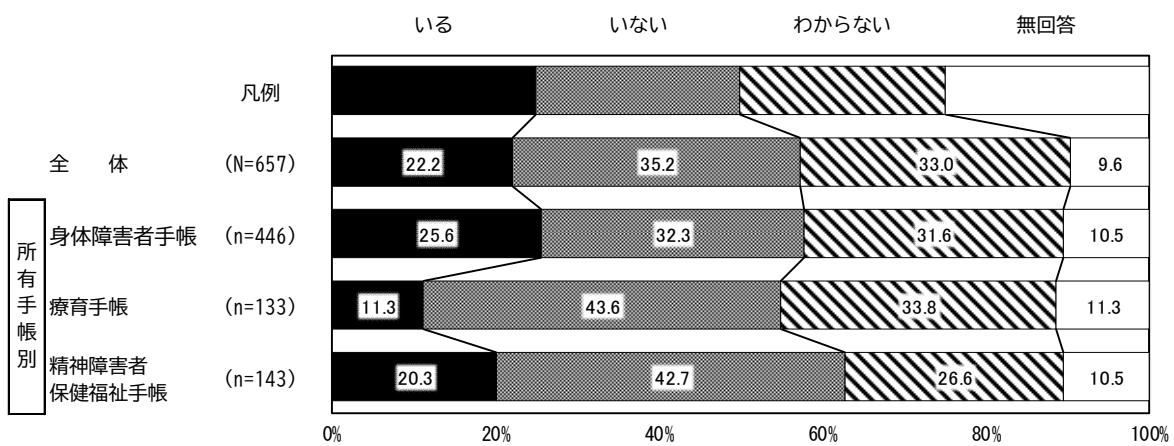
(2) 家族不在や一人暮らしの場合、近所で助けてくれる人の有無

問 55 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。
(○は1つだけ)

家族不在や一人暮らしの場合、近所で助けてくれる人の有無を尋ねたところ、「いない」(35.2%)が「いる」(22.2%)を上回っています。

所有手帳別にみると、「いる」の割合は身体障害者手帳所有者(25.6%)、精神障害者保健福祉手帳所有者(20.3%)、療育手帳所有者(11.3%)で、いずれも「いない」が「いる」を上回っています。

<家族不在や一人暮らしの場合、近所で助けてくれる人の有無>



身体障害者手帳の等級別にみると、1～3級は「いない」が「いる」を上回り、4～6級は「いる」が「いない」を上回っています。

障がい部位別にみると、肢体不自由（体幹）で「いる」と「いない」が同数、聴覚障がいでは「いる」が「いない」を上回っています。

<家族不在や一人暮らしの場合、近所で助けてくれる人の有無>

単位：%

		サンプル数	いる	いない	わからない	無回答
全体		657	22.2	35.2	33.0	9.6
身体障害者手帳等級別	1級	140	20.7	37.1	31.4	10.7
	2級	105	24.8	39.0	21.9	14.3
	3級	64	25.0	28.1	35.9	10.9
	4級	94	31.9	27.7	31.9	8.5
	5級	22	27.3	13.6	54.5	4.5
	6級	21	33.3	19.0	42.9	4.8
障がい部位別	視覚障がい	30	23.3	60.0	16.7	-
	聴覚障がい	28	25.0	14.3	50.0	10.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	44.4	33.3	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	30.0	30.0	32.0	8.0
	肢体不自由（下肢）	128	28.1	28.9	32.8	10.2
	肢体不自由（体幹）	30	23.3	33.3	36.7	6.7
	内部障がい（それ以外）	129	24.8	34.1	31.8	9.3
	無回答	42	23.8	28.6	21.4	26.2

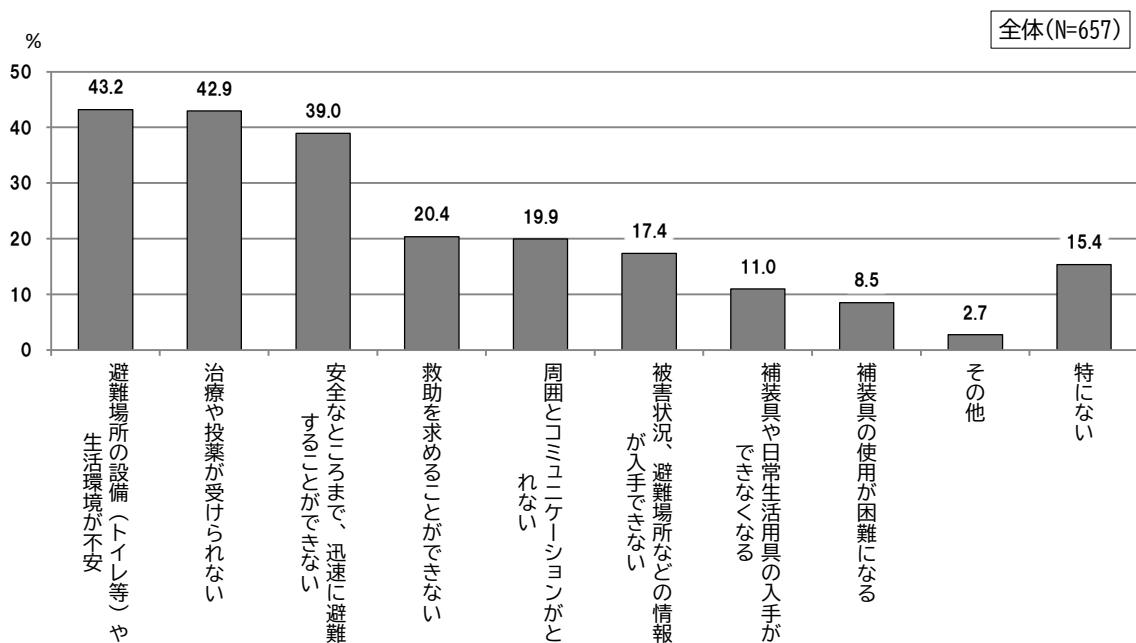
(3) 災害時に困ること

問 56 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

災害時に困ることを尋ねたところ、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」（43.2%）、「治療や投薬が受けられない」（42.9%）、「安全なところまで、迅速に避難することができない」（39.0%）の3項目が多くなっています。

なお、「特にない」（15.4%）は1割強にとどまっています。

<災害時に困ること>



所有手帳別にみると、いずれも全体の上位3項目が多い傾向がみられます。また、療育手帳所有者は「救助を求めることができない」、「周囲とコミュニケーションがとれない」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別および障がい部位別にみても、いずれも全体の上位3項目が多い傾向がみられます。

また、視覚障がいでは「安全なところまで、迅速に避難することができない」が他を上回っています。

<災害時に困ること>

単位:%

		サンプル数	治療や投薬が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具が日常生活用具	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所など	周囲とのコミュニケーション	避難場所の設備が不	その他	特にな
全体		657	42.9	8.5	11.0	20.4	39.0	17.4	19.9	43.2	2.7	15.4
所有手帳別	身体障害者手帳	446	42.6	11.7	13.0	16.4	40.8	13.5	13.0	43.0	2.5	16.8
	療育手帳	133	33.8	5.3	11.3	45.9	48.9	33.8	40.6	42.1	4.5	9.0
	精神障害者保健福祉手帳	143	49.0	2.1	9.8	11.2	23.8	17.5	22.4	45.5	3.5	11.9
	無回答	27	37.0	7.4	11.1	18.5	37.0	7.4	14.8	48.1	-	29.6
身体障害者等級別	1級	140	53.6	11.4	15.0	25.7	48.6	17.9	17.1	45.0	2.9	10.0
	2級	105	36.2	13.3	14.3	19.0	43.8	18.1	18.1	47.6	1.9	16.2
	3級	64	40.6	7.8	7.8	14.1	37.5	4.7	9.4	39.1	3.1	17.2
	4級	94	37.2	12.8	12.8	5.3	35.1	10.6	7.4	45.7	1.1	20.2
	5級	22	45.5	18.2	18.2	4.5	31.8	9.1	4.5	40.9	-	31.8
	6級	21	28.6	4.8	4.8	9.5	19.0	4.8	4.8	9.5	9.5	33.3
障がい部位別	視覚障がい	30	46.7	20.0	13.3	36.7	83.3	43.3	23.3	60.0	-	10.0
	聴覚障がい	28	32.1	17.9	14.3	21.4	17.9	21.4	32.1	21.4	10.7	21.4
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	44.4	22.2	11.1	33.3	33.3	22.2	44.4	44.4	-	33.3
	肢体不自由（上肢）	50	32.0	4.0	14.0	14.0	48.0	8.0	10.0	36.0	4.0	32.0
	肢体不自由（下肢）	128	44.5	18.0	17.2	17.2	55.5	8.6	10.9	50.0	2.3	14.1
	肢体不自由（体幹）	30	40.0	6.7	16.7	43.3	63.3	20.0	20.0	63.3	-	10.0
	内部障がい（それ以外）	129	51.2	7.8	7.8	6.2	24.0	9.3	5.4	38.8	1.6	15.5
無回答	42	28.6	4.8	11.9	7.1	9.5	14.3	14.3	31.0	2.4	14.3	

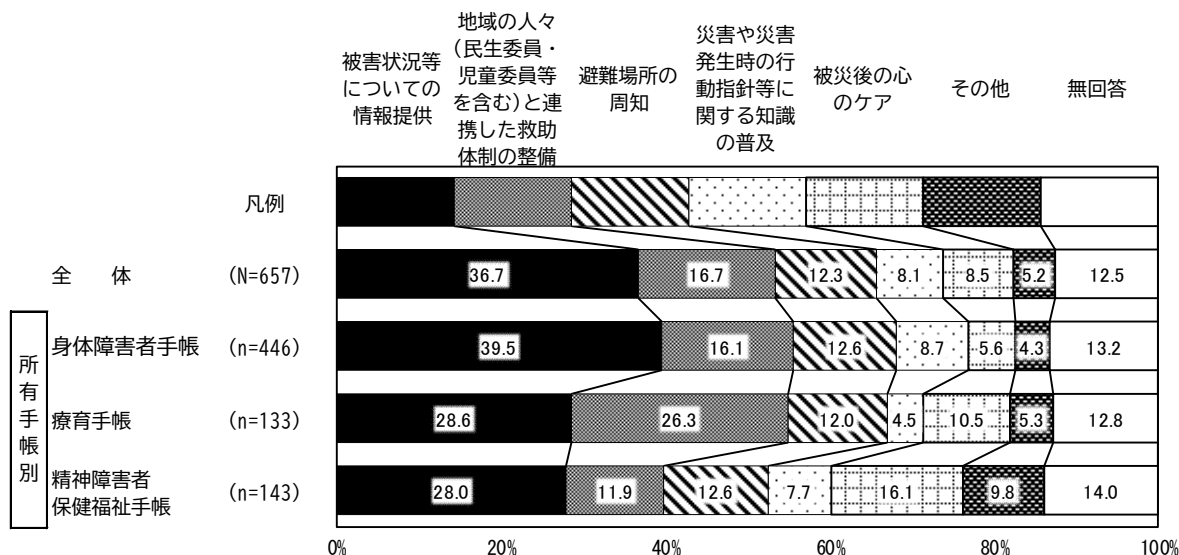
(4) 災害発生時に（発生時に備えて）行政に力を入れてほしいこと

問 57 今後、災害が発生した際に（または発生時に備えて）行政（国・県・市など）に特に力を入れてほしいことは何ですか。（○は1つだけ）

災害発生時（発生時に備えて）に行政（国・県・市など）に力を入れてほしいことを尋ねたところ、「被害状況等についての情報提供」（36.7%）が最も多く、次いで「地域の人々（民生委員・児童委員含）と連携した救助体制の整備」（16.7%）、「避難場所の周知」（12.3%）となっています。

所有手帳別にみると、概ね全体の傾向と同様ですが、精神障害者保健福祉手帳所有者は「被災後の心のケア」（16.1%）が他をやや上回っています。

<災害発生時に（発生時に備えて）行政に力を入れてほしいこと>



身体障害者手帳の等級別にみると、いずれも「被害状況等についての情報提供」が最も多くなっています。

障がい部位別にみると、概ね全体傾向と同様になっていますが、聴覚障がいおよび肢体不自由（体幹）で「災害や災害発生時の行動指針等に関する知識の普及」が他を上回っています。

<災害発生時に（発生時に備えて）行政に力を入れてほしいこと>

単位：%

		サンプル数	被害状況等に関する情報提供	む員と連携し制したの整備	地域の児童委員等を含む	避難場所の周知	動災害指針等に発する時の普及	被災後の心のケア	その他	無回答
全体		657	36.7	16.7	12.3	8.1	8.5	5.2	12.5	
身体障害者手帳等級別	1級	140	36.4	22.9	9.3	7.1	5.7	5.0	13.6	
	2級	105	34.3	14.3	7.6	10.5	6.7	6.7	20.0	
	3級	64	37.5	14.1	21.9	10.9	3.1	1.6	10.9	
	4級	94	44.7	12.8	17.0	9.6	3.2	3.2	9.6	
	5級	22	59.1	-	18.2	4.5	13.6	-	4.5	
	6級	21	47.6	19.0	4.8	4.8	9.5	4.8	9.5	
障がい部位別	視覚障がい	30	26.7	30.0	13.3	10.0	10.0	6.7	3.3	
	聴覚障がい	28	42.9	14.3	10.7	14.3	3.6	-	14.3	
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	
	肢体不自由（上肢）	50	48.0	10.0	8.0	8.0	8.0	8.0	10.0	
	肢体不自由（下肢）	128	44.5	22.7	12.5	4.7	3.9	3.9	7.8	
	肢体不自由（体幹）	30	33.3	16.7	13.3	16.7	3.3	3.3	13.3	
	内部障がい（それ以外）	129	41.1	12.4	15.5	10.1	5.4	3.1	12.4	
無回答	42	21.4	9.5	4.8	9.5	9.5	7.1	38.1		

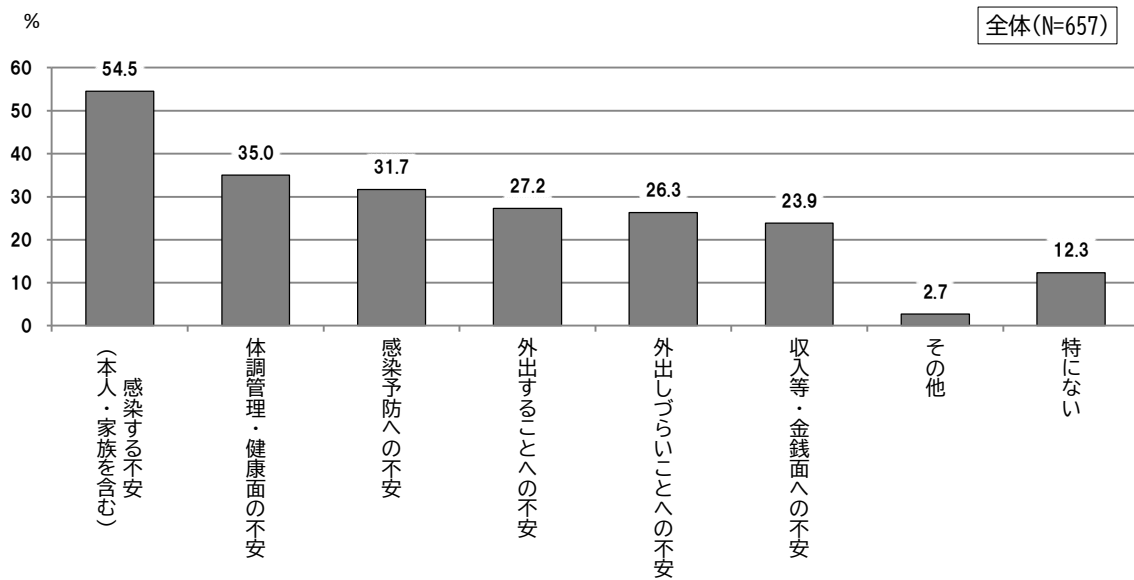
11. コロナ禍における暮らしについて

(1) コロナ禍での不安

問 58 コロナ禍で不安に感じていることは、どのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

コロナ禍での不安について尋ねたところ、「感染する不安（本人・家族を含む）」（54.5%）が最も多く、「体調管理・健康面の不安」（35.0%）、「感染予防への不安」（31.7%）、「外出することへの不安」（27.2%）、「外出しづらいことへの不安」（26.3%）、「収入等・金銭面への不安」（23.9%）の順となっています。

<コロナ禍での不安>



所有手帳別にみると、概ね全体傾向と同様になっていますが、療育手帳所有者では「外出することへの不安」、精神障害者保健福祉手帳所有者では「収入等・金銭面への不安」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、全体の上位3項目が多い傾向がみられます。また、等級が軽度になるほど「特にない」と回答した割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみると、概ね全体傾向と同様になっていますが、肢体不自由（体幹）で「その他」、「特にない」以外が他を上回っています。

<コロナ禍での不安>

単位：%

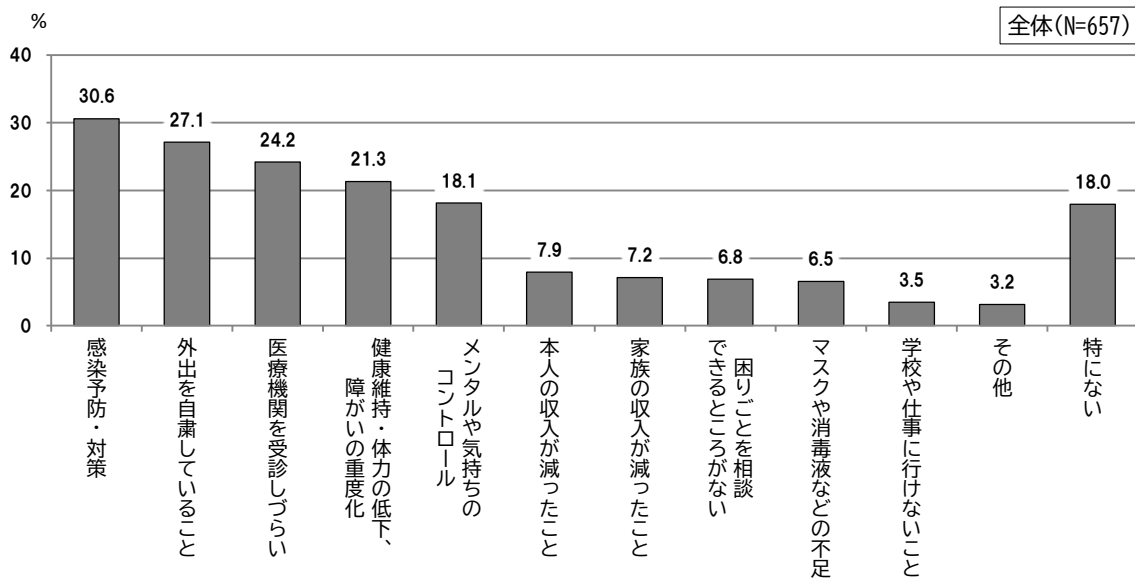
		サンプル数	感染予防への不安	感染する不安（本人・家族を含む）	体調管理・健康面の不安	収入等・金銭面への不安	外出しづらいことへの不安	外出することへの不安	その他	特にない
全体		657	31.7	54.5	35.0	23.9	26.3	27.2	2.7	12.3
所有手帳別	身体障害者手帳	446	32.5	52.9	35.2	21.1	23.5	27.8	2.5	13.9
	療育手帳	133	35.3	57.9	34.6	26.3	35.3	23.3	4.5	6.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	27.3	45.5	32.9	32.2	25.9	27.3	4.9	11.2
	無回答	27	18.5	51.9	29.6	25.9	11.1	25.9	-	7.4
身体障害者等級別	1級	140	32.9	56.4	40.0	20.0	23.6	30.7	4.3	7.1
	2級	105	35.2	44.8	37.1	26.7	24.8	31.4	2.9	13.3
	3級	64	39.1	50.0	28.1	20.3	26.6	28.1	3.1	14.1
	4級	94	25.5	56.4	29.8	18.1	25.5	20.2	-	19.1
	5級	22	31.8	63.6	45.5	27.3	18.2	36.4	-	22.7
	6級	21	28.6	52.4	28.6	9.5	4.8	14.3	-	28.6
障がい部位別	視覚障がい	30	20.0	56.7	23.3	23.3	26.7	33.3	6.7	13.3
	聴覚障がい	28	39.3	50.0	35.7	25.0	21.4	17.9	3.6	14.3
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	44.4	55.6	11.1	-	33.3	-	-
	肢体不自由（上肢）	50	34.0	48.0	38.0	12.0	24.0	30.0	4.0	22.0
	肢体不自由（下肢）	128	30.5	55.5	32.0	18.8	27.3	22.7	1.6	18.8
	肢体不自由（体幹）	30	43.3	63.3	50.0	30.0	26.7	46.7	-	3.3
	内部障がい（それ以外）	129	34.9	56.6	38.0	23.3	22.5	28.7	1.6	11.6
	無回答	42	26.2	33.3	26.2	23.8	16.7	26.2	4.8	7.1

(2) コロナ禍で困っていること

問59 コロナ禍で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

コロナ禍で困っていることについて尋ねたところ、「感染予防・対策」(30.6%)が最も多く、「外出を自粛していること」(27.1%)、「医療機関を受診しづらい」(24.2%)、「健康維持・体力の低下、障がいの重度化」(21.3%)、「メンタルや気持ちのコントロール」(18.1%)の順となっています。

<コロナ禍で困っていること>



所有手帳別にみると、身体障害者手帳所有者では「康維持・体力の低下、障がいの重度化」、療育手帳所有者では「感染予防・対策」、精神障害者保健福祉手帳所有者では「メンタルや気持ちのコントロール」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、概ね全体いずれも上位3項目は全体と同様に高い割合となっています。

障がい部位別にみると、視覚障がいでは「健康維持・体力の低下、障がいの重度化」が他を上回っています。

<コロナ禍で困っていること>

単位:%

		サンプル数	感染予防・対策	医療機関を受診しづらい	マスクや消毒液などの不足	外出を自粛しているところ	健康維持・体力の低下	学校や仕事に行けない	本人の収入が減ったところ	家族の収入が減ったところ	困りごとを相談できない	メンタルや気持ちのコントロール	その他	特にない
全体		657	30.6	24.2	6.5	27.1	21.3	3.5	7.9	7.2	6.8	18.1	3.2	18.0
所有手帳別	身体障害者手帳	446	30.5	25.3	6.3	28.7	22.9	2.0	8.3	6.7	4.9	13.9	3.4	18.6
	療育手帳	133	36.8	24.1	5.3	31.6	15.0	8.3	4.5	9.8	11.3	19.5	1.5	14.3
	精神障害者保健福祉手帳	143	23.8	18.2	9.8	21.0	18.9	2.1	9.8	6.3	8.4	31.5	7.0	19.6
	無回答	27	18.5	25.9	11.1	18.5	18.5	7.4	11.1	7.4	7.4	14.8	-	18.5
身体障害者等級別	1級	140	29.3	29.3	5.7	31.4	27.9	2.1	6.4	7.9	6.4	10.7	4.3	12.1
	2級	105	30.5	26.7	8.6	31.4	21.9	1.9	6.7	8.6	1.9	20.0	2.9	17.1
	3級	64	29.7	23.4	7.8	20.3	21.9	1.6	6.3	3.1	9.4	12.5	3.1	23.4
	4級	94	31.9	25.5	5.3	23.4	16.0	3.2	13.8	5.3	3.2	12.8	-	25.5
	5級	22	36.4	9.1	4.5	45.5	27.3	-	9.1	13.6	4.5	9.1	13.6	18.2
	6級	21	28.6	14.3	-	28.6	23.8	-	9.5	-	4.8	19.0	4.8	23.8
障がい部位別	視覚障がい	30	6.7	30.0	6.7	40.0	36.7	-	6.7	16.7	3.3	6.7	-	10.0
	聴覚障がい	28	32.1	17.9	-	28.6	25.0	3.6	10.7	10.7	3.6	7.1	3.6	17.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	33.3	44.4	-	44.4	22.2	-	-	11.1	11.1	33.3	-	11.1
	肢体不自由(上肢)	50	36.0	30.0	6.0	24.0	20.0	-	4.0	6.0	2.0	14.0	4.0	28.0
	肢体不自由(下肢)	128	31.3	24.2	4.7	28.9	26.6	3.1	10.9	5.5	6.3	13.3	3.1	21.1
	肢体不自由(体幹)	30	40.0	36.7	10.0	36.7	16.7	3.3	6.7	16.7	6.7	20.0	-	3.3
	内部障がい(それ以外)	129	34.9	22.5	6.2	25.6	22.5	2.3	7.8	3.9	4.7	13.2	3.1	20.2
無回答	42	16.7	21.4	14.3	26.2	9.5	-	9.5	2.4	4.8	19.0	9.5	14.3	

12. 生活全般について

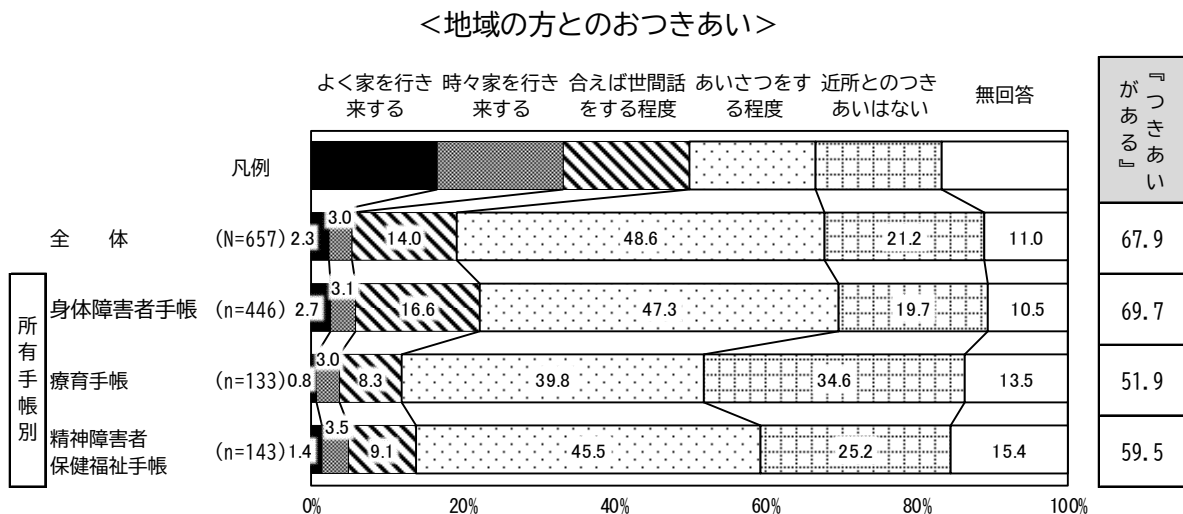
(1) 地域の方とのつきあい

問 60 あなたは、ふだん地域の方とどのようなつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

地域の方とのつきあい程度について尋ねたところ、「あいさつをする程度」(48.6%)が最も多く、「会えば世間話をする程度」(14.0%)、「時々家を行き来する」(3.0%)、「よく家を行き来する」(2.3%)を含めた『つきあいがある』は67.9%と、7割近くが何らかのかたちで地域の方とのつきあいがあることがわかります。

一方、「近所とのつきあいはない」の回答も2割みられます。

所有手帳別にみると、『つきあいがある』は身体障害者手帳所有者(69.7%)、精神障害者保健福祉手帳所有者(59.5%)、療育手帳所有者(51.9%)の順となっています。また、療育手帳所有者は「近所とのつきあいはない」(34.6%)が3割半ばとなっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、『つきあいがある』の割合は5級（90.8%）で最も高く、1級（62.1%）で最も低くなっています。

障がい部位別にみると、聴覚障がいと肢体不自由（下肢）では8割以上が『つきあいがある』と回答しています。

<地域の方とのつきあい程度>

単位:%

		サンプル数	よく家を行き来する	時々家を行き来する	合えば世間話をする程度	あいさつをする程度	近所とのつきあいはない	無回答	『つきあいがある』
全体		657	2.3	3.0	14.0	48.6	21.2	11.0	67.9
身体障害者手帳等級別	1級	140	2.1	2.9	15.0	42.1	22.1	15.7	62.1
	2級	105	1.9	1.9	11.4	50.5	22.9	11.4	65.7
	3級	64	6.3	1.6	12.5	50.0	21.9	7.8	70.4
	4級	94	2.1	6.4	27.7	43.6	13.8	6.4	79.8
	5級	22	4.5	4.5	13.6	68.2	4.5	4.5	90.8
	6級	21	-	-	19.0	52.4	23.8	4.8	71.4
障がい部位別	視覚障がい	30	3.3	3.3	16.7	40.0	30.0	6.7	63.3
	聴覚障がい	28	3.6	-	7.1	75.0	10.7	3.6	85.7
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	-	-	22.2	77.8	-	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	-	-	18.0	46.0	26.0	10.0	64.0
	肢体不自由（下肢）	128	4.7	3.9	25.0	47.7	13.3	5.5	81.3
	肢体不自由（体幹）	30	3.3	6.7	3.3	43.3	23.3	20.0	56.6
	内部障がい（それ以外）	129	2.3	4.7	17.1	45.7	18.6	11.6	69.8
	無回答	42	-	-	7.1	47.6	19.0	26.2	54.7

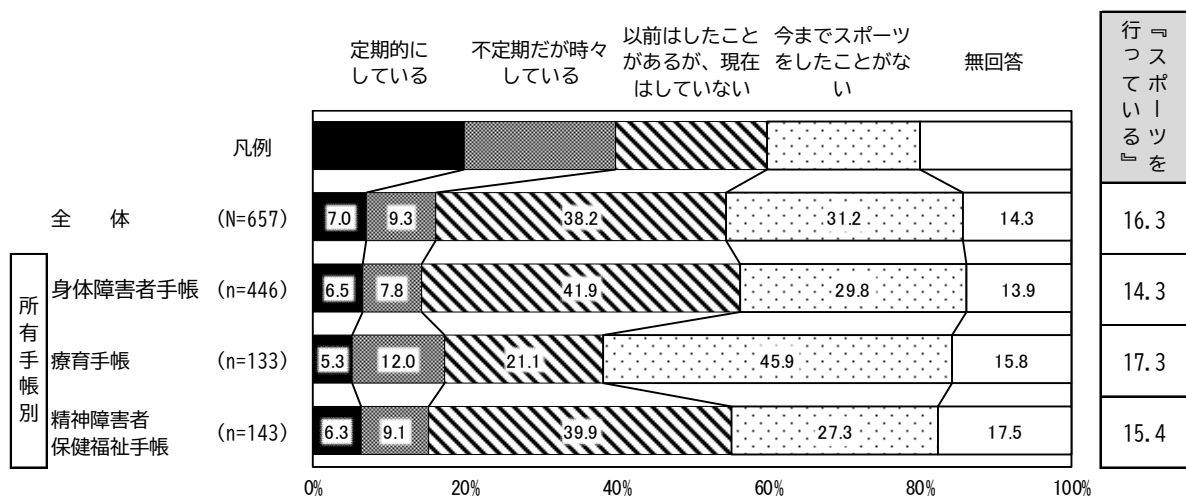
(2) スポーツ実施状況

問 61 あなたは現在スポーツを行っていますか。(○は1つだけ)

スポーツ実施状況を尋ねたところ、「以前はしたことがあるが、現在はしていない」(38.2%)が最も多く、次いで「今までスポーツをしたことがない」(31.2%)、「不定期だが時々している」(9.3%)、「定期的に行っている」(7.0%)の順となっています。「定期的に行っている」と「不定期だが時々している」を合わせた『スポーツを行っている』(16.3%)となっています。

所有手帳別にみると、『スポーツを行っている』はいずれも2割弱の割合となっています。また、療育手帳所有者は「今までスポーツをしたことがない」(45.9%)が他を大きく上回っています。

<スポーツ実施頻度>



身体障害者手帳の等級別にみると、『スポーツを行っている』と回答した人の割合は5級（27.3%）で最も高く、3級（9.4%）で最も低くなっています。また5級では「定期的に行っている」（18.2%）が2割程度みられ、他を上回っています。

障がい部位別にみると、音声・言語・そしゃく機能障がい『スポーツを行っている』とした回答がみられず、他を大きく下回っています。

<スポーツ実施頻度>

単位:%

		サンプル数	定期的に行っている	不定期だが時々している	以前はしたことがあるが、ない	今までスポーツをしたことがない	無回答	『スポーツを行っている』
全体		657	7.0	9.3	38.2	31.2	14.3	16.3
身体障害者手帳等級別	1級	140	5.7	5.0	37.1	33.6	18.6	10.7
	2級	105	7.6	2.9	42.9	31.4	15.2	10.5
	3級	64	-	9.4	48.4	32.8	9.4	9.4
	4級	94	6.4	16.0	40.4	25.5	11.7	22.4
	5級	22	18.2	9.1	40.9	22.7	9.1	27.3
	6級	21	14.3	9.5	57.1	14.3	4.8	23.8
障がい部位別	視覚障がい	30	13.3	6.7	30.0	36.7	13.3	20.0
	聴覚障がい	28	3.6	14.3	53.6	21.4	7.1	17.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	-	44.4	44.4	11.1	0.0
	肢体不自由（上肢）	50	8.0	8.0	38.0	40.0	6.0	16.0
	肢体不自由（下肢）	128	7.8	12.5	46.9	22.7	10.2	20.3
	肢体不自由（体幹）	30	3.3	-	26.7	46.7	23.3	3.3
	内部障がい（それ以外）	129	5.4	5.4	44.2	31.0	14.0	10.8
無回答	42	4.8	4.8	35.7	21.4	33.3	9.6	

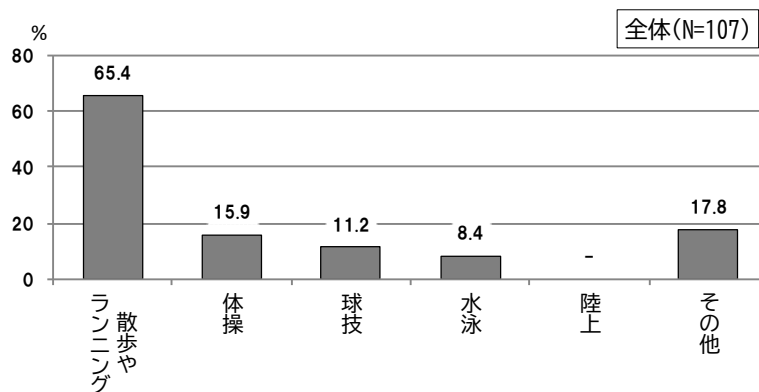
(3) 実施しているスポーツ

【問 59 で「1.」または「2.」と答えた方におたずねします。】

問 62 それは、どのようなスポーツですか。(〇はいくつでも)

実施しているスポーツの内容を尋ねたところ、「散歩やランニング」(65.4%)が最も多く、次いで「体操」(15.9%)、「球技」(11.2%)、「水泳」(8.4%)の順となっています。

<実施しているスポーツ>



所有手帳別、身体障害者手帳の等級別、障がい部位別で見ると、肢体不自由(体幹)以外のいずれも、「散歩やランニング」が最も多くなっています。

<実施しているスポーツ>

単位: %

		サンプル数	散歩やランニング	体操	球技	水泳	陸上	その他
全体		107	65.4	15.9	11.2	8.4	-	17.8
所有手帳別	身体障害者手帳	64	67.2	15.6	14.1	7.8	-	14.1
	療育手帳	23	69.6	13.0	13.0	8.7	-	17.4
	精神障害者保健福祉手帳	22	54.5	22.7	4.5	13.6	-	27.3
	無回答	5	80.0	-	-	-	-	-
身体障害者手帳等級別	1級	15	86.7	6.7	26.7	-	-	6.7
	2級	11	45.5	18.2	9.1	18.2	-	27.3
	3級	6	100.0	-	33.3	16.7	-	-
	4級	21	61.9	23.8	9.5	4.8	-	14.3
	5級	6	66.7	16.7	-	16.7	-	-
	6級	5	40.0	20.0	-	-	-	40.0
障がい部位別	視覚障がい	6	83.3	-	-	-	-	16.7
	聴覚障がい	5	60.0	40.0	20.0	-	-	20.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	-	-	-	-	-	-	-
	肢体不自由(上肢)	8	62.5	-	25.0	-	-	25.0
	肢体不自由(下肢)	26	61.5	23.1	15.4	11.5	-	11.5
	肢体不自由(体幹)	1	-	100.0	-	-	-	-
	内部障がい(それ以外)	14	85.7	7.1	14.3	7.1	-	14.3
	無回答	4	50.0	-	-	25.0	-	-

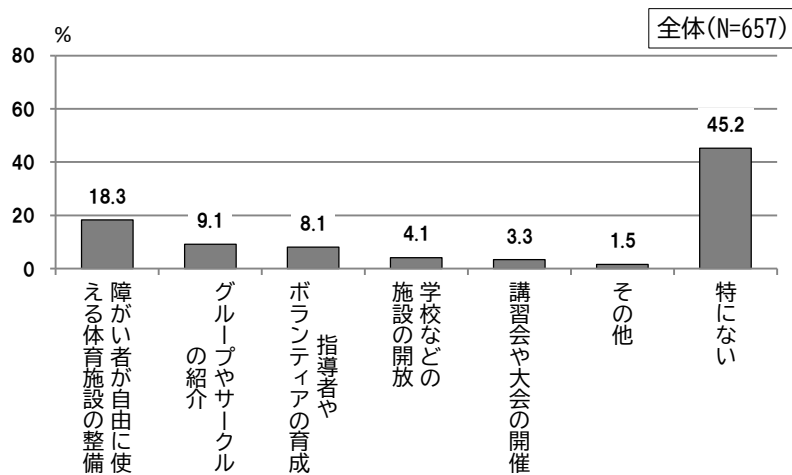
(4) スポーツを行う上で希望すること

問 63 あなたは、スポーツを行う上で、希望することがありますか。(〇はいくつでも)

スポーツを行う上で希望することについて尋ねたところ、「障がい者が自由に使える体育施設の整備」(18.3%)が最も多く、次いで「グループやサークルの紹介」(9.1%)、「指導者やボランティアの育成」(8.1%)、「学校などの施設の開放」(4.1%)、「講習会や大会の開催」(3.3%)の順となっています。

なお、「特にない」(45.2%)は4割半ばとなっています。

<スポーツを行う上で希望すること>



所有手帳別にみると、いずれも「障がい者が自由に使える体育施設の整備」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「指導者やボランティアの育成」(15.8%)、「学校などの施設の開放」(9.0%)が他をやや上回っています。

身体障害者手帳の等級別および障がい部位別のいずれも、「障がい者が自由に使える体育施設の整備」が最も多くなっています。

<スポーツを行う上で希望すること>

単位:%

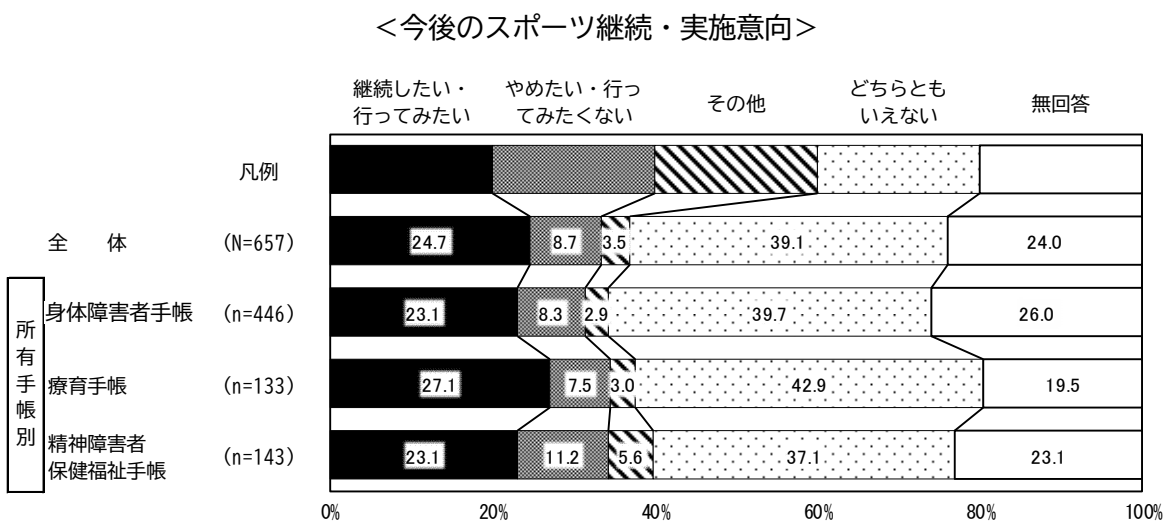
		サンプル数	障がい者が自由に使える	学校などの施設の開放	指導者やボランティアの育成	グループやサークルの紹介	講習会や大会の開催	その他	特にない
全体		657	18.3	4.1	8.1	9.1	3.3	1.5	45.2
所有手帳別	身体障害者手帳	446	18.4	2.9	6.1	7.0	3.4	1.1	47.3
	療育手帳	133	21.8	9.0	15.8	14.3	6.8	3.8	36.8
	精神障害者保健福祉手帳	143	16.1	3.5	5.6	11.2	1.4	2.1	45.5
	無回答	27	3.7	-	7.4	18.5	3.7	-	37.0
身体障害者手帳等級別	1級	140	15.7	1.4	7.1	5.0	2.1	1.4	47.1
	2級	105	24.8	4.8	5.7	13.3	2.9	1.0	42.9
	3級	64	14.1	3.1	4.7	4.7	4.7	3.1	51.6
	4級	94	18.1	3.2	6.4	6.4	5.3	-	50.0
	5級	22	22.7	4.5	4.5	4.5	4.5	-	36.4
	6級	21	14.3	-	4.8	-	-	-	57.1
障がい部位別	視覚障がい	30	23.3	-	16.7	6.7	3.3	3.3	46.7
	聴覚障がい	28	14.3	3.6	7.1	14.3	-	-	50.0
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	11.1	-	-	-	-	-	55.6
	肢体不自由(上肢)	50	22.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	46.0
	肢体不自由(下肢)	128	24.2	2.3	7.8	9.4	6.3	0.8	41.4
	肢体不自由(体幹)	30	20.0	6.7	10.0	10.0	3.3	-	50.0
	内部障がい(それ以外)	129	13.2	3.1	3.9	5.4	2.3	-	54.3
	無回答	42	11.9	2.4	-	2.4	-	4.8	40.5

(5) 今後のスポーツ継続・実施意向

問 64 あなたは、今後スポーツを継続したい、または、行ってみたいと思いますか。(○は1つだけ)

今後のスポーツ継続・実施意向について尋ねたところ、「どちらともいえない」(39.1%)が最も多く、次いで「継続したい・行ってみたい」(24.7%)、「やめたい・行ってみたくない」(8.7%)の順となっています。

所有手帳別にみると、いずれも「どちらともいえない」が最も多くなっています。なお、「継続したい・行ってみたい」はいずれも2割半ばとなっています。



身体障害者手帳の等級別にみると、3級で「継続したい・行ってみたい」の割合が、他をやや下回っています。

障がい部位別にみると、視覚障がい、肢体不自由（下肢）で「継続したい・行ってみたい」の割合が他を上回り、音声・言語・そしゃく機能障がいでは「やめたい・行ってみたくない」の割合が他を上回っています。

<今後のスポーツ継続・実施意向>

単位：%

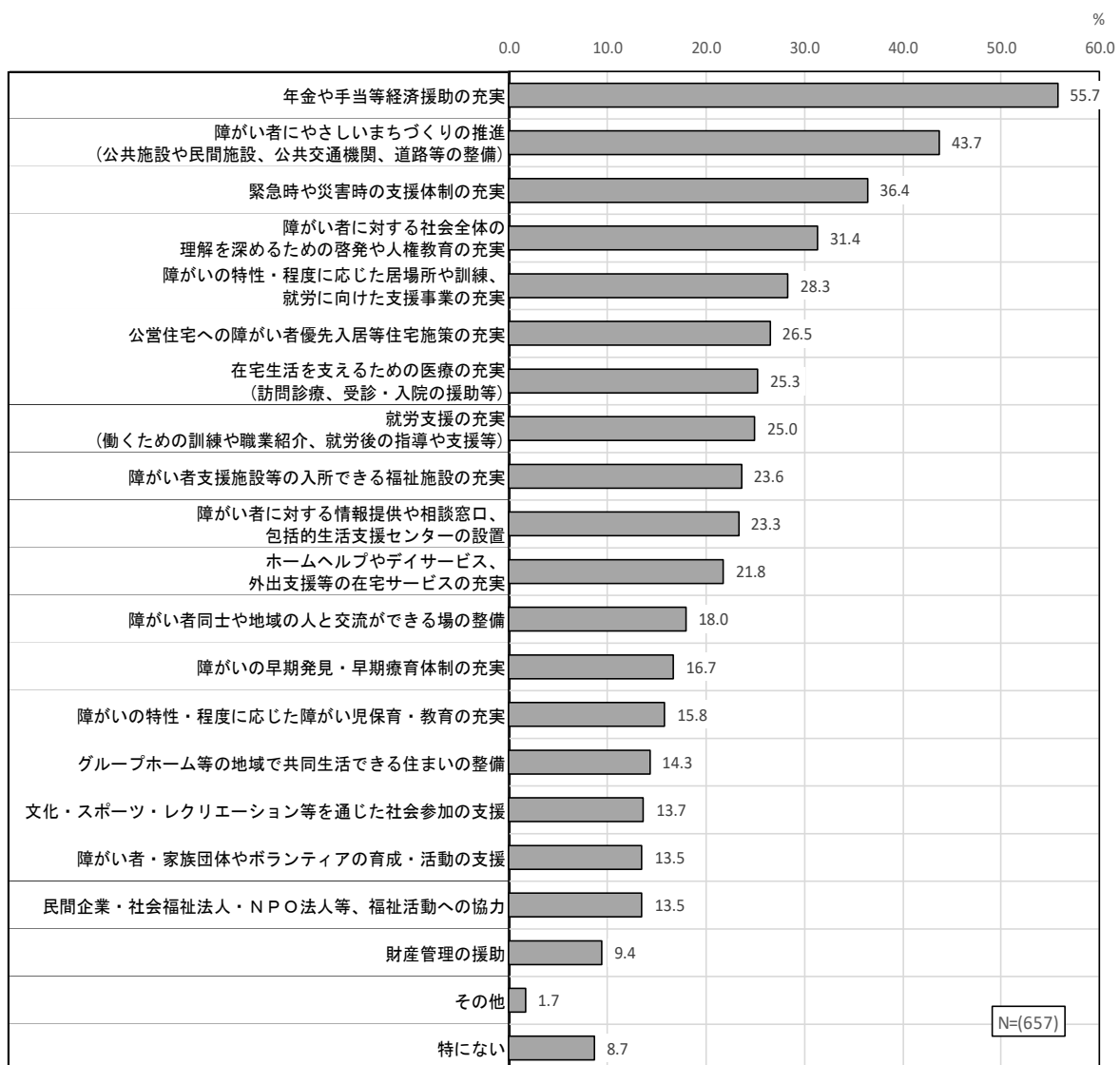
		サンプル数	継続したい・みたつて	やめたい・行つて	その他	どちらともいえない	無回答
全体		657	24.7	8.7	3.5	39.1	24.0
身体障害者手帳等級別	1級	140	19.3	7.9	2.1	39.3	31.4
	2級	105	24.8	9.5	2.9	35.2	27.6
	3級	64	14.1	9.4	6.3	45.3	25.0
	4級	94	29.8	9.6	2.1	36.2	22.3
	5級	22	22.7	-	4.5	59.1	13.6
	6級	21	38.1	4.8	-	42.9	14.3
障がい部位別	視覚障がい	30	33.3	10.0	6.7	26.7	23.3
	聴覚障がい	28	25.0	-	-	57.1	17.9
	音声・言語・そしゃく機能障がい	9	-	22.2	-	55.6	22.2
	肢体不自由（上肢）	50	22.0	12.0	8.0	38.0	20.0
	肢体不自由（下肢）	128	31.3	7.0	3.9	36.7	21.1
	肢体不自由（体幹）	30	6.7	13.3	-	36.7	43.3
	内部障がい（それ以外）	129	20.9	7.8	0.8	47.3	23.3
	無回答	42	14.3	7.1	2.4	23.8	52.4

(6) 障がい者（児）福祉のために、行政に充実してほしいこと

問 65 障がい者（児）福祉のために、今後、行政（国・県・市など）に充実してほしいと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

障がい者（児）福祉のために、行政（国・県・市など）に力を入れてほしいことについて尋ねたところ、「年金や手当等経済援助の充実」（55.7%）が最も多く、次いで「障がい者にやさしいまちづくりの推進」（43.7%）、「緊急時や災害時の支援体制の充実」（36.4%）、「障がい者に対する社会の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」（31.4%）の順となっています。

<障がい者（児）福祉のため、行政に充実してほしいこと>



所有手帳別にみると、いずれも「年金や手当等経済援助の充実」が最も多くなっています。また、療育手帳所有者は「障がい者に対する社会の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」、「障がい者支援施設等の入所できる福祉施設の充実」が他を上回っています。

身体障害者手帳の等級別にみると、いずれも全体の上位4項目が多い傾向がみられます。また、等級が重度になるほど「障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実」の割合が高い傾向がみられます。

障がい部位別にみても、いずれも全体の上位4項目が多い傾向がみられます。また、肢体不自由（体幹）で「在宅生活を支えるための医療の充実（訪問診療、受信・入院の援助等）」、「障がい者支援施設等の入所できる福祉施設の充実」が他を上回っています。

<障がい者（児）福祉のため、国や市に力を入れてほしいこと>

単位：%

	サンプル数	の障 が い 者 に 対 し て の 充 実 実 態	障 が い 者 同 士 や 地 域 の 整 備	エ リ シ ョ ン ス ポ ー ツ ・ レ ク リ ア シ ョ ン の 充 実	の就 業 支 援 の 充 実 （ 勤 労 後 の 支 援 等 ）	た 居 場 所 の 充 実 （ 支 援 事 業 の 充 実 ）	た 障 が い の 特 性 に 対 し て の 充 実 （ 支 援 事 業 の 充 実 ）	た 障 が い の 特 性 に 対 し て の 充 実 （ 支 援 事 業 の 充 実 ）	障 が い 者 に 対 し て の 充 実 （ 支 援 事 業 の 充 実 ）	公 営 入 居 宅 等 の 充 実 （ 支 援 事 業 の 充 実 ）	緊 急 時 や 災 害 時 の 支 援 充 実 制	障 が い の 早 期 発 見 ・ 早 期 療 養
全 体	657	31.4	18.0	13.7	25.0	28.3	15.8	43.7	26.5	36.4	16.7	
所 有 手 帳 別	身体障害者手帳	446	27.8	13.9	12.3	19.3	22.0	13.2	44.2	25.6	37.4	14.6
	療育手帳	133	42.1	30.1	22.6	38.3	42.1	26.3	43.6	24.1	42.9	23.3
	精神障害者保健福祉手帳	143	28.7	17.5	9.1	30.1	27.3	9.8	37.8	21.7	24.5	18.2
	無回答	27	33.3	14.8	11.1	29.6	33.3	18.5	29.6	33.3	22.2	3.7
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	140	29.3	13.6	11.4	20.0	23.6	16.4	46.4	30.7	48.6	15.0
	2 級	105	28.6	17.1	21.0	21.0	21.0	8.6	43.8	24.8	30.5	16.2
	3 級	64	26.6	14.1	7.8	15.6	18.8	14.1	53.1	15.6	43.8	20.3
	4 級	94	25.5	9.6	6.4	14.9	20.2	12.8	34.0	25.5	29.8	10.6
	5 級	22	18.2	13.6	13.6	22.7	18.2	13.6	45.5	31.8	40.9	4.5
	6 級	21	38.1	19.0	14.3	33.3	38.1	14.3	47.6	19.0	9.5	14.3
障 が い 部 位 別	視覚障がい	30	30.0	26.7	23.3	26.7	33.3	13.3	53.3	50.0	60.0	16.7
	聴覚障がい	28	42.9	17.9	17.9	25.0	28.6	17.9	39.3	17.9	35.7	25.0
	音声・言語・そしやく機能障がい	9	11.1	-	11.1	-	11.1	-	33.3	11.1	44.4	11.1
	肢体不自由（上肢）	50	24.0	6.0	8.0	22.0	24.0	14.0	44.0	26.0	34.0	14.0
	肢体不自由（下肢）	128	25.8	16.4	14.1	18.8	25.8	14.1	55.5	25.8	39.8	16.4
	肢体不自由（体幹）	30	30.0	20.0	16.7	10.0	16.7	10.0	50.0	30.0	30.0	13.3
	内部障がい（それ以外）	129	27.9	13.2	8.5	17.8	17.8	14.7	34.1	24.0	34.9	11.6
無回答	42	28.6	4.8	9.5	23.8	14.3	7.1	35.7	16.7	31.0	11.9	

	サンプル数	在 宅 生 活 を 支 え る た め の 充 実 実 態 （ 医 療 支 援 等 ）	ス ホ ー ム 外 出 支 援 等 の 充 実 実 態	共 同 生 活 支 援 等 の 充 実 実 態	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態	年 金 や 手 当 等 の 充 実 実 態	や 障 が い 者 に 対 し て の 充 実 実 態	財 産 管 理 の 支 援	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態	障 が い 者 の 支 援 充 実 実 態
全 体	657	25.3	21.8	14.3	23.6	55.7	23.3	9.4	13.5	13.5	1.7	8.7	
所 有 手 帳 別	身体障害者手帳	446	25.8	22.0	10.3	21.3	52.2	21.1	6.7	11.4	11.2	10.1	
	療育手帳	133	22.6	26.3	33.8	42.1	54.1	27.8	20.3	24.1	21.8	3.8	
	精神障害者保健福祉手帳	143	22.4	17.5	7.7	16.1	60.8	26.6	9.1	11.9	9.1	4.2	
	無回答	27	33.3	18.5	11.1	29.6	59.3	22.2	-	3.7	11.1	11.1	
身 体 障 害 者 手 帳 等 級 別	1 級	140	29.3	26.4	10.7	27.1	56.4	20.7	6.4	12.9	15.0	7.1	
	2 級	105	26.7	31.4	12.4	26.7	52.4	28.6	10.5	18.1	12.4	8.6	
	3 級	64	23.4	15.6	9.4	15.6	48.4	20.3	4.7	4.7	4.7	7.8	
	4 級	94	23.4	16.0	10.6	12.8	48.9	14.9	5.3	8.5	10.6	14.9	
	5 級	22	18.2	9.1	9.1	22.7	59.1	18.2	4.5	4.5	4.5	22.7	
	6 級	21	23.8	4.8	-	9.5	42.9	19.0	4.8	9.5	9.5	9.5	
障 が い 部 位 別	視覚障がい	30	23.3	43.3	20.0	23.3	70.0	33.3	23.3	20.0	23.3	10.0	
	聴覚障がい	28	21.4	10.7	10.7	17.9	46.4	25.0	7.1	17.9	10.7	10.7	
	音声・言語・そしやく機能障がい	9	22.2	44.4	-	11.1	55.6	22.2	-	22.2	-	11.1	
	肢体不自由（上肢）	50	18.0	18.0	6.0	28.0	52.0	16.0	10.0	8.0	14.0	14.0	
	肢体不自由（下肢）	128	31.3	25.0	12.5	25.8	53.1	22.7	3.1	13.3	10.2	7.0	
	肢体不自由（体幹）	30	36.7	26.7	13.3	33.3	50.0	26.7	16.7	16.7	10.0	6.7	
	内部障がい（それ以外）	129	27.1	16.3	9.3	17.1	49.6	15.5	2.3	7.0	12.4	13.2	
無回答	42	11.9	19.0	4.8	7.1	50.0	23.8	9.5	7.1	2.4	7.1		

Ⅲ 調査票

障がい福祉に関するアンケート調査への協力をお願い

日頃より中間市の福祉行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
本市では現在、令和6年度を初年度とする「中間市第4次障害者基本計画」の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、市民の皆さまの福祉サービスの実用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進に役立てるため、障がいのある方の中から無作為に選ばせて頂きアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、無記名でご回答いただきますので、回答された方が特定されたり、個人の内容が明らかになりましたりすることはありません。調査票は個人情報保護条例にしたがい、適切な管理をいたします。

また、ご回答いただいた内容は、統計的な処理を行い、計画策定および施策推進のための基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査票が届いた方は調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年10月 中間市

<記入要領>

- ・宛名のご本人が直接回答いただくことが難しい場合には、家族や介護者の方などが、ご本人の意向を尊重して記入してください。
- ・回答方法は、それぞれ質問文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- ・記入が終了したら、10月25日(水)までに同封の返信用封筒を使ってご返送ください。
- ・このアンケート調査へのご質問などは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

中間市 保健福祉部 福祉支援課 障がい者福祉係



〒809-8501 中間市中間一丁目1番1号
電話 093-246-6282 FAX 093-244-0579

障がい福祉に関するアンケート調査

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(○は1つだけ)

- 本人(この調査票が郵送された宛名の方)
- 本人の家族
- 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人(この調査票の対象者：障がいのある方)の状況などについて、お答えください。

あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和4年10月1日現在)

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(○は1つだけ)

- 男性
- 女性
- その他

問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 父母・祖父母・兄弟
- 配偶者(夫または妻)
- 子ども
- その他()
- いない(一人で暮らしている)

※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「5.」としてください。

問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外のひととの意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

→【問5で1つでも「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方におたずねします。】

問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟
2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども | 4. ホームヘルパーや施設の職員
5. その他の人(ボランティア等) |
|-----------------------------------------|---------------------------------------|

→【問6で「1.」から「3.」と答えた方におたずねします。】

問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、健康状態をお答えください。

① 年齢(令和4年4月1日現在)	満	歳	
② 性別(○は1つだけ)	1. 男性	2. 女性	3. その他
③ 健康状態(○は1つだけ)	1. よい	2. ふつう	3. よくない

あなたの障がいの状況について

問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 1級	3. 3級	5. 5級	7. 持っていない
2. 2級	4. 4級	6. 6級	

問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つだけ)

1. 視覚障がい	5. 肢体不自由(下肢)
2. 聴覚障がい	6. 肢体不自由(体幹)
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	7. 内部障がい(1~6以外)
4. 肢体不自由(上肢)	

問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. A判定	2. B判定	3. 持っていない
--------	--------	-----------

問11 あなたはどのような診断を受けていますか(あてはまるものすべてに○)

1. 精神発達遅滞	5. 脳性マヒ
2. タウン症	6. てんかん
3. 自閉症	7. その他の知的障がいや発達障がい
4. 情緒障がい(適応障がいを含む)	

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)

1. 1級	2. 2級	3. 3級	4. 持っていない
-------	-------	-------	-----------

問13 あなたが現在、診断を受けている疾病名は何ですか。重複している場合は、主な方を答えください。(○は1つだけ)

1. 統合失調症 (非定型精神病を含む)
2. そううつ病・うつ病
3. アルコール依存症 (薬物依存症を含む)
4. 認知症 (高次脳機能障害等を含む)
5. 神経症 (不安神経症、強迫神経症等)
6. てんかん
7. その他 (アスペルガー症候群、人格障害等)
8. 病名は知らない、聞いていない

問14 あなたは難病 (特定疾患) の認定を受けていますか。(○は1つだけ)
※難病 (特定疾患) とは、関節リウマチやギラン・バレー症候群などの治療法が確立していない疾病その他の特殊の疾病をいいます。

1. 受けている
2. 受けていない

問15 あなたは発達障害 (発達障害) として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)
※発達障害 (発達障害) とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

1. 診断されたことがある
2. 診断されたことはない

問16 あなたは高次脳機能障害 (高次脳機能障害) として診断されたことがありますか。(○は1つだけ)
※高次脳機能障害 (高次脳機能障害) とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害 (脳血管障害) 等により脳に損傷を受け、その後遺症等として生じた記憶障害 (記憶障害)、注意障害 (注意障害)、社会的行動障害 (社会的行動障害) などの認知障害 (認知障害) 等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状 (症状) があります。

1. 診断されたことがある
2. 診断されたことはない

問17 あなたが現在受けている医療ケアをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 気管切開
2. 人工呼吸器 (レスピレーター)
3. 吸入
4. 吸引
5. 胃ろう・腸ろう
6. 鼻腔経管栄養
7. 中心静脈栄養 (IVH)
8. 透析
9. カテーテル留置
10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)
11. 服薬管理
12. その他

問18 あなたは現在、専門の医療機関へ通院されていますか。(○は1つだけ)
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、または、自立支援医療制度 (精神通院医療) 受給者にかかっています。(その他の方は問21へお進みください。)

1. ほぼ主治医の指が通りに通院している
2. 不規則であるが通院している
3. 通院はしてはいない
4. 入院中

問19 あなたは現在の体調 (症状) はいかがですか。(○は1つだけ)

1. ほぼ安定している
2. やや不安定
3. 不安定
4. 分からない

問20 あなたは、地域社会の「支援」として、どういったものが必要だと思いますか。現在支援を受けているものを含め、①～④のそれぞれについてお答えください。

①「周囲」の支援として
今後、どのような人の支援が必要ですか。(○は1つだけ)

1. 家族や親戚、知人
2. 同じ体験をもつ当事者同士
3. 民生委員・児童委員や近所の人、ボランティア
4. ソーシャルワーカー (精神保健福祉士など) や看護師など病院の職員
5. 共同作業などの施設の職員
6. 地域活動支援センター (ハルハウスほちほち) の職員
7. 県の保健所や市の職員
8. その他 ()
9. 特になし

② 「医療」面での支援として

今後、どのような医療の支援が必要ですか。(〇は2つまで)

1. 病院や診療所での精神科デイケアなど
2. 必要に応じて夜間一時的にいられるナイトケアなど
3. 夜眠れないときなどに利用できる医療電話相談
4. 夜間や休日に受診できる精神科病院や診療所
5. 夜間や休日に入院できる精神科病院
6. 精神科の救急医療体制
7. 精神科医の住診
8. 訪問看護
9. その他 ()
10. 特にない

③ 「生活の場(住まい)」面での支援として

今後、どのような住まいの支援が必要ですか。(〇は1つだけ)

1. 家族の同居
2. 就労先や通所施設の寮などの入所施設
3. 食事や金銭管理、服装管理等ケアを受けられる住まい(グループホームなど)
4. 一定の条件はあるが保証人がいなくても入居できる住まい、アパートなど
5. その他 ()
6. 特にない

④ 「日中の活動の場・就労」面での支援として

今後、どのような日中の活動の場などが必要ですか。(〇は1つだけ)

1. 一般企業への就労・復職(正社員、パート)
2. 障がいへの配慮がある一般企業への就労(特例子会社、法定雇用による就労など)
3. 障がいへの配慮がある福祉的な職場(就労継続支援A・B型)
4. 期限付で一般企業への就労をめざし訓練をする場、職場(職親など)
5. 期限がなく作業や人付き合いを通じて就労をめざす場(共同作業所など)
6. 障がい者が自由に過ごすごができる場(地域活動支援センターなど)
7. 同じ体験をもつ当事者活動への参加
8. その他 ()
9. 特にない

⑤ 住まいや暮らしについて

問21 あなたは現在どのようなように暮らしていますか。(〇は1つだけ)

1. 一人で暮らしている
2. 家族と暮らしている
3. グループホームで暮らしている
4. 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている
5. 病院に入院している
6. その他 ()

問22 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。(〇は1つだけ)

1. 今のまま生活したい
2. グループホームなどを利用したい
3. 家族と一緒に生活したい
4. 一般の自宅で一人暮らしをしたい
5. その他 ()

問23 地域で生活するために、どのような支援があればよいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 在宅で医療ケアなどが適切に受けられること
2. 障がい者に適した住居の確保
3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること
4. 生活訓練等の充実
5. 経済的な負担の軽減
6. 相談対応等の充実
7. 地域住民等の理解
8. その他 ()

問24 あなたの世帯の生計の中心者となっている方はどなたですか。(〇は1つだけ)

1. 本人(あなた)
2. 配偶者
3. 親
4. 祖父母
5. 子ども
6. 兄弟姉妹
7. その他 ()

問25 生計の中心者の収入は何によるものでしょうか。(○は1つだけ)

1. 仕事による収入
2. 年金、手当など
3. 家賃など賃貸収入
4. 仕送り
5. 生活保護
6. その他

日中活動や就労について

問26 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つだけ)

1. 毎日外出する
2. 1週間に数回外出する
3. めったに外出しない
4. まったく外出しない

問27 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(○は1つだけ)

1. 父母・祖父母・兄弟
2. 配偶者（夫または妻）
3. 子ども
4. ヘルパーや施設の職員
5. その他の人（ボランティア等）
6. 一人で外出する

問28 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤・通学・通所
2. 訓練やリハビリに行く
3. 医療機関への受診
4. 買い物に行く
5. 友人・知人に会う
6. 趣味やスポーツをする
7. グループ活動に参加する
8. 散歩に行く
9. その他

問29 あなたは、外出する際にどのような交通機関を利用されますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 送迎車・送迎バス
2. 自家用車
3. タクシー
4. JR
5. バス
6. 自転車・徒歩
7. その他

問30 へお進みください。

問30 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 公共交通機関が少ない(ない)
2. 列車やバスの乗りの降りが困難
3. 道路や駅に階段や段差が多い
4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい
5. 外出先の建物の施設が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)
6. 介助者が確保できない
7. 外出にお金がかかる
8. 周囲の目が気になる
9. 発作など突然の身体の変化が心配
10. 困ったときにどうすればいいのか心配
11. その他

問31 外出先で不便や困難を感じる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 駅
2. バス停
3. 医療機関
4. 金融機関
5. 飲食店
6. その他
7. 特にない

問32 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つだけ)

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得ている
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている
3. 専業主婦(主夫)をしている
4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院等で過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. 特別支援学校(小・中・高等部)に通っている
11. 一般の高校、中学校に通っている
12. 幼稚園、保育所、障害児通所施設などに通っている
13. その他

問33 へお進みください。

18歳から64歳の
方は問35へ
お進みください
それ以外の方は
問37へお進み
ください

【問32で「1.」と答えた方におたずねします。】
 問33 どのような勤務形態で働いていますか。(○は1つだけ)

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある
3. ハート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他 ()

問34 現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。(○は1つだけ)

1. 公共職業安定所
2. 学校の紹介
3. 障害者職業能力開発校
4. 知人・縁故関係
5. その他 ()

【問35・36は、問32で「2.」から「13.」と答えた18歳から64歳の方におたずねします。】
 問35 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思えますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい
2. 仕事はしたくない、できない

問36 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたと思いますか。(○は1つだけ)

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問37 あなたは、障がい者の就労支援としてどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の障がい者理解
6. 職場の上司や同僚に障がいの理解があること
7. 職場で介助や援助等が受けられること
8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
9. 企業ニーズに合った就労訓練
10. 仕事についての職場外での相談対応、支援
11. その他 ()

宛てな方が18歳未満の方の療育・教育について(18歳以上の場合は問46へお進みください。)

- 問38 発達の遅れに気づいたのは、何歳の時でしたか。(○は1つだけ)
- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 0歳 | 4. 3歳 | 7. 6~11歳 |
| 2. 1歳 | 5. 4歳 | 8. 12~14歳 |
| 3. 2歳 | 6. 5歳 | 9. 15~17歳 |

問39 発達の遅れに気づかれたのはどういっかでしたか。(○は1つだけ)

1. 発達や行動が気になり、自ら気づいた
2. 親せき等身内から指摘された
3. 友人から指摘された
4. 乳幼児健診で指摘された
5. 医療機関で指摘された
6. 保育園、幼稚園で指摘された
7. 学校で指摘された
8. その他 ()

問40 発達の遅れに気づいてから、どこに相談し、診察結果を求めに行きましたか。最初に行ったところと、相談・診察・検査したところをそれぞれお答えください。

(1) 最初に行ったところ (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 病院・医院など | 7. 保育園・幼稚園 |
| 2. 障害児通所支援施設 | 8. 福祉事務所 |
| 3. 児童相談所 | 9. 学校 |
| 4. 保健センター | 10. 地域活動支援センター |
| 5. 県の保健所 | (ハルハウスほちぼち) |
| 6. 子育て支援センター | 11. その他 () |

(2) 相談・診察・検査・検査したところ (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 病院・医院など | 7. 保育園・幼稚園 |
| 2. 障害児通所支援施設 | 8. 福祉事務所 |
| 3. 児童相談所 | 9. 学校 |
| 4. 保健センター | 10. 地域活動支援センター |
| 5. 県の保健所 | (ハルハウスほちぼち) |
| 6. 子育て支援センター | 11. その他 () |

問41 医学的診断の結果、障がいがはっきりとわかったのは、何歳の時でしたか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 0歳 | 4. 3歳 | 7. 6~11歳 |
| 2. 1歳 | 5. 4歳 | 8. 12~14歳 |
| 3. 2歳 | 6. 5歳 | 9. 15~17歳 |

問42 療育や教育を受けた経験がありますか。

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1. 現在受けている | 3. 受けたことはないが、受けさせたいと思っている |
| 2. 過去に受けた | 4. 受けたことはない、受けさせるつもりはない |

問43 療育や教育を受けた(受けている)場所はどこですか。

- | | | | |
|--------|--------|--------------|------------|
| 1. 幼稚園 | 2. 保育園 | 3. 障害児通所支援施設 | 4. その他 () |
|--------|--------|--------------|------------|

問44 療育・教育について、今後どのような希望がありますか。(○は1つだけ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 学校で指導、訓練を受けたい |
| 2. 家庭から施設に通って、療育、訓練を受けたい(通所施設) |
| 3. 病院・医院に通院して治療、訓練を受けたい |
| 4. 施設に入って療育、訓練を受けたい(入所施設) |
| 5. 保育所・幼稚園で指導、訓練を受けたい |
| 6. 家庭で療育、訓練を受けたい |
| 7. 病院・医院入院して治療、訓練を受けたい |
| 8. その他 () |
| 9. 特に希望はない |

問45 【宛名の方が保育園・幼稚園等や学校に通っている場合のみお答えください。】

お子さんが学校(中学校または高等学校)を卒業した後の進路について、どのようにお考えですか。お子さん自身の希望に最も近いと思われるものを選んでください。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 就労支援の事業所等に通いたい |
| 2. 施設に入って、生活訓練や職業訓練等を受けたい |
| 3. 一般の企業等で働きたい |
| 4. 大学等に進学したい |
| 5. その他 () |
| 6. わからない・まだ小さいので考えていない |

問46 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

※障害支援区分とは、障害福祉サービス（ヘルパーやデイサービスなど）を利用する際に、必要となるもので、障がいの多様な特性その他の心身の状態に応じて必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すものをいい、認定調査等を行ない認定するものです。

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	7. 受けていない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	

問47 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。(○から⑧のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(○を記入)してください)

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
① 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅での入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	1	2
② 重度訪問介護 重度の障がいがあり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ、食事などの介助や外出時の移動の補助を行うサービスです。	1	2	1	2
③ 同行支援 視覚障がいや精神障がいにより移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
④ 行動支援 知的障がいや精神障がいにより行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	1	2

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
⑤ 重度障害者等包括支援 常に介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	1	2	1	2
⑥ 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動などの機会を提供するサービスです。	1	2	1	2
⑦ 自立訓練（機能訓練、生活訓練） 自立した日常生活や社会生活ができるよう、一定の期間における身体機能や生活能力向上のために必要な訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
⑧ 自立生活援助 一人暮らしに必要な理解力生活力などを補うため、定期的な居宅訪問や随時の対応により日常生活における課題を把握し、必要な手助けを行うサービスです。	1	2	1	2
⑨ 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の期間、就労に必要な知識及び能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
⑩ 就労継続支援（A型、B型） 通常の事業所で働くことが困難な方に、就労の機会の提供や生産活動その他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
⑪ 療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする方に、主に昼間に病院等において機能訓練、療養上の管理、看護などを提供するサービスです。	1	2	1	2

	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 しない
⑩短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者（児）を介護する方が病気の場合などに、障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行うサービスです。	1	2	1	2
⑪共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行うサービスです。	1	2	1	2
⑫施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障がい者（児）に対し、入浴、排せつ、食事の介護などの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑬就労定着支援 通常の事業所で働いている方に、就労に伴う生活面の課題に対応する支援を行うサービスです。	1	2	1	2
⑭計画相談支援 サービス等利用計画の作成や事業者等と連絡調整を行うほか、利用状況の確認を行うサービスです。	1	2	1	2
⑮地域移行支援 住まいの確保や、地域での生活に移行するための活動に関する相談、各福祉サービス事業所への同行を行うサービスです。	1	2	1	2
⑯地域定着支援 常に運送体制を確保し、障がいの特性による緊急事態における相談や、サービス事業所との連絡調整などを支援するサービスです。	1	2	1	2
⑰児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等の支援を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在利用 しているか		今後利用 したいか	
	利用 している	利用 していない	利用 したい	利用 しない
⑳放課後等デイサービス 学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
㉑障害児相談支援 障がい児の通所支援に関する計画書の作成や、事業者との連絡調整を行うサービスです。	1	2	1	2
㉒在宅訪問型児童発達支援 重度の障がいなどにより外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問して発達支援を行うサービスです。	1	2	1	2
㉓保育所等訪問支援 保育所等を訪問し、障がい児に対して、障がい児以外の児童との集団生活への適応のための専門的な支援などを行うサービスです。	1	2	1	2
㉔医療型児童発達支援 日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を行うサービスです。	1	2	1	2
㉕福祉型児童入所支援 障害児入所施設に入所する障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与を行うサービスです。	1	2	1	2
㉖医療型児童入所支援 障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障がい児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。	1	2	1	2

相談などについて

問48 あなたは、現在の生活の中で、不満なことや心配なこと、悩んでいることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 身体の機能が低下するのではとの不安
2. 健康上の心配、悩み
3. 経済的な面での不満、不安
4. 老後についての不安
5. 将来のことが不安
6. 生きているハリがない
7. 障がいのない人との意思の疎通が十分にできない不満
8. 仕事の面での不満、不安
9. 家庭内がうまくいかない
10. 親身になって世話をしてくれる人がいない
11. つきあう人がいなくてさびしい
12. 結婚問題に対する不安、悩み
13. その他 ()
14. 特になし

問49 あなたは、普段、悩みや困ったことをあなたに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 職場の上司や同僚
5. 施設の指導員など
6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
7. 障がい者団体や家族会
8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
10. 民生委員・児童委員
11. 障害児通所支援施設や保育所、幼稚園、学校の先生
12. 相談支援事業所などの民間の相談窓口
13. 行政機関の相談窓口
14. その他 ()

問50 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. サービス事業所の人や施設職員
6. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)
7. かかりつけの医師や看護師
8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー
9. 民生委員・児童委員
10. 障害児通所支援施設や保育所、幼稚園、学校の先生
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口
12. 行政機関の相談窓口
13. その他 ()

権利擁護について

問51 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。(○は1つだけ)

1. ある
2. 少しある
3. ない

問52 それは具体的にどのようなことですか(したか)。場所や相手、嫌な思いをした内容などをお知らせください。

→【問51で、「1. ある」または「2. 少しある」と答えた方におたずねします。】

問53 成年後見制度についてご存じですか。(○は1つだけ)

1. 名前も内容も知っている
2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
3. 名前も内容も知らない

災害時の避難等について

問54 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(○は1つだけ)

1. できる 2. できない 3. わからない

問55 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなを助けてくれる人はいませんか。(○は1つだけ)

1. いる 2. いない 3. わからない

問56 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 治療や投薬が受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 救助を求めることができない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7. 周囲とコミュニケーションが取れない
8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安
9. その他 ()
10. 特にない

問57 今後、災害が発生した際に(または発生時に備えて)行政(国・県・市など)に特に力を入れてほしいことは何ですか。(○は1つだけ)

1. 被害状況等についての情報提供
2. 地域のの方々(民生委員・児童委員等を含む)と連携した救助体制の整備
3. 避難場所の周知
4. 災害や災害発生時の行動指針等に関する知識の普及
5. 被災後の心のケア
6. その他 ()

コロナ禍における暮らしについて

問58 コロナ禍で不安に感じていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 感染予防への不安
2. 感染する不安(本人・家族を含む)
3. 体調管理・健康面の不安
4. 収入等・金銭面への不安
5. 外出しづらいことへの不安
6. 外出することへの不安
7. その他 ()
8. 特にない

問59 コロナ禍で困っていることは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 感染予防・対策
2. 医療機関を受診しづらい
3. マスクや消毒液などの不足
4. 外出を自粛していること
5. 健康維持・体力の低下、障がいの重症化
6. 学校や仕事に行けないこと
7. 本人の収入が減ったこと
8. 家族の収入が減ったこと
9. 語りなどを相談できるところがない
10. ネットや気持ちのサポートロール
11. その他 ()
12. 特にない

生活全般について

問60 あなたは、ふだん地域の方とどのようなおつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

1. よく家を行き来する
2. 時々家を行き来する
3. 合えば世間話をする程度
4. あいさつをする程度
5. 近所とのつきあいはない

問61 あなたは現在スポーツを行っていますか。(○は1つだけ)

1. 定期的に行っている
2. 不定期だが時々行っている
3. 以前はしたことがあるが、現在はしていない
4. 今までスポーツをしたことがない

【問61で「1.」または「2.」と答えた方におたずねします。】

問62 それは、どのようなスポーツですか。(○はいくつでも)

1. 散歩やランニング
2. 体操
3. 球技
4. 水泳
5. 陸上
6. その他()

問63 あなたは、スポーツを行う上で、希望することがありますか。(○はいくつでも)

1. 障がい者が自由に使える体育施設の整備
2. 学校などの施設の開放
3. 指導者やボランティアの育成
4. グループやサークルの紹介
5. 講習会や大会の開催
6. その他()
7. 特にない

問64 あなたは、今後スポーツを継続したい、または、行ってみたいと思えますか。

(○は1つだけ)

1. 継続したい・行ってみたい
2. やめたい・行ってみたいくない
3. その他()
4. どちらともいえない

問65 障がい者(児)福祉のために、今後、行政(国・県・市など)に充実してほしいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 障がい者に対する社会全体の理解を深めるための啓発や人権教育の充実
2. 障がい者同士や地域の人と交流がでできる場の整備
3. 文化・スポーツ・レクリエーション等を通じた社会参加の支援
4. 就労支援の充実(働くための訓練や職業紹介、就労後の指導や支援等)
5. 障がい者の特性・程度に応じた高揚所や訓練、就労に向けた支援事業の充実
6. 障がい者の特性・程度に応じた障がい児保育・教育の充実
7. 障がい者にやさしいまちづくりの推進(公共施設や民間施設、公共交通機関、道路等の整備)
8. 公営住宅への障がい者優先入居等住宅施策の充実
9. 緊急時や災害時の支援体制の充実
10. 障がい者の早期発見・早期療育体制の充実
11. 在宅生活を支えるための医療の充実(訪問診療、受診・入院の援助等)
12. ホームヘルプやデイサービス、外出支援等の在宅サービスの充実
13. グループホーム等の地域で共同生活できる住まいの整備
14. 障がい者支援施設等の入所できる福祉施設の充実
15. 年金や手当等経済援助の充実
16. 障がい者に対する情報提供や相談窓口、包括的生活支援センターの設置
17. 財産管理の援助
18. 障がい者・家族団体やボランティアの育成・活動の支援
19. 民間企業・社会福祉法人・NPO法人等、福祉活動への協力
20. その他()
21. 特にない

最後に、障害福祉サービスや行政の取組について、何かご意見がありましたら、自由に記入ください。

ご協力ありがとうございました。